

河 川 維 持 管 理 計 画

吉野川水系吉野川・旧吉野川・今切川

平成31年4月

四国地方整備局 徳島河川国道事務所

吉野川河川維持管理計画は吉野川河川整備計画に沿って、河川維持管理の具体的内容を定めたものであり、河道及び、河川管理施設等の状況変化、河川維持管理の実績、社会経済情勢の変化等に応じて適宜見直しを行うものとする。

なお、大幅な状況変化がない場合においても、概ね5年以内に計画の見直しを行うものとする。

河川維持管理計画

(吉野川水系吉野川・旧吉野川・今切川)

目 次

1. 河川の概要	1
1-1 河川の流域面積、幹線流路延長、管理延長、河床勾配等の諸元	1
1-2 流域の自然的、社会的特徴	2
1-3 河道特性、被災履歴、地形、地質、樹木等の状況	3
1-4 土砂の生産域から河口部までの土砂移動特性等の状況	7
1-5 生物や水量・水質、景観、河川空間の 利用等管理上留意すべき河川環境の状況	7
2. 河川維持管理上留意すべき事項等	11
2-1 堤防・護岸、樋門等の維持管理	11
2-2 河道内の局所洗掘、土砂堆積	15
2-3 河道内樹木	16
2-4 土地利用	19
2-5 洪水時に漂着する障害物	19
2-6 河川内での不法行為と河川美化	20
2-7 河川水の利用と渇水	20
2-8 水質の保全	21
2-9 動植物の生息・生育状況	22
2-10 河川空間の利用	23
2-11 防災関連施設維持管理	24
2-12 許可工作物	25
3. 河川の区間区分	26
4. 河川維持管理目標	26
4-1 河道流下断面	27
4-1-(1) 河道流下断面	27
4-1-(1)-①堤防の高さ・形状の確保	27
4-1-(1)-②河道内流下阻害対策	27
4-1-(1)-③洪水時に漂着する障害物の除去	28
4-2 施設の機能維持	28
4-2-(1) 河道（局所洗掘・堆積対策）	28

4-2-(2) 堤防	29
4-2-(3) 護岸、根固工、水制工	29
4-2-(4) 堰、水門、樋門、排水機場	29
4-2-(4)-①土木構造施設の補修	29
4-2-(4)-②機械等施設・設備の補修	29
4-2-(4)-③魚道の機能維持	30
4-2-(5) 水文水理観測施設	30
4-2-(6) 防災関連施設の維持管理	30
4-2-(6)-①水防資材の確保	30
4-2-(6)-②防災関連施設の維持補修	31
4-3 河川区域等の適正な利用	31
4-3-(1) 河川敷地の不法占用や不法行為等への対応に関する目標	31
4-4 河川環境の整備と保全	31
4-4-(1) 河川整備計画に基づく、河川環境の整備と保全に関する目標	31
4-4-(1)-①河川利用施設の補修	31
4-4-(1)-②維持管理工事における配慮	31
4-4-(1)-③河道内生物の生息・生育環境の保全	31
4-4-(1)-④水質の保全	32
4-4-(1)-⑤河川美化の推進	32
5. 河川の状態把握	33
5-1 基礎データの収集	33
5-1-(1) 水文・水理等観測	33
5-1-(1)-①雨量観測	33
5-1-(1)-②水位観測	33
5-1-(1)-③高水流量観測	33
5-1-(1)-④低水流量観測	33
5-1-(1)-⑤水質観測	33
5-1-(1)-⑥震度観測	35
5-1-(1)-⑦地下水位観測	35
5-1-(2) 測量	35
5-1-(2)-①縦横断測量	35
5-1-(2)-②平面測量	36
5-1-(2)-③航空写真・斜め写真撮影	36
5-1-(2)-④洪水痕跡調査、浸水調査、漏水調査	36
5-1-(3) 河道の基礎データ	37
5-1-(3)-①河床材料調査	37
5-1-(3)-②異常洗掘調査	37
5-1-(3)-③土砂堆積調査	37
5-1-(3)-④河道内樹木調査	38
5-1-(3)-⑤中州・砂州の発生箇所、移動状況の継続調査	38
5-1-(3)-⑥堤防断面調査	39

5-1-(4) 河川環境の基礎データ	39
5-1-(4)-①河川水辺の国勢調査	39
5-1-(4)-②河川環境情報図の作成	39
5-1-(4)-③河川管理基図の作成	40
5-2 堤防点検等のための環境整備	40
5-2-①堤防点検、あるいは河川の状態把握のための環境整備	40
5-3 河川巡視	40
5-4 点検	41
5-4-(1) 出水期前、台風期、出水後等の点検	41
5-4-(1)-①堤防の点検	42
5-4-(1)-②漏水調査	42
5-4-(1)-③護岸・根固等 (高水護岸・低水護岸・根固め・護床工等)の点検	42
5-4-(1)-④堰、水門、樋門、排水機場の点検	43
5-4-(1)-⑤河道の点検	43
5-4-(2) 地震・津波後の点検	44
5-4-(2)-①堤防の地震・津波後点検	44
5-4-(2)-②地震・津波後の河川管理施設 (水門・樋門・樋管・排水機場等)の点検	45
5-4-(3) 親水施設等の点検	45
5-4-(3)-①河川利用者の安全確保点検 (護岸・坂路・散策路・手すり・天端道路等)	45
5-4-(4) 機械設備を伴う河川管理施設の点検	46
5-4-(5) 許可工作物の点検	46
5-4-(6) 水文観測施設、機器の点検	47
5-5 河川カルテ	47
5-5-①河川カルテの作成	47
5-6 河川の状態把握の分析、評価	48
6. 維持管理対策	50
6-1 河道の維持管理対策	50
6-1-(1) 河道流下断面の確保・河床低下対策及び河岸の対策	50
6-1-(1)-①河道流下断面の確保・河床低下対策	50
6-1-(1)-②河岸の対策	50
6-1-(2) 樹木の対策	50
6-2 施設の維持管理対策	51
6-2-(1) 堤防	51
6-2-(1)-①土堤	51

6-2-(1)-②特殊堤	5 3
6-2-(2)護岸・根固め・水制工	5 3
6-2-(3)堰	5 4
6-2-(4)樋門・水門	5 4
6-2-(5)排水機場	5 4
6-2-(6)陸閘	5 4
6-2-(7)河川管理施設の操作	5 5
6-2-(8)情報・通信施設	5 5
6-2-(9)許可工作物	5 5
6-2-(9)-①基本	5 5
6-2-(9)-②取水施設	5 5
6-2-(9)-③橋梁	5 5
6-2-(10)水文観測施設の維持管理	5 6
6-3 河川区域等の維持管理対策	5 6
6-3-(1)一般	5 6
6-3-(2)河川内での不法行為の是正・防止	5 6
6-3-(2)-①不法行為等の是正・防止	5 6
6-3-(3)河川の適正な利用	5 7
6-3-(3)-①状態把握	5 7
6-3-(3)-②河川の安全な利用	5 7
6-4 河川環境の維持管理対策	5 8
6-4-(1)洪水時に漂着する障害物の除去	5 8
6-4-(2)河川環境の保全	5 8
6-4-(2)-①特定外来生物対策	5 8
6-4-(2)-②河道内生物の生息・生育環境保全	5 8
6-4-(2)-③水質の保全	5 8
6-4-(3)渇水時の水位・流量・水質観測（低水）	5 8
6-5 水防等のための対策	5 8
6-5-(1)水防のための対策	5 9
6-5-(1)-①水防活動等への対応	5 9
6-5-(1)-②水位情報等の提供	5 9
6-5-(1)-③洪水予測技術の精度向上	5 9
6-5-(1)-④開口部の対応	5 9
6-5-(2)水質事故対策	6 0
7. 地域連携	6 0
7-(1)河川管理者と市町が連携して行うべき事項 (排水ポンプ車運転、避難情報提供等)	6 0
7-(2)河川管理者及び市町村と NPO、市民団体が連携・協働して 行っているまたは予定がある事項	6 0
7-(3)他機関との連携	6 1

8. 効率化・改善に向けた取組	6 1
8-(1) より良好な河川環境の整備・保全	6 1
8-(2) より効率的な河川維持管理等に向けた更なる地域協働の取り組み	6 1
8-(3) 長寿命化対策の方向等	6 2
8-(4) 効率化あるいは改善を進める取り組み	6 2
参考資料（別紙表等）	6 4

1. 河川の概要

1-1 河川の流域面積、幹線流路延長、管理延長、河床勾配等の緒元

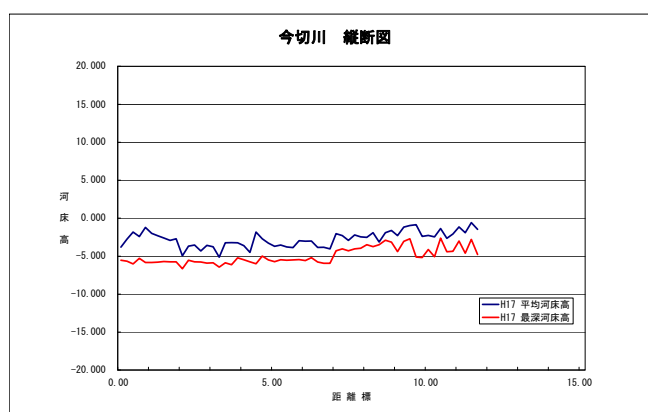
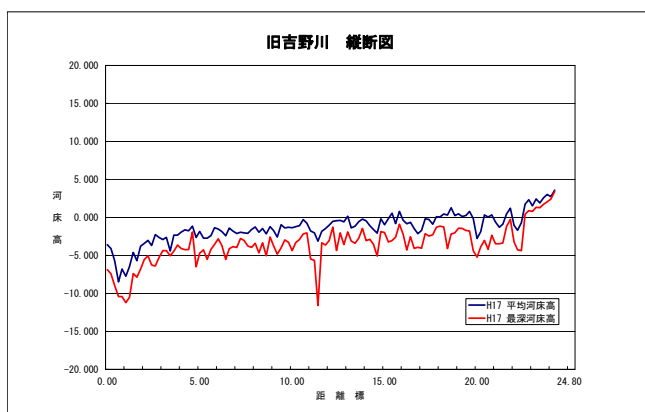
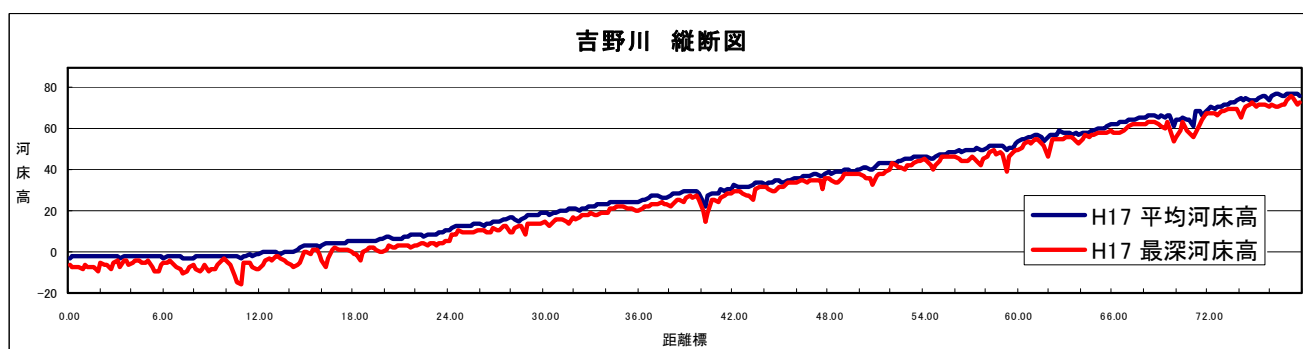
吉野川は、その源を高知県吾川郡の瓶ヶ森（標高 1,897m）に発し、四国山地に沿って東に流れ、敷岩において穴内川を合わせ、北に向きを変えて四国山地を横断し、銅山川、祖谷川等を合わせ、徳島県池田において再び東に向かい、岩津を経て徳島平野に出て、大小の支川を合わせながら、第十地点で旧吉野川を分派し、紀伊水道に注ぐ。



【吉野川水系流域図】

幹線流路延長 194km、直轄河川管理延長 186.5km、流域面積 3,750km² の一級河川である。

池田上流の吉野川では、山間を流れ、大歩危・小歩危で渓谷を形作り、河床勾配も 1/400 程度と急峻で、池田から岩津間では谷底平野が形成され、河床勾配も 1/800 程度と緩くなる。岩津から河口は河床勾配 1/1,100、旧吉野・今切川は 1/5,000 程度と一段と緩流になっている。



【吉野川・旧吉野川・今切川縦断面図】

吉野川流域は、四国 4 県にまたがり四国全域の約 20%に相当する広さを持ち、下流域には徳島県の県都である徳島市を擁し、四国における社会・経済・文化の基盤となっている。

吉野川の水は流域外の高知県側、愛媛県側、香川県側に分水されており、四国 4 県にわたって広域的な水利用が行われている。

吉野川流域は、豊かな自然に恵まれており、源流付近に石鎚国立公園、中央部に剣山国立公園等がある。



【吉野川河口部】

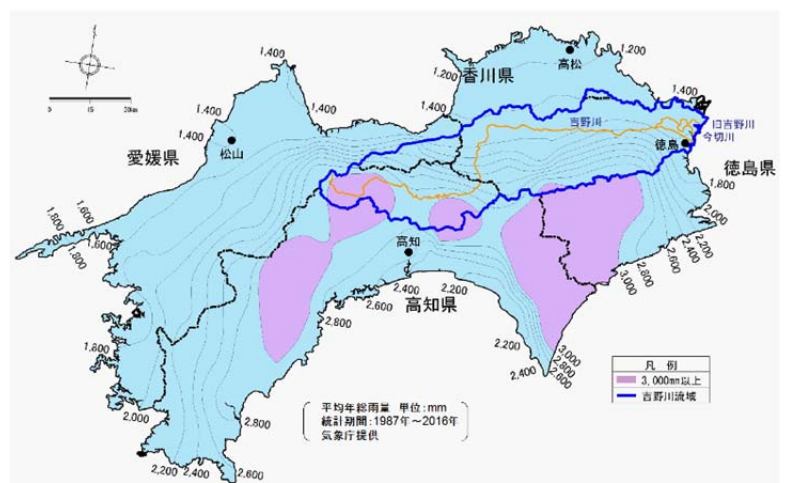


【旧吉野川・今切川河口部】

1-2 流域の自然的、社会的特徴

流域内の年平均気温は、一部の高地を除いて、 14°C ～ 16°C で気候は温暖である。

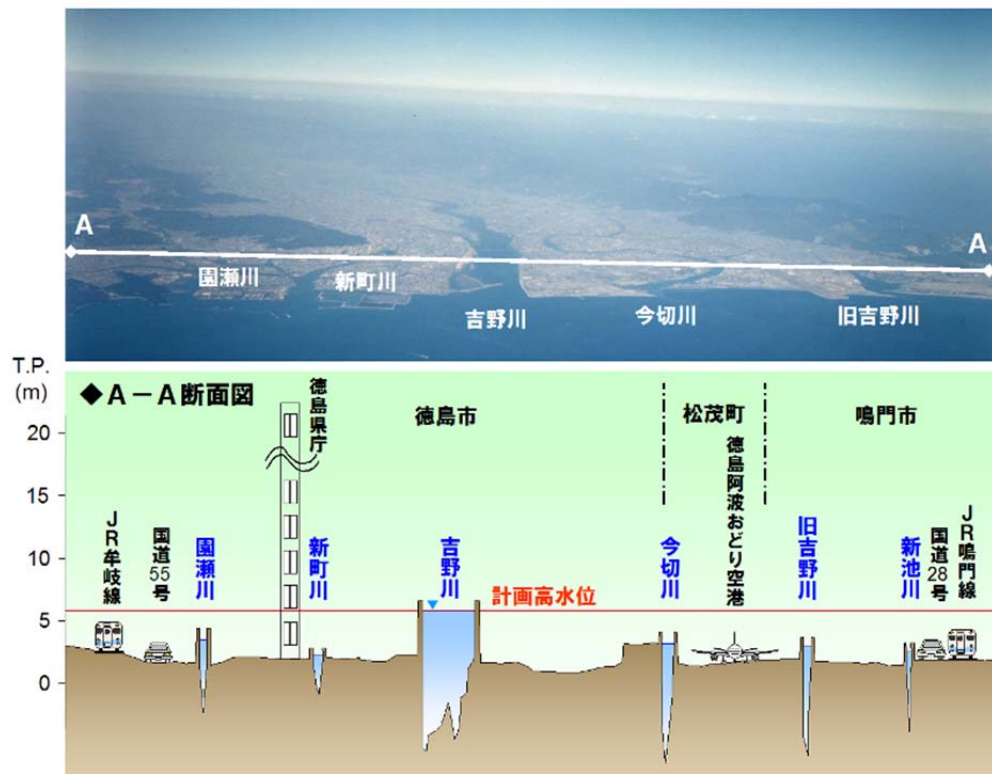
上流の山間部は、年降雨量が 3,000mm 以上に達する多雨地帯であり、降雨量の大部分が梅雨期と台風期に集中している。台風来襲時には、西から東へ向かう流れと台風経路が、同一方向となることが多いために洪水が発生しやすい。



【四国の年間雨量】

吉野川流域は、徳島市をはじめとする 12 市 14 町 2 村(平成 29 年 3 月現在)からなり、人口は約 61 万人(平成 22 年国勢調査)である。

吉野川下流に広がる平野部は、地盤高が吉野川の計画規模の洪水時における水位より低く、想定氾濫区域内人口は約 49 万人と堤防決壊氾濫による被災ポテンシャルは大きい。



【住居地より高い洪水時の河川水位】

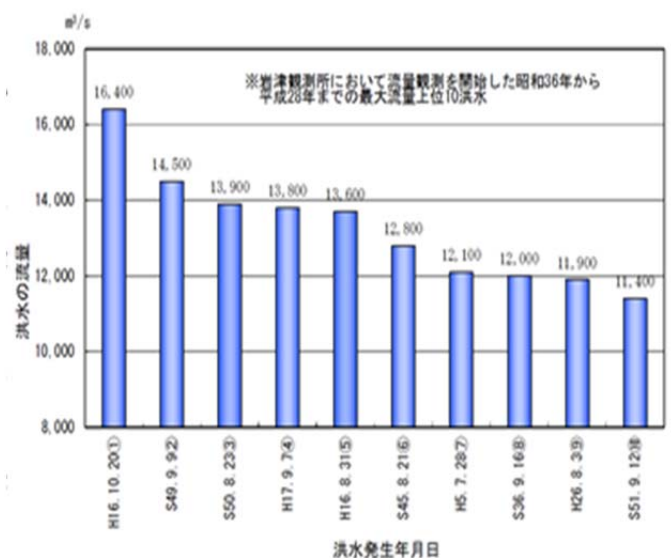
1-3 河道特性、被災履歴、地形、地質、樹木等の状況

・河道特性

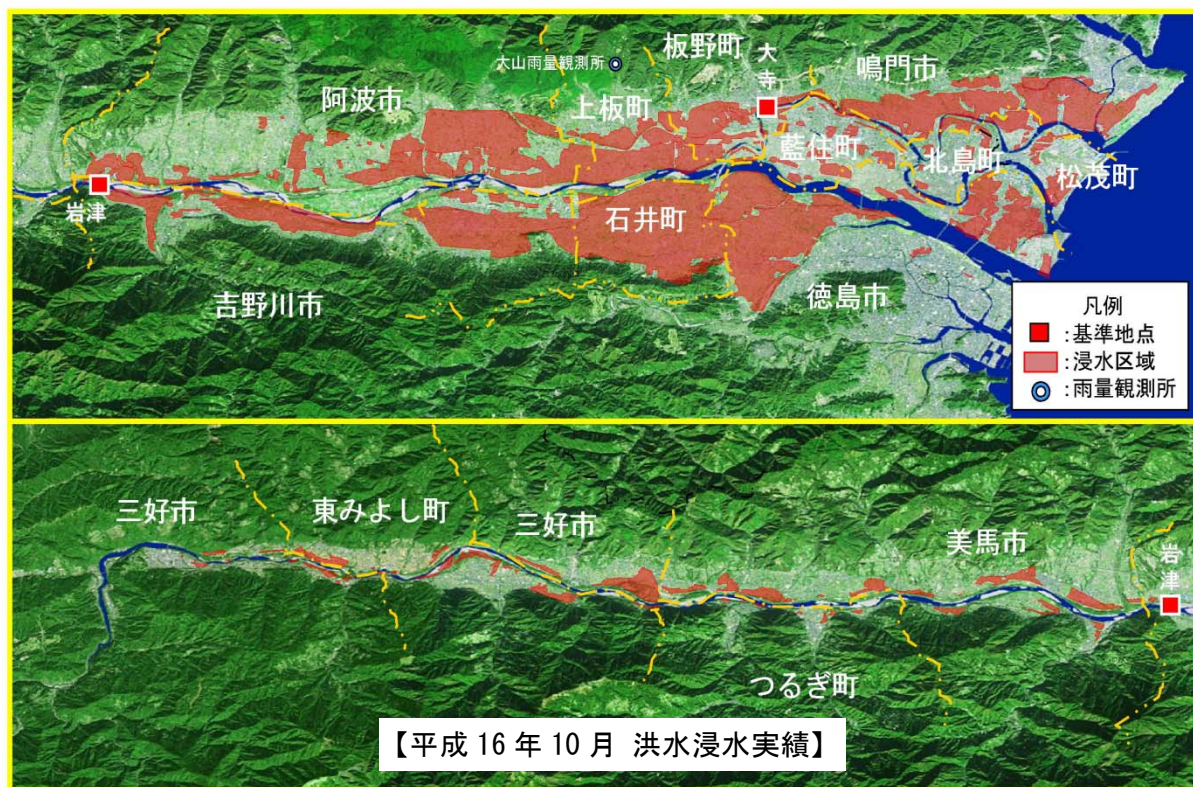
吉野川の平均河床高の経年変化は、近年、ほぼ安定している状態にある。しかしながら、河道は局所的に見ると、繰り返される洪水等の作用による土砂堆積、樹林化、竹林の放置による繁茂面積拡大と高密度化等による洪水流下への支障等の課題があり、局所的な深掘れによる堤防等の安全性の低下等も懸念される。旧吉野・今切川の河床はほぼ安定傾向である。

・被災履歴

吉野川流域は、台風が当該流域の西側を通過、若しくは直撃する場合に降雨が多く、降雨分布として山地上流域集中型と池田下流域においても激しい降雨がみられる全流域型があり、特に全流域型は平成16年台風23号のように大規模洪水となる傾向がある。平成16年23号台風の洪水では基準点岩津において戦後最大流量が観測され、池田から岩津の間にある無堤地区で吉野川の氾濫が発生するとともに各所で内水氾濫被害が発生した。



【岩津観測所における主たる洪水流量】



【吉野川における過去の洪水被害状況】

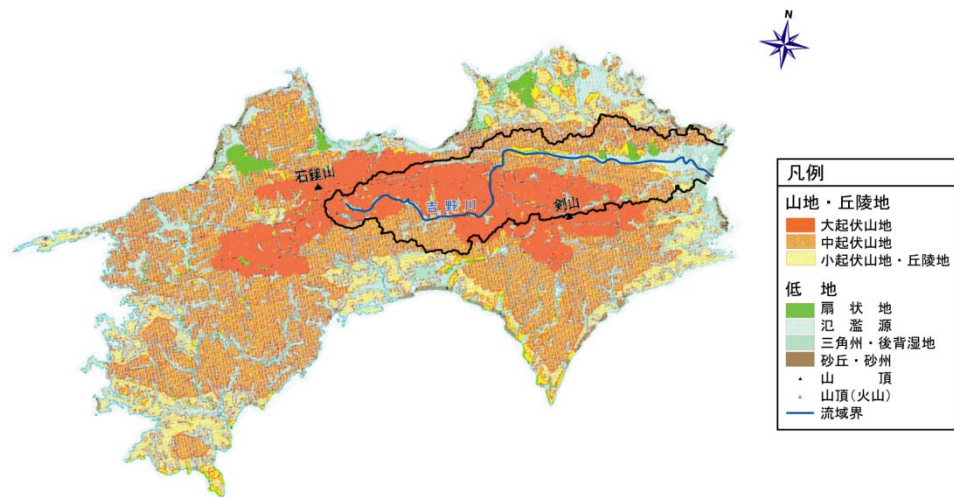
洪水発生年月日		要因	岩津上流 流域平均 2 日雨量 (mm)	岩 津 最大流量 (m ³ /s)	被害・概要等
西暦	洪水日				
1934	昭和 9 年 9 月	室戸台風	216	不明	死者 37 名、負傷者 345 名、不明者 2 名
1945	昭和 20 年 9 月	台風 16 号 (枕 崎)	287	(約 14,700)	池田町等で死者 12 名
1954	昭和 29 年 9 月 14 日	台風 12 号 (ジューン)	337	(約 15,000)	死傷者 17 名、 床上浸水 2,059 戸、床下浸水 6,886 戸
1961	昭和 36 年 9 月 16 日	台風 18 号 (第 2 室戸)	318	約 12,000	浸水面積 6,638ha、 床上浸水 15,462 戸、床下浸水 9,702 戸。
1970	昭和 45 年 8 月 21 日	台風 10 号	326	約 12,800	浸水面積 6,187ha、 床上浸水 828 戸、床下浸水 6,507 戸。
1974	昭和 49 年 9 月 9 日	台風 18 号	329	約 14,500	浸水面積 3,144ha、 床上浸水 362 戸、床下浸水 2,439 戸。
1975	昭和 50 年 8 月 18 日	台風 5 号	349	約 10,500	各所で護岸・根固等が被災。 ※被害状況は台風 6 号に含む
	昭和 50 年 8 月 23 日	台風 6 号	336	約 13,900	浸水面積 7,870ha、 床上浸水 1,679 戸、床下浸水 10,139 戸、 全壊流失家屋 75 戸。
1976	昭和 51 年 9 月 12 日	台風 17 号	578	約 11,400	床上浸水 3,880 戸、床下浸水 25,713 戸、 全壊流失家屋 109 戸。 (旧吉野川は浸水面積 6,186ha、床下浸水 1,503 戸。)
1982	昭和 57 年 8 月 27 日	台風 13 号	315	約 11,100	浸水面積 38ha、 床上浸水 1 戸、床下浸水 12 戸。

1990	平成 2 年 9 月 19 日	台風 19 号	336	約 11, 200	吉野川は浸水面積 1, 574ha、 床上浸水 37 戸、床下浸水 319 戸。 (旧吉野川は浸水面積 260ha。)
1993	平成 5 年 7 月 28 日	台風 5 号	421	約 12, 100	浸水面積 158ha、 床上浸水 39 戸、床下浸水 243 戸。 ※台風 7 号の被害を含む
	平成 5 年 8 月 10 日	台風 7 号	253	約 10, 600	池田から岩津間の無堤地区で氾濫被害、 下流部の飯尾川等で内水被害。 ※被害状況は台風 5 号に含む
1997	平成 9 年 9 月 17 日	台風 19 号	247	約 10, 000	浸水面積 142ha、 床上浸水 1 戸、床下浸水 13 戸。
2004	平成 16 年 8 月 31 日	台風 16 号	279	約 13, 600	池田から岩津間の無堤地区で氾濫被害、 内水地区で浸水被害。 浸水面積 757ha、床上浸水 92 戸、 床下浸水 139 戸。
	平成 16 年 9 月 29 日	台風 21 号	265	約 10, 100	吉野川は浸水面積 362ha、 床上浸水 5 戸、床下浸水 12 戸。 (旧吉野川は、浸水面積 72ha、床上 浸水 1 戸、 床下浸水 8 戸)
	平成 16 年 10 月 20 日	台風 23 号	366	約 16, 400	戦後最大の洪水。 吉野川は浸水面積 7, 645ha、 床上浸水 745 戸、床下浸水 1, 975 戸。 (旧吉野川は浸水面積 3, 120ha、床上 浸水 139 戸、 床下浸水 457 戸。)
2005	平成 17 年 9 月 7 日	台風 14 号	505	約 13, 800	吉野川は浸水面積 666ha、 床上浸水 19 戸、床下浸水 111 戸。
2011	平成 23 年 9 月 21 日	台風 15 号	314	約 11, 000	吉野川は浸水面積 4, 201ha、床上浸水 107 戸、床下浸水 618 戸。 (旧吉野川は、浸水面積 774ha、床上 浸水 18 戸、床下浸水 137 戸)
2014	平成 26 年 8 月 3 日	台風 12 号	442	約 11, 900	(台風 11 号の来襲により、未調査)
	平成 26 年 8 月 10 日	台風 11 号	336	約 10, 400	吉野川は浸水面積 2, 989ha、床上浸水 29 戸、床下浸水 118 戸。 (旧吉野川は、浸水面積 195ha、床上 浸水 4 戸、床下浸水 6 戸)

・地形

流域は、わずかな平野のほかは起伏の多い山地で占められ、平地面積が約 1 割 (480km²) に対し山地面積は約 9 割 (3, 270km²) である。

流域南側の山地は、剣山を最高峰として急峻な山嶺が並ぶ壮年期の地形を呈している。各山嶺は、地質構造に支配されて、東西ないし東北東から西南西の方向をとる。また、北側の山地も、南側に並走し東北東から西南西に連なるが、比較的緩やかで低い。



【吉野川流域の地形】

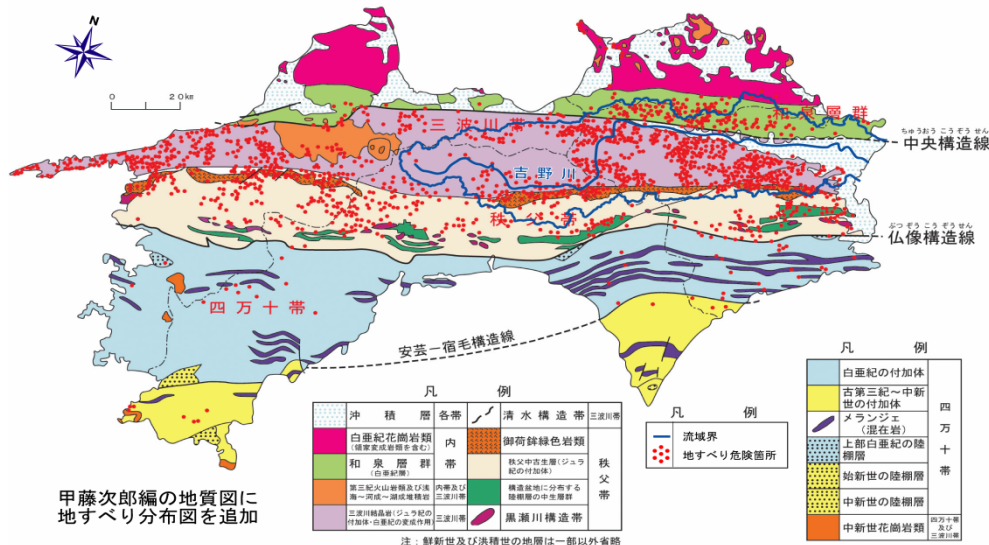
吉野川の直轄区域上流部（池田～岩津）は支川の形成した扇状地、本川の形成する自然堤防、その背後の後背湿地、および本支川の旧河道で成り、下流部（岩津より下流）は扇状地、自然堤防、後背湿地、デルタ、砂州、干拓地より形成されている。

・地質

流域の地質は、池田下流の本川及び支川銅山川に沿って東西方向に延びる中央構造線により区分されており、その北側には、砂岩・頁岩等からなる和泉層群、南側には結晶片岩類からなる三波川帯が分布している。さらに、三波川帯の南側には古生層からなる秩父帯が広がっており、このような地質構造に起因した破砕帯地すべり地が多く見られる。

吉野川の平野は、上流部から運ばれた砂礫や砂質土などが積もった沖積層で、地質的には最も新しい時代に形成された地層で、吉野川の旺盛な堆積作用もあり、その厚さは 40m 以上にも及ぶ。

■ 四国の地質および地すべり分布



甲藤次郎編の地質図に地すべり分布図を追加

※甲藤次郎編の四国の地質図に地すべり分布を加える。

【吉野川流域の地質】

1-4 土砂の生産域から河口部までの土砂移動特性等の状況

吉野川流域は、脆弱地質構造に起因した大規模破砕帯地滑り、大規模崩壊等土砂災害等が度々発生している。特に、早明浦ダムにおいて昭和 51 年 9 月に来襲した台風 17 号の記録的な豪雨により、上流域で山腹崩壊等が随所に発生し、当初の想定を超える多量の土砂が貯水池に流入したため、現在は年数に応じて想定していた堆砂量を上回っている。

また、池田ダム、富郷ダム、新宮ダムでは、ダムの機能に支障を及ぼすほどの堆砂には至っていないが、年数に応じて想定していた堆砂量を上回る速度で堆砂が進行している。

柳瀬ダムでは計画堆砂容量（50 年計画）の 1.7 倍に相当する量の土砂が堆積しており、堆砂除去等の対策検討を実施している。

河道域は、昭和 48 年以前は大規模な砂利採取等から全川的に著しい低下傾向にあったが、近年は砂利採取量が減少したことから大きな変化はなく、比較的安定している。

河口部は、侵食・堆積を繰り返しながらも河口砂州の位置に大きな変化は見られず、概ね安定している。

1-5 生物や水量・水質、景観、河川空間の利用等管理上留意すべき河川環境の状況

・生物

平成 3 年度～平成 28 年度の河川水辺の国勢調査によれば吉野川では 155 種の魚類が確認されており、特に純淡水魚の種数は 47 種確認されている。また四国屈指のアユ漁場であり、魚類にとって良好な生息環境となっている。第十堰から河口にかけての下流域における広大な汽水域は、河川と海の影響を受ける特有の環境であり、多くの生物にとって良好な生息・生育・繁殖の場となっている。また、市街地に近接しながらもヨシ群や干潟が広がり、季節毎にシジミ漁やノリ漁で賑わう豊かな自然を感じることができる貴重な空間となっている。

特に、河口干潟は日本の重要湿地 500 等に選定されており、シオマネキ・タビラクチ等の貴重種が多く生息している他、シギ・チドリ類の重要な中継地街地に近接しながらもヨシ群や干潟が広がり、季節毎にシジミ漁やノリ漁で賑わう豊かな自然を感じることができる貴重な空間となっている。

旧吉野川・今切川の河口堰上流に広がる淡水域は、かんがい期には 3 湛 2 落の操作を行うなど堰の運用によって緩やかな流れとなっており、ワンド・よどみ等の特有な河川環境を有している。水域には、イチモンジタナゴ・シロヒレタビラ等の魚類、クロモ・イバラモ等の沈水植物等が生息・生育・繁殖している。

絶滅危惧種等重要種は、吉野川で 230 種以上、旧吉野川・今切川で 120 種以上が確認されている。一方、特定外来生物として、植物ではアレチウリ、オオフサモ、オオカワヂシャ、ナルトサワギク、オオキンケイギク、ボタンウキクサ、ナガエツルノゲイトウ、魚類ではオオクチバス、ブルーギル、カダヤシ、両生類ではウシガエル等多くの種が確認されている。



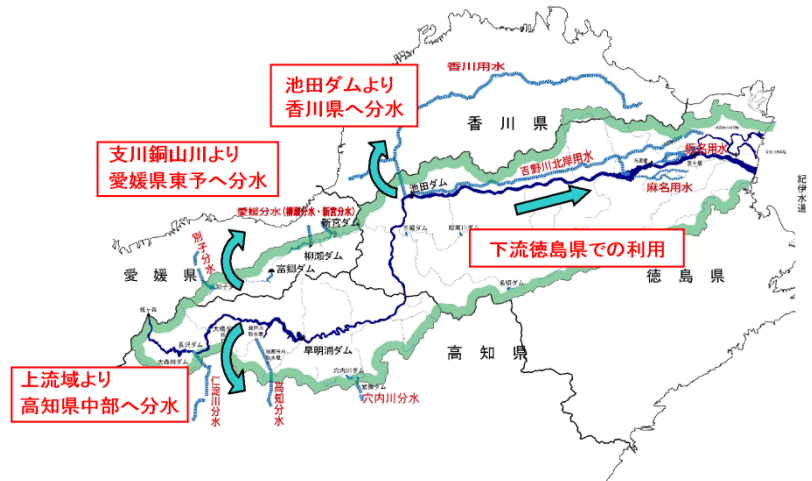
【シオマネキ（吉野川河口）】



【イチモンジタナゴ（旧吉野川）】

・水量

吉野川の水利用については、水道用水、工業用水、農業用水等に幅広く利用されている。流域外への分水としては、支川銅山川より愛媛県東予に、吉野川上流域より高知県中部に、池田ダムから香川県に、それぞれかんがい用水や都市用水と発電用水として分水されるなど、四国4県にわたり広域的に利用されている。農業用水については、総かんがい面積約 54,000ha におよぶ耕地のかんがいに利用され、発電用水については、32 箇所の発電所で利用され、総最大出力約 946,000kW の電力供給が行われている。



【吉野川の水利用】

吉野川では、近年毎年のように渇水時には渇水調整が行われており、早明浦ダムでは、平成6年、17年、20年の大渇水も含め、昭和50年の管理開始以降、1.7年で1回、銅山川ダム群でも1.6年に1回の取水制限を行っている。

近年では平成6年、17年、20年において、早明浦ダムの利水容量が底をつく大渇水に見舞われ、電気事業者の協力により発電専用容量からの緊急放流を行っている。しかし、渇水時には、吉野川水系水利用連絡協議会における調整を踏まえ取水制限を実施し、河川環境や市民生活への影響を最小限にとどめている。

・水質

吉野川の水環境基準の類型指定状況は、大川橋上流ではAA類型、大川橋直下流から河口まではA類型であり、両区間とも環境基準（BOD75%値）を達成しており、良好な水質が維持されている。また、旧吉野川・今切川は、第十樋門から旧吉野川河口堰まではA類型、旧吉野川河口堰下流ならびに今切川河口堰下流でB類型、今切川河口堰上流ではC類型となっており、いずれの区間も昭和50年代より環境基準値を満足しており、長年において良好な水質を維持している。また、ダム湖の水環境基準は、早明浦ダム、柳瀬ダム、新宮ダムでは湖沼A類型、富郷ダムでは河川AA類型、池田ダムでは河川A類型に指定されている。全ダムにおける環境基準を達成しており、水質は良好と言える。

その他、上流部山腹崩壊、林業の荒廃やダム群の建設の影響もあり、出水後等においては濁水の長期化現象が確認されている。濁水現象は平成17年の渇水にも長期化し、その後台風14号がもたらした洪水により濁度10度以上が48日間継続した。

・景観

吉野川上流域（源流～池田ダム）は、大歩危・小歩危をはじめとして渓谷美の豊かな四国有数の景勝地となっており、多くの観光客で賑わっている。

吉野川中流域（池田ダム～第十堰湛水域上流端）には、広いレキ河原や藩政時代から水害防備林として植林されてきた竹林が広がっており、吉野川の歴史や文化と関わりのある河川景観を醸し出している。一方、水害防備林（竹林）の多くは放置された状態となっており、河川景観を悪化させる一因ともなっている。吉野川下流域では、河口部に広大な干

潟とヨシ群落が広がっており、雄大な河川景観を呈している。

旧吉野川では第十樋門から今切川分派点までは、水際にヨシ群落やツルヨシ群落、その背後にオギ群落やマダケ林等が見られ、穏やかに流れる水面と一体となり、自然度の高い景観となっている。一方、今切川分派点から旧吉野川、今切川両河口堰までは、市街化が進んでいる平野部を緩やかに流下しており、川沿いには住宅地や工場が点在している。

・河川空間利用

早明浦ダム、池田ダム、富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダムの5ダムには、公園施設や展望広場、親水施設等が設置されており、地域イベントの会場や四季折々の来訪者の憩いの場として利用されている



【やまびこカーニバル 早明浦ダム】



【湖水まつり 富郷ダム】

吉野川では、アユ等の漁業やシジミ等の採捕が行われている。河川敷は、農地として利用されているほか、各種イベントの会場や野球、サッカー等のスポーツ大会会場として利用されており、特に景勝地となっている「美濃田の渚」は、観光客が多く訪れ遊覧船も運航するなど、吉野川の自然を感じることができる水辺空間となっている。

また、水際は釣り等のレクリエーションや水辺の楽校を中心とした子供の野外における環境学習等、さまざまな活動の場として利用されている。さらに、近年の健康志向の高まりを背景に、堤防等では散策やジョギング等も行われており、良好な景観と相まって、河川空間が心身両面において健康の維持に重要な役割を果たしている。

さらに、流域住民の河川環境に対する関心の高まりを背景として、市民団体等の各種団体による河川清掃や生物の観察会等のイベントが盛んに実施されている。



【アユ釣り 吉野川】



【吉野川フェスティバル】

旧吉野川・今切川の河口堰上流は、住宅地が広がる平野部を緩やかに流れる豊かな自然空間となっている。水面は、釣りや漕艇の練習に利用されているほか、河川敷にある公園等では散策や野外活動等、多くの人々に利用されている。

また、今切川分派点付近にある三ツ合公園は、各種イベント等に利用され、さらに近年の健康志向の高まりを背景に、堤防等では散策やジョギング等も行われるなど地域の人々の憩いの場となっている。



【漕艇の練習 旧吉野川】



【野外活動 旧吉野川】

2. 河川維持管理上留意すべき事項等

2-1 堤防・護岸、樋門等の維持管理

1) 吉野川

吉野川は、古くから流域の人々に恩恵を与えてきた反面、「四国三郎」として、板東太郎の利根川、筑紫次郎の筑後川と並び称され、ひとたび大雨が降れば暴れ川となり、毎年のように洪水被害を発生させて、川沿いの住民を苦しめてきた。

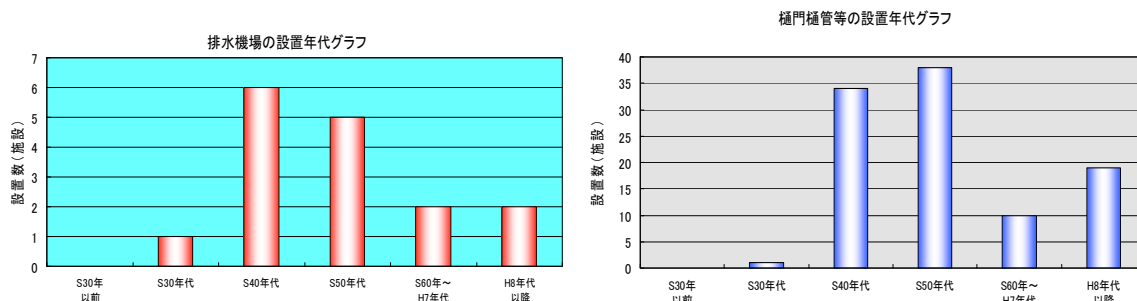
明治40年の第1期改修工事に着手し、昭和2年の下流部の堤防概成以降、現在に至る間にも甚大な洪水が頻発し、とりわけ平成16年10月の台風23号洪水では、基準地点岩津において戦後最大流量が観測され、池田から岩津間の無堤地区での氾濫が発生するとともに、各所で内水氾濫による被害が発生した。

しかし、岩津上流では未だ多くの無堤地区が残されている。

このように、吉野川では明治以来改修工事が進められた古い歴史を持っており、堤防や護岸とともに第十堰のように長年に渡り維持管理を行っている大規模な施設も存在している。また、経年劣化による施設の老朽化や樹木根茎による護岸等の損傷、車両乗り入れなど人的行為による損傷などがある。

さらに、樋門や排水機場などの施設についても昭和40年代～50年代に設置されたものが大半であり、老朽化による不具合も多く、今後、部品の入手が困難となる問題や出水時に操作を伴う樋門・排水機場等操作員の高齢化や人員不足の顕在化などの問題が生じることが予想される。

排水機場・樋門等設置年代



吉野川の直轄管理区間における堤防管理延長は、112.81kmと四国内では最も長い堤防を管理している。この内、重要水防箇所と位置づけられた区間が79.43km存在する。また、樋門・樋管等97施設、排水機場17施設、堰2施設などの多くの河川管理施設を管理している。

岩津下流（岩津～河口）の堤防整備率は約99%に達し、阿波市勝命地区を除き、堤防は概成しているものの、上流（池田～岩津）の堤防整備率は約65%であり、いまだ約18kmが無堤の状況にある。無堤地区では、吉野川の氾濫による大規模な浸水被害の発生が危惧されており、平成16年10月の台風23号来襲時には、無堤地区で甚大な浸水被害が発生した。このため、早期に堤防の整備を促進し、無堤地区の解消を図ることが急務となっている。

吉野川における維持管理対象区間

河川名	自	至	区間延長 (km)	備考
吉野川	三好市池田町 西山	河口	77.69	
ほたる川	吉野川市山川 町中須賀	吉野川との合 流点	0.20	
計			77.89	

河川管理施設数一覧

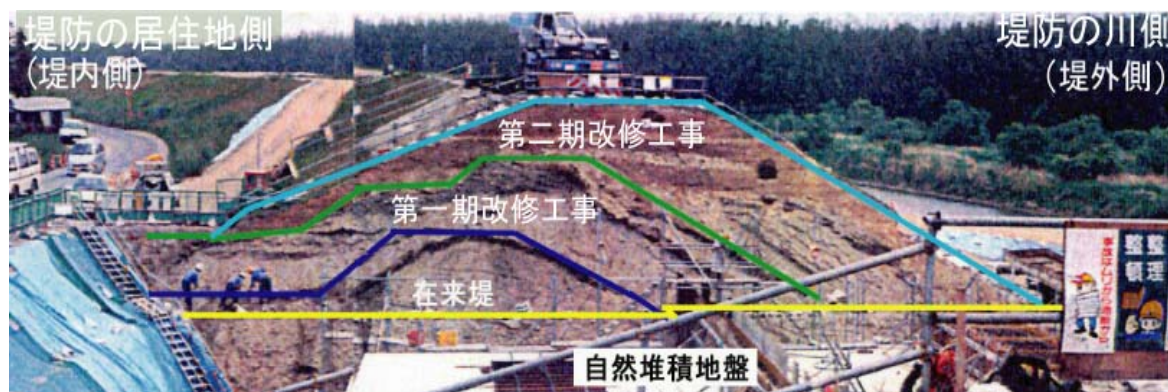
河川名	河川管理施設	箇所数
吉野川	堰	吉野川堰 2 箇所(第十堰、柿原堰)
	排水ポンプ場(排水機場)	17 箇所
	排水門(樋門・樋管)	97 箇所
	閘門	1 箇所
	河川防災ステーション	1 箇所(石井)
	水文観測所	水位観測所：13 箇所 雨量観測所：19 箇所

※平成 30 年 3 月現在

① 堤防浸透・侵食等

吉野川の堤防整備済区間では、過去から漏水が頻発しており、特に平成 16 年 10 月の台風 23 号では下流(岩津～河口)の堤防を中心として漏水が発生し、堤防が危険な状態となった。

この区間の堤防で漏水が頻発する理由としては、嵩上げ・拡幅が繰り返された複雑な構造であること、古い時代の施工では盛土材料として水を通しやすい河床の土砂が用いられていたことや旧河道上に造られたものも多いことなどが挙げられる。平成 30 年出水では漏水対策済区間上下流付近からも小規模ではあるが漏水が発生した。今後の増水においても同様に漏水が発生し、堤防が危険な状態となることが懸念されることから、漏水発生の実績箇所の継続監視や発生位置・大きさなど正確な情報把握が必要である。



【複雑な堤防断面構造 (阿波市市場鶯谷樋門)】

堤防の浸透に対する安全性について堤防整備済区間を対象に点検した結果、左岸では約 25.0km、右岸では約 27.4km の区間において対策が必要となっている。

堤防の侵食に対する安全性について堤防整備済区間を対象に点検した結果、吉野川では、左岸で約 8.4km、右岸で約 5.2km の堤防において対策が必要となっている。

また、度重なる洪水により、低水路からの側方侵食、洗掘や堤防のり面、のり尻付近の侵食が発生し、堤防の安全性の低下が懸念される。

したがって、漏水や侵食による甚大な被害の防止に向けての計画的対策と併せ河川巡視等により状況を注視し、適切に維持管理を行う。

② 地震津波対策

吉野川の地震津波対策としての液状化対策は不要だが、河川構造物については耐震補強等が必要であり、平成 22 年度に津波遡上区間における排水門の耐震補強に着手し、新町樋門など 9 樋門の耐震対策が完了しており、現在、榎瀬川樋門の改築を実施している。

2) 旧吉野川、今切川

旧吉野川・今切川の下流部では、昭和 36 年 9 月の第二室戸台風時に高潮が発生し、大規模な浸水被害が発生した。

昭和50～51年に徳島県から国へ編入し、築堤や補修を行い現在に至っているが、未だ堤防の整備率は著しく遅れており、洪水、高潮による氾濫被害の防止に向けた堤防の整備が急務となっている。

また、旧吉野川・今切川沿いの地盤高は低く、地盤は緩い砂質土等で構成されており、地震時の液状化により堤防の沈下が発生しやすく、地震津波等による浸水被害が懸念されている。こうしたことから、近年地震津波対策が実施されているものの、未だ多くの未対策箇所が残されている。

一方、旧吉野川・今切川には、洪水の流下を阻害する橋梁や長年における経年劣化及びシラス栈橋などにより護岸等の損傷が多く、近年、その老朽化が目立っている。また、旧吉野川、今切川では旧堤も残っていることや官民境界の不明確な箇所が存在し、このような箇所では不法行為が多発することになり、河川管理施設点検への支障が懸念されている。



【旧堤の老朽化】

旧吉野川、今切川の直轄管理区間における堤防管理延長は、53.66km のうち、重要水防箇所として位置づけられた区間が 48.24 km 存在する。また、旧吉野川、今切川では樋門・樋管等 5 施設などの河川管理施設を現在管理している。

旧吉野川、今切川理計画における維持管理対象区間

河川名	自	至	区間延長 (km)	備考
旧吉野川	吉野川からの分派点	河口	24.80	
今切川	旧吉野川からの分派点	河口	11.65	
鍋川	松茂町広島	松茂町広島	0.10	
計			36.55	

河川管理施設数一覧

河川名	河川管理施設	箇所数
旧吉野川	堰	旧吉野川堰 1 箇所(旧吉野川河口堰)
	排水門 (樋門・樋管)	3 箇所
	水門	1 箇所(丸須水門)
	閘門	1 箇所(鍋川)
	陸閘	9 箇所
	水文観測所	水位観測所：5 箇所(支川 1 箇所) 雨量観測所：4 箇所
今切川	堰	1 箇所(今切川河口堰)
	排水門 (樋門・樋管)	1 箇所
	陸閘	3 箇所
	水文観測所	水位観測所：1 箇所

※平成 30 年 3 月現在

旧吉野川及び今切川においては、流下断面や堤防高が不足し、川沿いに残る旧堤防等の効果を考慮しても、市街地等への大規模な氾濫被害が想定されることから、堤防整備や河道掘削等を実施し、必要な流下断面を確保する。

周辺の地盤は緩い砂質土等で構成され、地震時の液状化により、堤防の沈下が発生しやすいこと及び地盤高が低いことから、潮位・津波等による浸水の被害を受けやすい。また、老朽化した護岸等も多いことから、河川巡視による点検や護岸補修等、今後においても適正な維持管理を行う。

① 堤防浸透・侵食等

堤防の浸透に対する安全性について堤防整備済区間を対象に、点検した結果、旧吉野川では左岸 1.0 km、今切川では左岸約 0.6 km、右岸約 0.6 kmの区間において対策が必要となっている。

② 地震津波対策

大規模地震・津波対策として、「計画津波」に対する被害を軽減するため、堤防等の整備に加え、地質調査、最新の知見及び基準を用いた耐震堤防検討によって、液状化等によ

り被災する可能性のある堤防については、必要な対策を実施する。

また、地震により、排水門(樋門)等の河川管理施設の損傷や操作への支障が生じた場合、津波または洪水による浸水被害の発生が懸念されることから、予想される被害状況、社会的状況等を考慮し、河川管理施設の耐震対策を実施するとともに、排水門(樋門)等の閉扉操作の自動化、高速化、遠隔化の対策を実施する。

なお、旧吉野川・今切川の大規模地震への対応は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災を契機とし、液状化による堤防沈下量、津波遡上範囲及び津波高の関係から対策範囲の見直しを行い、その結果、堤防整備と液状化対策の延べ要対策延長は 28.2km へ大幅に増加している。この内、平成 29 年度末までに延べ 7.5km の整備を完了させている。

2-2 河道内の局所洗掘、土砂堆積

近年の河道平均河床高については、ほぼ安定している状態にあるが、繰り返される洪水等の作用により、土砂が堆積し洪水流下への支障が懸念される。そのため、現況の流下能力を確保する上で障害となっている樹木伐採や河道掘削を行うことが重要である。

また、吉野川では、砂利採取が行われており、砂利採取規制計画の策定や採取状況の確認など、今後も適正な河道の維持管理を実施することが重要である。

1) 吉野川

堤防の整備等を実施してもなお、流下断面が不足する区間では、河道の掘削を行うとともに、樹木伐採等を行い、必要な流下断面を確保する。

また、吉野川の河道内の樹木の繁茂の影響は、河道の横断的な経年変化に顕著に表れており、とりわけ第十堰から岩津区間においては、昭和 50 年代半ば頃から砂州が固定化・拡大するとともに、みお筋の河床高の低下が進行し、河道の二極化が多数確認され、今後さらに二極化現象が進行することにより堤防への重大な影響が懸念される。

吉野川においては、土砂堆積や河口閉塞による維持掘削を実施する箇所は現在のところ発生していないが、今後の洪水等により、土砂が堆積し、洪水流下への支障が生じる恐れもあるため、河川巡視や縦横断測量などのモニタリングにより、河道状況を把握し、適正な河道の維持管理を行う。

さらに、支川合流部や樋門導水路においても、河川巡視等により土砂堆積の把握を行い、洪水流下及び河川環境(魚の遡上など)の支障とならないよう、適正な維持管理を行う。

なお、吉野川では砂利規制計画により砂利採取も許可しており、また、過去盗掘も発生しているため、今後においても適正な許認可審査や縦横断測量結果などによる砂利採取規制計画見直し(5年/回)や、河川巡視についても行い、適正な維持管理を行う。

なお、吉野川においては、大正 10 年頃より砂利採取が始まり、高度経済成長期における建設資材需要の高まりに応じて、昭和 30 年代後半から 40 年代に、主に河口から岩津区間で大規模に実施されたが、昭和 54 年頃から大幅に縮小され、現在では河道管理に大き



【砂利採取の状況】

く影響しない範囲で、砂利採取を行っている。

2) 旧吉野川・今切川

旧吉野川、今切川においても、維持掘削を実施する箇所は現在のところ発生していないが、今後の洪水等により、土砂が堆積し、洪水流下への支障が生じる恐れもあるため、河川巡視や縦横断測量などのモニタリングにより、河道状況を把握し、適正な河道の維持管理を行う。

さらに、支川合流部や樋門導水路においても、河川巡視等により土砂堆積の把握を行い、洪水流下及び河川環境（魚の遡上など）の支障とならないよう、適正な維持管理を行う。

なお、旧吉野川、今切川では砂利採取規制計画により全川砂利採取禁止区域に設定しているが、今後においても縦横断測量結果などによる砂利規制計画見直し（5年/回）や、盗掘防止のため河川巡視についても行い、適正な維持管理を行う。

2-3 河道内樹木

近年、ヤナギ類による河道内の樹林化が進行し、洪水流下への支障や局所的な深掘や砂州の陸域化による水際の急勾配化が生じている。さらに放置された竹林の面積拡大・高密度化等による洪水流下への支障などが懸念される。

さらに、護岸など河川管理施設付近における樹木の繁茂が確認されており、今後においても、河川巡視や縦横断測量などのモニタリングにより河道状況を把握し、適正な河道の維持管理を実施することが重要である。



【ヤナギ類等の樹木の繁茂状況】

1) 吉野川

吉野川においては、ヤナギ類による河道内の樹林化及び護岸などの河川管理施設付近での樹木繁茂が見受けられる箇所があり、洪水流下への支障や局所的な深掘や砂州の陸域化による水際の急勾配化、倒木による施設の損傷などが生じる恐れがある。また、竹林の放置による繁茂面積拡大・高密度化等による洪水流下への支障などが懸念されるため、河川巡視や縦横断測量などのモニタリングにより適正な河道の維持管理を行う。



【河岸の急勾配化】

個別箇所の管理手法を選定する際には、「吉野川河道内樹木管理手法検討委員会」に準拠する。まず、管理目標を定めた上で、現状の河道内樹木を治水、環境、風土の観点からそれぞれ評価する。この評価によって、全ての観点からプラスと評価される場合には「保全・促進」、マイナスと評価される場合には「排除・改善」



【護岸部の樹木】状況

するための手法を適用する。マイナスとプラスの機能が混在する場合には、コンフリクトの調整を図るため、「回避」、「軽減」「代償」などのミチゲーション処置を講じることが基本とし目標の実現に向けた適正な管理に努める。

『吉野川水系河川整備計画（平成 29 年 12 月 20 日変更）』により、樹木伐採が位付けられている箇所や、実施済みの樹木伐採箇所については、樹木の繁茂状況や、伐採後のモニタリングを実施し、伐採後に再繁茂するおそれがある場合は、幼少期に伐採するなどの対応に努める。

また、支川合流点付近の樹木の繁茂による支川閉塞や堤内側の内水助長、河道内樹木の固定化による河岸の局所洗掘の発生などの問題が生じており、今後、計画的に伐採を実施して行く。

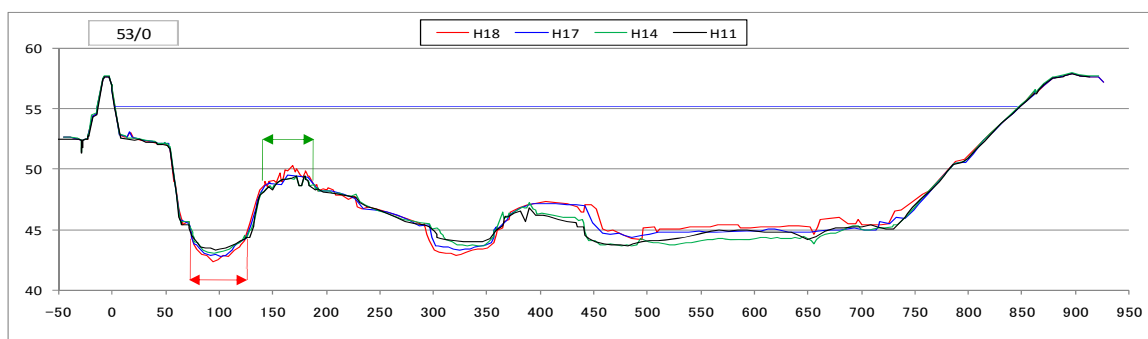
なお、度重なる洪水等による砂州の固定化・拡大・樹林化、河床低下に伴い、低水路からの側方侵食、洗掘や堤防のり面、のり尻付近の侵食が発生している。特に平成 26 年 8 月の台風 12 号、11 号洪水では、それぞれ岩津地点で約 11,900m³/s、約 10,400m³/s の中規模洪水であったが、堤防へ向かう洪水流によって、大規模な侵食被害が発生し、堤防に影響を及ぼしかねない状態となった。そのため、堤防強化に加え堤防へ向かう河川の流れの改善に向けた、樹木伐採や河道掘削が一体となった対策等を図る必要がある。



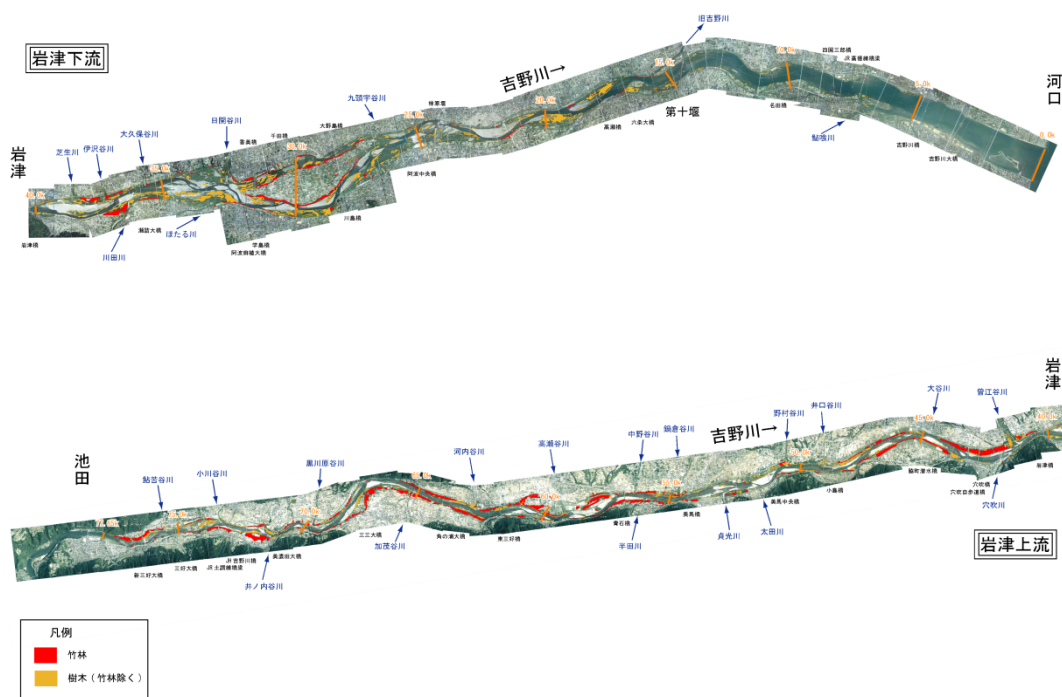
【支川合流点付近の樹木繁茂状況(吉野川 62k/6 付近)】



【樹木繁茂による局所洗掘の状況(吉野川 53k/0 付近)】

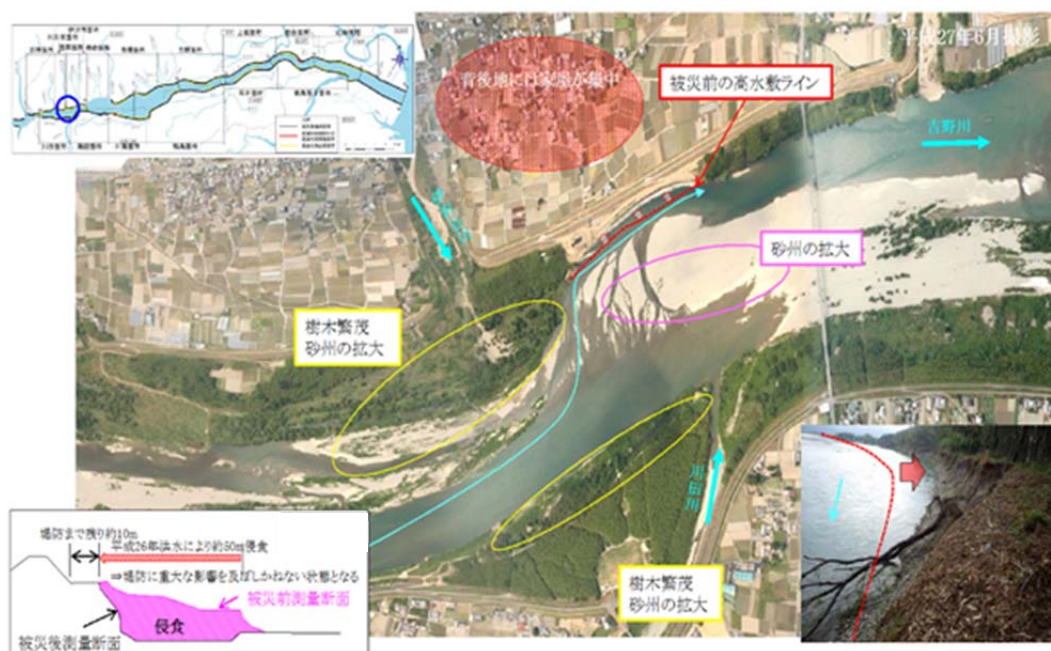


【樹木繁茂による局所洗掘の状況(吉野川 53k/0 付近)】



平成14年5月撮影航空写真

【吉野川河道内樹木管理手法検討委員会の河道内樹木分布概要図資料（平成18年2月）】



【西原箇所での侵食被害】

2) 旧吉野川・今切川

旧吉野川、今切川においても、ヤナギ類による河道内の樹林化が一部見受けられる箇所がある。河川巡視や縦横断測量などのモニタリングにより適正な河道の維持管理を行う。

個別箇所の管理手法を選定する際には、「吉野川河道内樹木管理手法検討委員会」に準拠する。まず、管理目標を定めた上で、現状の河道内樹木を治水、環境、風土の観点からそれぞれ評価する。この評価によって、全ての観点からプラスと評価される場合には「保全・促進」、マイナスと評価される場合には「排除・改善」するための手法を適用する。マイナスとプラスの機能が混在する場合には、コンフリクトの調整を図るため、「回避」、

「軽減」「代償」などのミチゲーション処置を講じることを基本とし目標の実現に向けた適正な管理に努める。

2-4 土地利用

1) 広大な占用地の維持管理

吉野川の河川幅は上流（池田～岩津）で約 400～800m、下流（岩津～河口）で約 800～1200m と非常に広く、それに伴い河川敷には広大な占用地（耕作地、採草値等）が存在している。

	許可工作物 件数	占用地 (耕作地・採草地など) 件数	
		件数	件数
吉野川	573	4,045	約 660万m ²
旧吉野川・今切川	376	22	約 2万m ²

【許可工作物件数及び占用地件数/面積】

また、吉野川は、河口より約 15km 付近において旧吉野川へ分流し、旧吉野川も旧吉野川河口から約 11km 付近において今切川と分流して、河口域の平野において工業や農業、生活水に利用されている。このような地形状況や水利用が多いため、河川への橋梁や取水の為に施設等の許可工作物が多くある。

洪水を安全に流下させるためには、河川区域内の不法占用や不法行為の監視や許可工作物の適正な管理を、河川巡視等による日常的な監視体制を実施する。



善入寺島の耕作地

2) 環境整備事業を実施後の管理

レキ河原の保全・再生、水際環境の保全・再生、河川空間の適正な利用等、河川整備計画に定められた内容を踏まえ、整備された河川環境が適正に保持されるよう河川巡視等により状況把握に取り組みながら施設の機能が適切に発揮できるよう維持管理を行う。

2-5 洪水時に漂着する障害物

頻発する洪水の度に、河川内に大量の流木等の障害物が漂着し、これらは、河川管理及び河川利用において支障となるほか、河川環境の悪化を招く要因となるため、河道流下断面の確保、河川管理施設の機能維持、巡視路の確保の観点から優先し障害物除去を行っている。

とりわけ、旧吉野川・今切川では、支川からホテイアオイやボタンウキクサ等に大量に漂着するため、河川巡視により早期に発見するよう努めるとともに、「ホテイアオイ等対策協議会」等を通じて、関係機関との情報共有を行うなど、連携を図り早期の駆除に努め

ている。

2-6 河川内での不法行為と河川美化

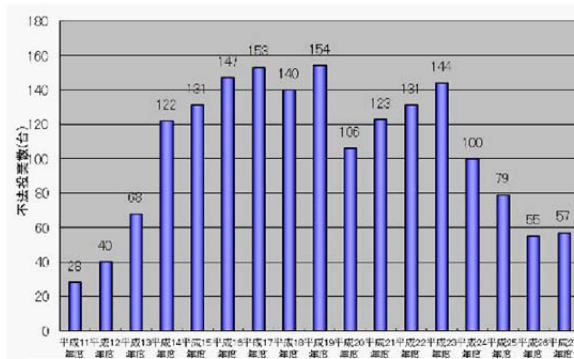
吉野川、旧吉野川、今切川においてゴミ等の不法投棄が近年増大している。特に家電製品等の大型ゴミの不法投棄が相次いでおり河川環境の悪化や処分費用の増大に繋がっている。一方では、吉野川交流推進会議を軸として地域住民や市民団体が河川の美化活動に参画するアドプト運動が広がっており、河川巡視等によるきめ細やかな管理の継続はもとより、地域住民及び関係機関との連携を図る。

また、旧吉野川や今切川の河口域では、不法放置船舶やシラス漁に利用した栈橋の放置が多く、これらの不法行為は、洪水時には流水の妨げてなり、流出して河川管理施設に損傷を与える恐れがある。

よって、河川区域内の不法占用や不法行為は、河川利用、水防活動や洪水流下への支障になるおそれがあるため、今後も許認可事務を適正に実施するとともに、河川巡視等による監視体制を維持していく必要がある。



【不法投棄の状況】



【吉野川の不法投棄数の推移】
(家電四品目合計)

家電四品目：テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン

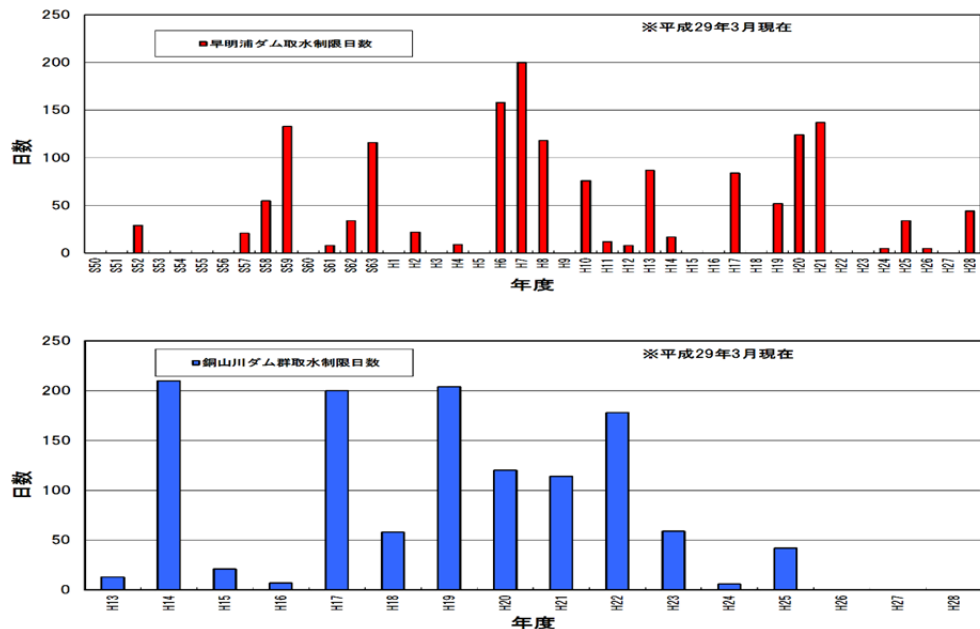
2-7 河川水の利用と渇水

吉野川の水利用については、徳島平野等において古くから行われ、農業用水としての本格的な水利用は、大正元年に完成した麻名用水、板名用水にはじまり現在では、水道用水、工業用水、農業用水等に幅広く利用されている。

また、流域外への分水としては、支川銅山川より愛媛県東予に、吉野川上流域より高知県中部に、池田ダムから香川県にそれぞれかんがい用水や都市用水として分水されるなど、四国4県にわたり広域的に利用されている。

渇水時には、吉野川水系水利用連絡協議会における調整を踏まえ取水制限を実施し、河川環境や市民生活へ大きな影響が生じるところを最小限にとどめている。

近年では平成6年、17年、20年において、早明浦ダムの利水容量が底をつく大渇水に見舞われ、電気事業者の協力により発電専用容量からの緊急放流を行っている。早明浦ダムからの補給がなければ、吉野川の流量は減少し、水道用水をはじめとする都市用水、農業用水の取水が困難となり、住民生活に大きな影響を与えていたと考えられる。

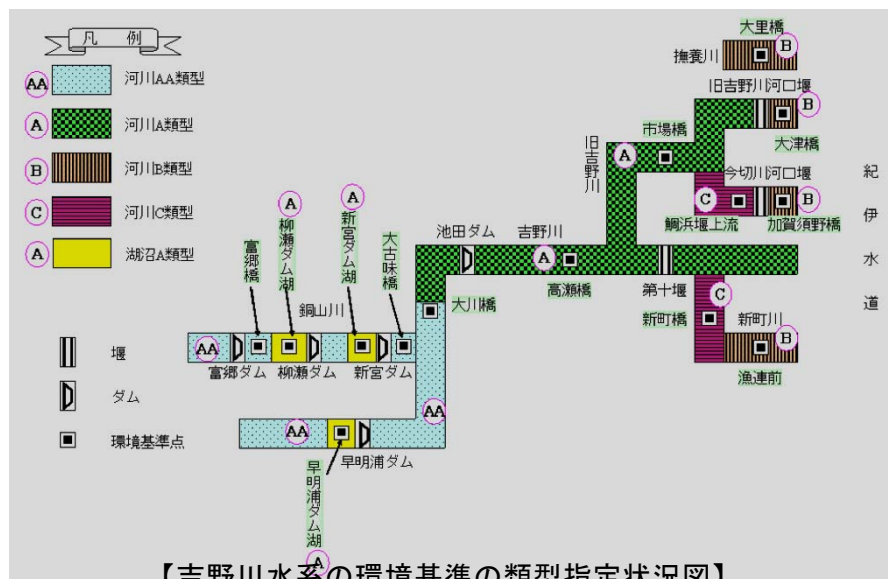


【早明浦ダム及び銅山川ダム群に係わる利水での取水制限】

渇水時には、河川水量の低下により瀬の減少等の原因によるアユ等水生生物への影響の他、水質悪化、利水者への取水制限による影響が懸念される。よって、河川巡視により河道内の水位状況、河川利用状況を把握する他、取水量の確認や魚道の機能確保の状況把握等を行う。

2-8 水質の保全

吉野川の環境基準の類型指定状況は、岩津ト流から河口までは河川 A 類型であり、両区間とも環境基準（BOD75%値）を達成しており、良好な水質が維持されている。また、旧吉野川は、第十樋門から旧吉野川河口堰まで河川は A 類型、旧吉野川河口堰下流は河川 B 類型、今切川は今切川河口堰上流で河川 C 類型、今切川河口堰下流で B 類型となっており、いずれの区間も昭和 50 年代より環境基準値を満足しており、長年において良好な水質を維持している。



2-9 動植物の生息・生育状況

吉野川流域は上流域から河口部まで豊かな自然環境に恵まれ、多種多様な動植物の生息・生育地となって、河川管理区間での水質も近年概ね良好な状況にある。今後も良好な河川環境の維持が求められるが、近年、外来動植物の侵入が見られるようになり河川環境の悪化が懸念されている。このため、河川環境の保全や適正な維持管理を実施することが重要である。

1) 吉野川

大歩危峡上流の吉野川は深いV字谷の溪谷を成し、瓶ヶ森周辺の源流域は豊かな自然林を形成する。三好市より下流の中流域で、扇状地から平野の移行し、河道内には瀬と淵、砂礫の州が形成され、瀬には、アユ、オイカワ等、淵にはコイ、ナマズ等の魚類が多く生息・生育している。また、下流域においては、ワンドやよどみが点在し、多種多様な動植物が生息しており、豊かな自然環境に恵まれている。

平成3年度～平成28年度の河川水辺の国勢調査によれば、吉野川単独で237種に及ぶ絶滅危惧種等重要種が確認されている。一方で、吉野川では多くの外来種が繁殖・繁茂してきており、特にシナダレスズメガヤの繁茂は、吉野川本来の河原を消失させ、動植物の生態系だけでなく治水にも係わる問題を引き起こすことが懸念されている。

河原に繁茂したシナダレスズメガヤは、平成16年度の度重なる洪水により大部分は消失したものの、吉野川水系全体では、洪水の少なかった平成17年度から平成22年度にかけて生育面積が約3倍に増加したが、その後の洪水の影響により平成27年度には半減するなど、増減を繰り返している。地区毎に見ると、西条大橋地区、柿原地区等のレキ河原では、平成27年度において河原の約10%を覆う状況に変化している。このように、シナダレスズメガヤはレキ河原だけでなく、河道全体に生育域を拡大しつつある。

柿原堰から第十堰にかけては、特定外来生物であるアレチウリが広範囲に繁茂している。アレチウリは平成12年に初めて侵入が確認され、その後、分布を拡大している。アレチウリの繁茂によって在来種のオギ群落が駆逐されていることから、在来植物群落を保全する取組により良好な水際環境の保全に努める必要がある。



【特定外来種 アレチウリ】

吉野川下流域における汽水域は、特定外来生物であるナルトサワギクが平成17年に確認され、在来の砂丘植物の群落に侵入して駆逐している状況

である。年1回程度、住民参加による除去活動が行われており、平成27年時点までに顕著な分布拡大は見られず、群落面積はほぼ横ばいである。河口干潟環境の保全に向けて、今後も継続して除去活動を実施する必要がある

このほか、特定外来生物として植物のオオキンケイギク等が確認されており、同様に生態系等への影響が懸念されている。こうしたことから、特定外来生物については、継続したモニタリングを行い、生息・生育環境の把握や治水への影響を確認し、対策を行う。

なお、特定外来生物については、外来生物法に基づき適正に処理を行う。

また、今後はこれら外来植物の効果的な防除方法について検討を行い、適正な処理を行う。

また、とりわけ吉野川上流の堤防では、イノシシによる法面の掘り返しが確認されてい

ることから、ブロック等による保護やイノシシの餌となるクズ類の除去、生息域となる高水敷の除草・伐木等を実施する必要がある。

2) 旧吉野川・今切川

旧吉野川、今切川の河口堰上流は、堰の運用によって緩やかな流れとなっており、ワンド・よどみ等のある多様な河川環境を有している。

平成3年度～平成28年度の河川水辺の国勢調査から絶滅危惧種等の確認状況は、全123種にも及んでいる。

また、旧吉野川・今切川においては、水生の外来生物として、平成20年にボタンウキクサが異常繁茂して水面を覆い、船舶航行阻害や腐敗による水質悪化などが発生している。ナガエツルノゲイトウについては、平成17年に確認された後、出水による面積の増減が見られるものの、継続的に分布しており、水際に生育する在来植物と競合し、駆逐している状況である。さらに、ホテイアオイは平成7年に確認され、平成12年に大きく増加したものの、その後は減少傾向にあり、平成27年には確認されなくなった。これらの種については、吉野川流域ホテイアオイ等対策連絡会により、その動向が監視され、発生が確認された際には維持工事により早期除去が行われている。近年は群落面積が比較的小さい状況であるが、これまでに実施してきた船舶による水草の回収などの対策を引き続き行っていく必要がある。



【特定外来種 ボタンウキグサ】

なお、特定外来種については、絶滅危惧種等重要種に配慮しながら外来生物法に基づき適正に処理を行う。



【ホテイアオイの駆除状況】



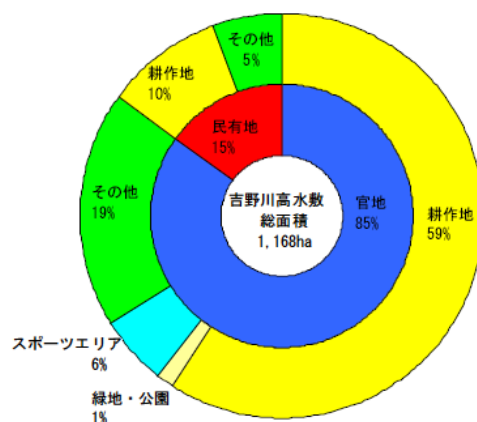
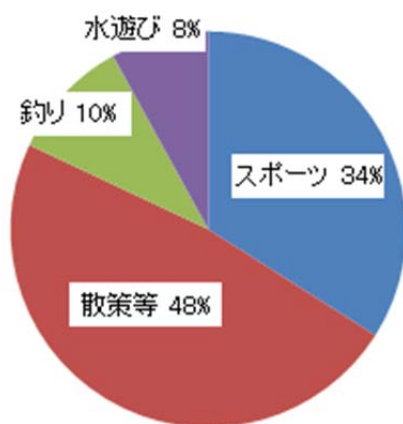
【水草回収船】

2-10 河川空間の利用

吉野川の高水敷利用はスポーツ、散策路等の利用が盛んである。官有地は、主に耕作地が多くを占め、また、民有地もその多くが耕作地として占められている。

公園や運動場は、人々のコミュニケーションの場、憩いの場として利用されている。また、子供達の野外学習、環境学習等総合学習の場としても活発に利用され、現地見学会や水質調査、ボランティアによるゴミ拾い等、学校や各団体での洋々な活動が行われている。

高水敷利用で子供たちの体験活動の場を拡大し、また「川に学ぶ」体験を推奨する観点から、河川利用の推進と体験活動の充実を図るために、今後もこのような活動を進め、地域と一体となった空間整備を行う。なお、整備にあたっては周辺の河川環境と調和するように努める。



(平成 26 年度 水辺の国勢調査)

【空間利用状況】

【高水敷の利用形態】

2-11 防災関連施設維持管理

今後30年以内に70～80%の確率で発生が予測されている南海トラフ地震対策として、河川管理施設の耐震補強や地震発生後に来襲する津波への対策などを進めているが、実施した施設についての適正な維持管理も重要である。

出水や地震時における防災関連施設や水防資材の維持及び備蓄、光ファイバーやCCTVなどのIT関連施設の維持管理についても適正に実施する必要がある。

短時間に襲来する津波や、樋門操作人の高齢化（樋門操作盤の複雑化）による樋門の開閉操作の遅れや誤動作を防ぐため、かつ、出水による樋門の開閉操作を確実なものにするために、事務所で情報を一括把握し、樋門の状況を監視するシステムの構築を図る。

なお、関係機関と各種訓練などを合同で実施し、連絡体制及び連携の強化を図る。津波による浸水被害が懸念される河口部においては、「沖ノ洲樋門」、「宮島樋門」、「榎瀬川樋門」、「新町樋門」、「飯尾川第一樋門」、「正法寺樋門」、「新正法寺樋門」、「正法寺排水樋門」、「前川樋門」、「角ノ瀬樋門」、「丸須樋門」、「馬詰樋門」の 12 箇所において遠隔自動操作化（樋門ゲート緊急閉鎖システム）を導入している。また、上記樋門のうち、「榎瀬川樋門」を除き樋門耐震対策を実施済みであり、「榎瀬川樋門」については現在耐震対策を実施中である。

さらに、平成 21 年 4 月末時点による光ファイバーの整備延長は約 160km および CCTV の整備箇所数は遠隔操作設備を除いて 230 箇所となっている。

今後においても河川管理施設に対して、河川巡視及び専門業者による点検や施設の補修及び機器更新等、適正な維持管理を行う。

また、防災関連施設や水防資材の維持及び備蓄を行う。



【遠隔自動操作樋門位置】

2-12 許可工作物

吉野川、旧吉野川、今切川の直轄管理区間では、樋門・樋管等 133 箇所等が存在するが、許可工作物については、洪水時における漏水や構造物の損傷等により堤防が決壊を起こさないように、巡視や出水期前の合同点検を行い、機能確保及び強度維持に向けた管理の徹底として、それぞれの管理者と協議し、維持管理や操作に万全を図る必要がある。このため、施設の管理方法について合理的・効率的に実施することが求められる。

3. 河川の区間区分

吉野川では、河川の背後地の状況等河川管理施設踏まえた区分を行い、河川の特
性に河川の特성에応じて必要とされる維持管理の実施内容を定める。

吉野川、旧吉野川、今切川は、国管理区間全て重要区間（氾濫域に多くの人口・資
産を有し、全川にわたり堤防によって背後地を守るべき区間である）とする。

吉野川河川維持管理計画における対象区間は、下表のとおりとする。

河川名	自	至	区間延長 (km)	備考
吉野川	三好市池田町 西山	河口	77.69	洪水予報河川
旧吉野川	吉野川からの 分派点	河口	24.80	水位周知 河川
今切川	旧吉野川から の分派点	河口	11.65	水位周知 河川
鍋川	松茂町広島	松茂町広島	0.10	
ほたる川	吉野川市山川 町中須賀	吉野川との合 流点	0.20	水位周知 河川
計			114.44	

出張所の管理区間は下表のとおりである。

出張所名	河川名	管理区間	備 考
吉野川鴨島出張所	吉野川	吉野川右岸（吉野川市、 石井町、徳島市）	
吉野川上板出張所		吉野川左岸（阿波市、上 板町、藍住町、徳島市）	
吉野川貞光出張所		吉野川右岸（三好市、東 みよし町、つるぎ町、美 馬市）	
吉野川美馬出張所		吉野川左岸（上板町、東 みよし町、つるぎ町、美 馬市）	
旧吉野川出張所	旧吉野川、今切川	旧吉野川、今切川、鍋川	

4. 河川維持管理目標

吉野川・旧吉野川・今切川における河川特性を十分に踏まえ、概ね5年間を対象に河川
管理上の重点箇所や実施内容など、具体的な維持管理の計画を徳島河川国道事務所管内に
おいて作成するとともに、それに基づく調査・点検を実施し、その点検結果を評価し、必
要な維持修繕を実施及び分析評価を行い、その上で次年度のスケジュールを見直すサイク
ル型維持管理を実現する。

なお、巡視・点検結果及び実施した対応策については、河川維持管理データベースシス
テム（RiMaDIS）を用いて、河川カルテへのデータベース化による一元管理を図る。

吉野川・旧吉野川・今切川の管理延長及び維持管理施設が膨大で、老朽化が進んでいる

ことから所定の機能を維持しつつ、省力化やコスト縮減を目指して行く。

4-1 河道流下断面

(1) 河道流下断面

1) 吉野川

吉野川における治水対策の目標は、河川整備基本方針では、基準地点岩津において、基本高水のピーク流量 $24,000\text{m}^3/\text{s}$ とし、このうち既設ダム及び流域内の洪水調節施設3により $6,000\text{m}^3/\text{s}$ を調整して、河道の配分流量を $18,000\text{m}^3/\text{s}$ と定められている。

今後、概ね20年間に実施する河川整備の内容を定める河川整備計画では、戦後最大流量を記録し、甚大な浸水被害を発生させた平成16年10月の台風23号と同規模の洪水に対し、岩津地点で $19,400\text{m}^3/\text{s}$ とし、このうち既設ダムにより $2,800\text{m}^3/\text{s}$ を調節して、河道への配分流量を $16,600\text{m}^3/\text{s}$ となっている。

河川維持管理計画における目標流量は現況の流下能力とし、適切に把握することが必要である。

2) 旧吉野川・今切川

旧吉野川・今切川における治水対策の目標は、河川整備基本方針では、基準地点大寺において、基本高水のピーク流量及び河道の配分流量 $1,500\text{m}^3/\text{s}$ と定められている。

今後、概ね20年間に実施する河川整備の内容を定める河川整備計画では、戦後最大規模の昭和50年8月台風6号と同規模の洪水や昭和36年9月第二室戸台風と同規模の高潮として、大寺地点で $1,100\text{m}^3/\text{s}$ 、このうち既設ダムにより $100\text{m}^3/\text{s}$ を調節して、河道への配分流量を $1,000\text{m}^3/\text{s}$ となっている。

河川維持管理計画における目標流量は現況の流下能力とし、適切に把握することが必要である。

① 堤防の高さ・形状の確保

・維持管理目標の設定の観点

改修事業完了後の堤防高・形状、および、既存堤防高・形状の機能を維持することにより洪水が流下する断面を確保する。

・維持管理目標の設定水準

重要水防箇所の堤防高及び堤防断面不足に設定されている区間について、河川改修事業と連携を図り、嵩上げ等を実施し、部分的な堤防高さ及び断面不足を解消する。

また、平常時、出水時及び出水後、地震後の巡視における目視点検において損傷や変状が発見された場合には、補修又は応急復旧による対策を実施する。

② 河道内流下阻害対策

②-1 維持掘削

・維持管理目標の設定の観点

- ・現状及び改修事業完了後の流下能力を確保するよう維持する。
- ・支川閉塞及び減水区間が発生しないように維持する。

・維持管理目標の設定水準

- ・縦横断測量等の結果を用いてにおいて流下能力の評価等を行い、土砂堆積によるせき上げ等により現状の流下能力を上回る等、洪水の流下に支障が生じるおそれのある場

合は対策を実施し、流下能力を確保する。

- ・穴吹川や貞光川など、支川合流部の土砂の堆積により、閉塞及び減水区間が発生し、河川環境（魚の遡上）等に支障が生じるおそれのある場合に対策を実施。
- ・樋門付近に土砂の堆積があり、洪水流下の支障が生じるおそれのある箇所について適切に除去を実施。

②-2 樹木の伐採

・維持管理目標の設定の観点

- ・現状の流下能力及び樹木伐採により改善される流下能力を確保するよう維持する。
- ・護岸などの河川管理施設に支障が生じないように維持する。

・維持管理目標の設定水準

- ・経年的に河床の状況や樹木繁茂の状況は変化することから、定期縦横断測量を実施した際には、適宜流下能力の評価を行い、現況流下能力に対して流下阻害が生じるおそれのある場合は、必要な対策を講じて所定の流下能力を確保する。
- ・樹木管理計画については水衝作用増大防止を優先的に実施する。
- ・河川整備計画に基づき樹木伐採を実施する箇所は、河川改修事業との連携を図りながら維持管理を行う。
- ・護岸などの河川管理施設や水文観測所周辺に樹木が繁茂し、施設及び観測の支障となる場合は必要に応じ対策を実施する。
- ・河川管理施設への影響が懸念される護岸部などに繁茂している樹木の伐採や河床深掘れの要因となる砂州の陸域化による水際急勾配の解消として樹木伐採を実施する。
- ・支川合流点付近の樹木の繁茂による支川閉塞や堤内側の内水助長、河道内の樹木の固定化による河岸の局所洗掘の発生などが解消されるよう伐採を実施する。

③ 洪水時に漂着する障害物の除去

・維持管理目標の設定の観点

河道流下断面の確保、樋門・排水機場等の機能を維持する。

・維持管理目標の設定水準

- ・低水路、及び堤防・樋門・排水機場等河川管理施設においては、河道流下断面の確保、河川管理施設の機能維持の面を優先し障害物除去を行う。
- ・許可工作物・占用地において、流水阻害等河川管理上支障のある障害物については、施設管理者及び占有者に撤去を指示する。
- ・水質を悪化させる恐れがある箇所や河川利用者の安全性を確保することが困難な箇所については、緊急性の高いものから必要に応じ障害物除去を行う。
- ・放置すると火災の原因となる箇所については、必要に応じ撤去を実施する。

4-2 施設の機能維持

(1) 河道（局所洗掘・堆積対策）

① 河床の変動対策

・維持管理目標の設定の観点

- ・護岸等施設の基礎を保持する。
- ・樋門前面の流下断面を確保する。

・維持管理目標の設定水準

護岸前面等、施設の基礎周辺の河床高の変化を把握し、低下傾向にある場合には、特に注意してモニタリングを継続し、洗掘の状態から、施設に明らかに重大な支障をもたらすと判断した場合には、必要な対策を実施する。

また、樋門前面の堆積状況を確認し、流下阻害となると判断した場合は、対策を実施する。

(2) 堤防

① 堤防の補修

・維持管理目標の設定の観点

堤防の侵食、浸透及び地震に対する強度を維持する。

・維持管理目標の設定水準

平常時、出水時、及び出水後、地震後の巡視における目視点検において損傷や変状が発見された場合には補修又は応急復旧による対策を実施する。

また、補修等の実施においては、必要に応じて「河川堤防設計指針」並びに「河川堤防構造検討の手引き」における堤防の安全性照査基準（耐浸透・耐侵食・耐震）を参考とする。

(3) 護岸、根固工、水制工

① 護岸・根固工・水制工の補修

・維持管理目標の設定の観点

- ・堤防の保護機能を維持する。
- ・洪水流に対する耐侵食・洗掘等所要機能を維持する。

・維持管理目標の設定水準

維持すべき護岸・根固め・水制の所要の機能が低下するおそれがある目地の開き、吸い出しが疑われる沈下等の変状が見られた場合は、現状把握を行うとともに、必要に応じてモニタリングを継続し、変状の状態から原因を明らかにする。維持すべき機能に重大な支障が生じると判断した場合には、必要な対策を実施する。

(4) 堰、水門、樋門、排水機場

① 土木構造施設の補修

・維持管理目標の設定の観点

洪水、高潮、地震、津波に対して、堰、水門、樋門、排水機場等の施設は、所定の機能及び強度確保を図る。

水門、樋門、排水機場等の施設は、施設毎の操作規則等に基づき適切に操作を行うものとする。

・維持管理目標の設定水準

施設の機能及び操作に支障を及ぼさないよう平常時、出水時、及び出水後、地震後の巡視並びに樋門操作員等による目視点検等を適時実施する。損傷や変状及び異常が発見された場合には、強度及び機能確保の観点から評価を行い、必要な調査及び補修を実施する。

第十堰においては、継続的に現地調査を実施し、必要に応じて維持補修を行う。

② 機械等施設・設備の補修

・維持管理目標の設定の観点

施設の所要の機能を確保する。

なお、樋門・排水機場等の施設と一体となる機械設備については、専門技術者による「河川用ゲート設備点検・整備・更新マニュアル(案)平成 27 年 3 月」及び「河川ポンプ設備点検・整備・更新マニュアル(案)平成 27 年 3 月」の実施方針及び関連の技術基準等に基づいた定期的な「点検」を行う。

・維持管理目標の設定水準

異常音、腐食等、各々の施設が維持すべき機能が低下するおそれがある変状がみられた場合には、モニタリングを継続し、変状の状態から施設の機能の維持に重大な支障が生じると判断した場合には必要な対策を実施するよう目標を設定する。

装置・機器・部品等に損傷や変形などの不具合、異常又は故障が発見された場合には、「事後保全」のための対策を実施する。

③ 魚道の機能維持

・維持管理目標の設定の観点

堰等の横断構造物において魚類の遡上できる状態を保全する。

・維持管理目標の設定水準

通常の流況で遡上可能な状態とするため、低水流量以上の場合に機能を確保する。

(5) 水文水理観測施設

① 水文水理観測施設の補修

・維持管理目標の設定の観点

観測対象の事象（降雨、河川水位、河川水質、地震動）が確実に捉えられる位置、状態に無い場合や目視確認できる変状及び正常に作動していない場合は対策を実施する。

・維持管理目標の設定水準

水文観測業務規定に基づく各種の観測が適切に行われるよう観測所、観測機械、観測施設の維持管理を実施する。このため、平常時及び出水後、地震後の巡視並びに専門技術者による月 1 回以上の定期点検及び年 1 回以上の総合点検において損傷や変状及び異常が発見された場合には補修による対策を実施する。

また、水位観測所、水位流量観測所、及び水質観測所の上下流において河床変動や滯筋変化、樹木繁茂等により観測に影響を及ぼす場合は、観測が適切に行われるよう滯筋側への移設又は維持掘削や河床整正、樹木伐採等を実施する。

(6) 防災関連施設の維持管理

① 水防資材の確保

・維持管理目標の設定の観点

水防資材についても応急復旧時に使用できるよう必要に応じ備蓄する。また、内水被害発生箇所については、排水ポンプ車による排水が実施できるよう施設を維持する。

・維持管理目標の設定水準

洪水や地震等による破堤等の災害や地盤沈下に対し、その規模等を考慮し、必要十分な量の確保を維持管理目標とする。なお、資材の確保については、河川改修事業等との連携を図るとともに、資材の腐朽・老朽等も考慮して適切に維持・更新を行う。

② 防災関連施設の維持補修

- ・ **維持管理目標の設定の観点**

整備を行った遠隔自動操作設備や光ファイバー、CCTVなどの防災関連施設についても風水害や地震時に確実に使用できるよう点検・維持管理を実施する。

- ・ **維持管理目標の設定水準**

各施設の点検などの基準を準用し、適正かつ確実に操作情報が入手できるよう対策を実施。

4-3 河川区域等の適正な利用

(1) 河川敷地の不法占用や不法行為等への対応に関する目標

① 不法行為等の是正・防止

- ・ **維持管理目標の設定の観点**

不法行為が行われないように管理する。また、不法行為により河川利用及び水防活動時に支障となり、洪水の安全な流下に際して阻害となる状態を解消する。

- ・ **維持管理目標の設定水準**

河川敷地の不法占用や不法行為については、河川の治水、利水、環境の機能に支障を及ぼすことのないよう、また河川利用者が安全に河川の利用が図れるよう維持管理を実施する。このためには、平常時の河川巡視及び設置している監視カメラにより、河川内の不法行為の状況把握を行うとともに、不法行為を発見した場合、原因者への指導・是正措置等に努めるものとする。なお、砂利採取に関する不法行為については、砂利採取法及び砂利採取規制計画に基づき指導を実施する。

4-4 河川環境の整備と保全

(1) 河川整備計画に基づく、河川環境の整備と保全に関する目標

河川整備計画に基づき、自然環境の保全に配慮しつつ、開放的な広々とした空間での水辺・高水敷レクリエーション利用を図るとともに、背後地と調和のとれた水辺景観となるよう管理する。

① 河川利用施設の補修

- ・ **維持管理目標の設定の観点**

河川利用者が安全に利用できる強度、状態を維持する。

- ・ **維持管理目標の設定水準**

河川の巡視による発見が基本であるため、目視確認により変状が発見され、安全に利用できない程度まで変状が進行した場合は、河川利用施設の機能が維持できるよう対策を実施する。

② 維持管理工事における配慮

- ・ **維持管理目標の設定の観点**

魚類、鳥類等の生物の生息・生育環境の保全に配慮する。

- ・ **維持管理目標の設定水準**

必要に応じ学識者の助言等により保全対策を実施する。

③ 河道内生物の生息・生育環境の保全

- ・ **維持管理目標の設定の観点**

生物の生息・生育に対する河道環境を保全する。

- ・維持管理目標の設定水準

平常時及び出水後の巡視における目視点検及び別途実施する環境調査において、河道内環境の状況の把握に努めるとともに、必要に応じて河道内生物の生息・生育環境の保全に向け学識者の助言を受け対策を講じるよう努めるものとする。

④ 水質の保全

- ・維持管理目標の設定の観点

流水の正常な機能の維持を図るため、吉野川、旧吉野川、今切川の水質の保全に努める。

- ・維持管理目標の設定水準

平常時及び出水後の巡視における目視点検及び定期的（月 1 回）に実施する水質調査の実施により、水質の状況の把握に努めるとともに、必要に応じて水質を悪化させた原因者に適切な指導、助言を行うよう努めるものとする。

渇水調整又は取水制限が行われる期間において、河川巡視又は委託による水質の観測を実施するものとする。

⑤ 河川美化の推進

- ・維持管理目標の設定の観点

不法行為等の是正・防止とあわせ、河川美化の推進に努める。

- ・維持管理目標の設定水準

河川環境の悪化防止と保全に向け、地域住民や関係機関との連携・協働を図るものとする。

5. 河川の状態把握

5-1 基礎データの収集

(1) 水文・水理等観測

① 雨量観測

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水による災害発生防止等、計画作成のための基礎資料とする。
 - ・洪水時の水防活動に資する情報提供、河川管理施設の防御のための雨量を把握する。
 - ・渇水調整の適正な実施のための雨量を把握する。
 - ・利水の安全度確保のための流量確保にかかる基礎資料とする。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・吉野川流域の特性に応じて、雨量計を配置し、24 時間 365 日観測を実施する。
 - ・機器の修繕及び更新については点検後、必要に応じ実施する。

※参考 別紙－2 雨量観測一覧表

・実施に当たっての留意点

雨量観測の精度を確保するため、定期的な観測機器の点検を実施するとともに、観測に支障となる機器周辺の障害物を除去するなど、適切な維持管理を行うものとする。

なお、観測データは、防災関係機関並びに一般住民へ情報提供を行う重要なデータであり、機器の故障及び施設の損傷に対して万全を期する必要があるため、水文観測業務規定に基づく総合点検を年 1 回程度実施する。

② 水位観測

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水による災害発生の防止等、計画作成のための基礎資料。
 - ・洪水時の水防活動に資する情報提供、河川管理施設の防御のための水位把握。
 - ・渇水調整の適正な実施のための流量把握。
 - ・利水の安全度確保のための流量確保にかかる基礎資料。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・基準観測所及び補助観測所により、計画高水流量の変化点や、主要な合流・分流点ごとに水位計を配置し、24 時間 365 日観測を実施。
 - ・機器の修繕及び更新については点検後、必要に応じ実施。

※参考 別紙－3 水位観測一覧表

・実施に当たっての留意点

水位観測の精度を確保するため、定期的な観測機器の点検を実施するとともに、観測に支障となる機器周辺の障害物を除去するなど、適切な維持管理を行うものとする。

なお、観測データは、防災関係機関並びに一般住民へ情報提供を行う重要なデータであり、機器の故障及び施設の損傷に対して万全を期する必要があるため、水文観測業務規定に基づく総合点検を年 1 回程度実施する。

③ 高水流量観測

・実施の基本的な考え方

- ・洪水による災害の発生の防止等、計画作成のための基礎資料とする。

・実施の場所、回数、密度

- ・吉野川、旧吉野川、今切川の各観測所において、出水毎に必要な応じて高水流量観測を実施。
- ・大規模出水時など必要な応じて航空写真撮影や現地調査を実施。

※参考 別紙－4 流量観測一覧表

・実施に当たっての留意点

- ・水防待機水位を超えさらに上昇が予想される場合、水位状況の把握及び観測業者との連絡体制を確立する。
- ・橋梁等、横断構造物の設置などの事業が実施された後は流向、流速、水あたりの状況が日常と異なる可能性があるため必要な応じて調査を実施する。

④ 低水流量観測

・実施の基本的な考え方

- ・渇水調整の適正な実施のための流量把握。
- ・利水の安全度確保のための流量確保にかかる基礎資料。
- ・河川環境の整備と保全のための生物の生息環境の維持、流水の正常な機能の維持、河川景観の保全を図るための流量把握。

・実施の場所、回数、密度

- ・吉野川、旧吉野川の各観測所において、通年で 24 回/年以上低水流観を実施し必要な応じ追加観測を実施する。
- ・今切川には対象観測所がないため実施しない。

※参考 別紙－4 流量観測一覧表

・実施に当たっての留意点

- ・水位状況の把握及び観測業者との連絡体制を確立する。

⑤ 水質観測

・実施の基本的な考え方

- ・利水の安全性確保に資する水質改善のための基礎資料収集、水質事故対策のための水質把握。
- ・河川環境の整備と保全のための生物の生息環境の維持、流水の正常な機能の維持を図るための基礎資料。

・実施の場所、回数、密度

- ・河川の水質状況に応じて、別紙観測所において通年実施する。

※参考 別紙－6 水質観測所一覧表

・実施に当たっての留意点

- ・河川水質調査要領に基づき実施する。

⑥ 震度観測

・実施の基本的な考え方

河川管理施設の適正な管理のため、観測を実施する。

・実施の場所、回数、密度

徳島河川国道事務所内において、通年観測を実施する。

・実施に当たっての留意点

震度観測の精度を確保するため、定期的な観測機器の点検を実施するとともに、観測に支障となる機器周辺の障害物を除去するなど、適切な維持管理を行うものとする。

⑦ 地下水位観測

・実施の基本的な考え方

出水時の地下水位上昇が堤体に与える影響を把握するため、観測を実施する。

・実施の場所、回数、密度

吉野川・旧吉野川・今切川管内において、下記の地点で観測を実施する。

※参考 別紙－5 地下水位観測一覧表

・実施に当たっての留意点

地下水位計の精度を確保するため、定期的な観測機器の保守・点検を実施するとともに、観測に支障となる機器周辺の障害物を除去するなど、適切な維持管理を行うものとする。

(2) 測量

① 縦横断測量

・実施の基本的な考え方

- ・洪水による災害の発生の防止のための河道断面、堤防の形状把握のための基礎資料。
- ・洪水後に流下断面の変化、深掘れ・堆積の状況を把握して次の洪水に備えるための河道断面、堤防の形状把握のための基礎資料。
- ・利水の安全度確保のための流量確保にかかる基礎資料。
- ・砂利採取や占用等、河川の適切な許認可を実施するための基礎資料。
- ・河川環境の整備と保全による生物の生息環境の維持、流水の正常な機能維持及び河川景観の保全を図るための河道の状態

・実施の場所、回数、密度

- ・直轄管理区間内の 200m 間隔に設置した各距離標及び橋梁、堰等の河川横断施設地点において実施。
- ・吉野川、旧吉野川、今切川とも 5 年に 1 回程度 200m 間隔で実施し、河道断面等の把握を実施する。また、はん濫注意水位以上の出水で河床の変動等があると思われる場合は必要に応じ追加実施。

・実施に当たっての留意点

- ・縦横断測量は河川の計画に重要な役目を持ち、工事等の基準にもなることから、適切に実施する必要がある。

② 平面測量

・実施の基本的な考え方

- ・洪水による災害の発生の防止のための河川の形状把握のための基礎資料。
- ・地物の経年変化の把握、砂州や滞筋の形状把握のための基礎資料。
- ・砂利採取や占用等、河川の適切な許認可を実施するための基礎資料。
- ・河川環境の整備と保全による生物の生息環境の維持、流水の正常な機能維持及び河川景観の保全を図るための河道の状態把握。

・実施の場所、回数、密度

- ・全体の航空測量を5年に1回程度実施し、氾濫注意水位以上の出水で河岸の侵食等がある場合には必要に応じて部分修正（平板測量等）を実施する。

・実施に当たっての留意点

- ・河道や堤防などの平面形状把握に必要な尺度および精度に応じた写真撮影間隔で実施するが、河道の平面形状に変化が想定される場合は密に実施。

③ 航空写真・斜め写真撮影

・実施の基本的な考え方

- ・河川特性を総合的に捉えるために河道全体とその周辺を立体的に把握。
- ・洪水後に流下断面の変化、深掘れ・堆積の状況を把握して次の洪水に備えるための河道、堤防の状態把握。
- ・利水の安全度確保のための流量確保にかかる基礎資料。
- ・河川環境の整備と保全のための生物の生息環境の維持、流水の正常な機能の維持、河川景観の保全を図るための河道の状態把握。
- ・地物の経年変化の把握、砂州や滞筋の形状把握のための基礎資料。
- ・洪水後の河道の状況を把握するための基礎資料。
- ・河川環境の整備と保全のための生物の生息環境の維持、流水の正常な機能の維持、河川景観の保全を図るための河道の状態把握。

・実施の場所、回数、密度

- ・5年に1回程度実施し、大規模出水中及び出水後など必要に応じて実施。

・実施に当たっての留意点

- ・堰、橋梁等の構造物がある場合は撮影方向および判読に留意する。
- ・砂州の発生が想定される箇所、橋梁等、横断構造物の設置などの事業が実施された箇所については必要に応じて実施。

④ 洪水痕跡調査、浸水調査、漏水調査

・実施の基本的な考え方

- ・洪水による災害の発生の防止のための河道計画作成のための基礎資料収集。

・実施の場所、回数、密度

- ・氾濫注意水位超過または高水敷冠水の出水後に実施する。
- ・外水及び内水氾濫による浸水被害が発生した出水後に必要に応じて実施する。

・実施に当たっての留意点

- 精度確保のために以下の点に留意する。
- ・ピーク水位発生後なるべく早く測定する。

- ・痕跡の判定はなるべく泥の付着によるものとする。
- ・ゴミで判定する場合、測定点周辺の付着状況を予め観察し、他の場所に比べて低いところに付着した場合は測定対象からはずす。
- ・水位計による最高水位と比較し、痕跡水位の精度のチェックを行う。
- ・縦断方向にも密に確認しながら左右岸で痕跡を採取する（痕跡の間隔としては、直線部河道で 50～100m に 1 個は確実な資料が取れることが望ましい）。

(3) 河道の基礎データ

① 河床材料調査

- ・実施の基本的な考え方
 - ・流送土砂量算定に必要な基礎資料収集とする。
 - ・河床の変動状況や流下能力等の把握、河道計画、河川工事等に必要な粒度分布等の基礎資料収集とする。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・縦横断測量とあわせ、5 年に 1 回程度、直轄管理区間内において 1 km 毎に実施。1 断面につき 3 点程度実施。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・河床材料の粒度分布等は、河床の変動状況や流下能力等を把握するための基本となるため適切に実施する必要がある。

② 異常洗掘調査

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための河道の状態把握。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・河道管理基本シートなどで抽出した河川管理施設等が不安定となっている箇所等について実施。
 - ・吉野川、旧吉野川、今切川とも目的別巡視として、目視レベル（状況写真等）で 5 月、10 月の年 2 回点検を実施する。
 - ・氾濫注意水位超過の出水後においても、目視巡視、臨時巡視を行い、必要に応じて詳細調査を実施する。
- ・実施に当たっての留意点
 - 車両から確認が出来ない箇所については、徒歩若しくは船により巡視を行う。
 - 異常洗掘は下記のような区間で発生しやすいと想定されるため重点的に巡視する。

- ・水衝部、分合流部、狭窄部
- ・河床勾配変化点
- ・横断構造物周辺

③ 土砂堆積調査

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための河道の状態把握。
 - ・砂利採取に関する適切な許認可を実施するための基礎資料。
- ・実施の場所、回数、密度

- ・河道管理基本シートなどで抽出した河積の有意な減少箇所等について実施する。
- ・吉野川、旧吉野川、今切川とも目的別巡視として、流下能力及び構造物周辺の悪化が懸念される箇所について5月、11月の年2回、定点からの写真撮影を行い、過去の観察記録と照合することにより変化を把握する。
- ・氾濫注意水位超過の出水後においても、目視巡視、臨時巡視を行い、必要に応じて詳細調査を実施する。
- ・砂利採取については、砂利採取規制計画の見直しを5年に1回実施する。
- ・実施に当たっての留意点
 - 土砂堆積は下記のような区間で発生しやすいと想定されるため重点的に巡視する。

- ・分合流部
- ・河床勾配変化点
- ・横断構造物周辺

④ 河道内樹木調査

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水による災害の発生の防止のための河道の状態把握。
 - ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための河道の状態把握。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・河道管理基本シートなどで抽出した偏流の発生や洪水流下の阻害箇所等について実施する。
 - ・吉野川、旧吉野川、今切川とも概略調査については、目的別巡視として月1回程度、樹木群の概ねの繁茂状況(位置、範囲、密集度、樹種、樹高など)を目視で把握するとともに、定点からの写真撮影により状況確認を実施する。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・植物相の成熟度によっては実施密度を変更。
 - ・ヤナギ類や竹林については、「吉野川河道内樹木管理手法検討委員会」の樹木管理内容に留意する。
ヤナギ類が有する水制機能、生態機能など保全・促進に配慮しつつ、外来植物種の侵入を助長し、かつ、吉野川本来の河川環境であるレキ河原やエコトーンを減少させる「砂州の樹木化」排除・改善に留意する。
竹林が有する水制機能、自然景観の構成機能及び地域との関わりなど保全・促進に配慮しつつ、治水安全度の低下や自然環境の悪化を引き起こす「放置竹林」の排除・改善に留意する。

⑤ 中州・砂州の発生箇所、移動状況の継続調査

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水による災害の発生の防止のための河道の状態把握。
 - ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための河道の状態把握。
 - ・利水の安全度確保のための流量確保にかかる基礎資料。
 - ・河川環境の整備と保全のための生物の生息環境の維持、流水の正常な機能の維持、河川景観の保全を図るための河道の状態把握。
- ・実施の場所、回数、密度

- ・航空写真撮影及び定期縦横断測量にあわせて状況を把握する。また、河川巡視により目的別巡視として月1回程度状況確認を実施。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・橋梁等の横断構造物の設置などの事業が実施された後は砂州の発生や移動の可能性があるため必要に応じ調査を実施。

⑥ 堤防断面調査

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水による災害の発生の防止のための堤防の状態把握。
 - ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための堤防の状態把握。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・工事による堤防開削時に実施。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・許可工作物における開削工事時も調査を実施できるよう、許可者と調整を行う。

(4) 河川環境の基礎データ

① 河川水辺の国勢調査

- ・実施の基本的な考え方
 - ・吉野川・旧吉野川・今切川の環境把握のため調査を実施する。
- ・実施の場所、回数、密度

吉野川・旧吉野川・今切川の直轄管理区間において、下記のスケジュールで河川水辺の国勢調査を実施する。

河川水辺の国勢調査スケジュール

	調査実施年度					
	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
底生動物					○	
魚類				○		
植物						○
陸上昆虫						
鳥類	○					
両生類・爬虫類・哺乳類		○				
河川環境基図			○			
利用状況調査		○				

- ・実施に当たっての留意点
 - ・魚類調査にあわせて、アユの産卵場調査を実施する。
 - ・外来種についての情報を流域住民へ周知する。
 - ・有識者などの関係者の意見を聞き実施する。

② 河川環境情報図の作成

- ・実施の基本的な考え方
 - ・生物の生育・生息環境要素としての河道状況の把握。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・河川水辺の国勢調査（河川環境基図作成）結果を基に情報を更新。

- ・実施に当たっての留意点
 - ・有識者との協働により、効果的、効率的に実施する。

③ 河川管理基図の作成

- ・実施の基本的な考え方
 - ・適切な許認可の実施のための河川の施設、敷地の位置、形状の把握。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・河川整備計画見直し時、また、工事の実施、河道形状の変化に応じ適宜更新を行う。
 - ・河川区域の変更等が告示された際には更新する。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・作成データの保存方法については電子化で実施。

5-2 堤防点検等のための環境整備

① 堤防点検、あるいは河川の状態把握のための環境整備

- ・実施の基本的な考え方
 - ・洪水による災害の発生の防止のための堤防の状態把握、洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための堤防の状態把握を目的とした堤防点検の条件整備。
 - ・河川利用に当たっての安全を確保するとともに、防犯上の観点からも犯罪の誘発を抑制。
 - ・外来植物の除去を適切に実施。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・堤防の除草は原則として、台風期前及び出水期後(出水期前含む)の点検に支障のない時期に年2回実施する。また高水敷等に植生が繁茂し、あるいは樹木が密生する等により河川巡視や水文・水理等観測等に支障を生じる場合には、必要に応じて除草、伐開を実施する。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・除草は原則として経済性に優れた機械除草方式とし、除草剤は使用しない。
 - ・除草の対象範囲内に貴重動植物が生息・生育する場合には有識者の意見を聞きつつ対応を検討。
 - ・特定外来生物については、外来生物法に基づき適切に処分する。なお、オオキンケイギクについては必要に応じて焼却処分等河川外への拡大を抑止する対策を実施する。

※参考 別紙－17 堤防点検と除草の関係スケジュール

5-3 河川巡視

平常時に河川管理の一環として定期的・計画的に河川を巡回し、その異常及び変化等を発見し、概括的に把握するために必要な事項を定めることにより、適正かつ円滑な河川巡視の実施を図り、適正な河川管理を行う。

巡視は、平常時河川巡視規程及び出水時河川巡視規程に基づき実施するものとし、得られた情報については、RiMaDIS を用いて記録・保存し、データペース化することで、今後の維持管理への活用を図る。

(1) 平常時の河川巡視

平常時においては、別紙-1 の内容で概括的に河川の状態把握を行う。

平常時の河川巡視は、車からの一般巡視を基本とする。

一般巡視では十分な状況把握が困難な場合には、巡視項目、目的、場所等を絞り込んだ目的別巡視を実施する。

CCTV 等 IT 機器を用いる等により、効果的・効率的な河川の状態把握にも努める。

必要に応じて、船舶による巡視や夜間パトロールを実施する。

(2) 出水時、地震時の河川巡視

出水時、地震時においては、堤防、洪水流、河道内樹木、河川管理施設及び許可工作物、堤内地の浸水等について、概括的に迅速に把握するため、別紙-8 の班編制に基づく特別巡視を実施する。

① 出水時

出水時、氾濫注意水位（警戒水位）を上回る規模の洪水及び顕著な高潮の発生時に実施する。

② 地震時

地震時、吉野川の管轄内震度4を発表した場合は、直ちに河川管理施設等の点検を行う必要がないと判断した場合は当日または翌日（翌日が閉庁日の場合は次の開庁日。ただし、地震発生後3日以内）に、平常時の巡視により異常、変状等の把握を行い、重大な被害が確認された場合には二次点検を実施する。

吉野川の管轄内震度5弱以上を発表した場合は、警戒体制または非常体制に入るとともに、別紙-9の班編制に基づく特別巡視による巡視（一次点検）を実施する。巡視（一次点検）は、迅速に被害状況を把握するため、車上から目視点検を基本とし、その後詳細な被害状況を把握する二次点検を実施する。

地震時津波警報が発令された場合で、津波の影響を受ける「津波災害警戒区域内」においては、巡視員の安全を最優先に確保の観点で待機するものとし、津波警報が解除され、巡視が安全に行える状態で巡視を行う。

※参考 別紙－1 河川巡視詳細一覧表

※参考 別紙－8 出水時等点検班編成表

※参考 別紙－9 地震時等点検班編成表

5-4 点検

点検は、「堤防等河川管理施設及び河道の点検要領（平成 28 年 3 月）」に基づき、河道及び河川管理施設の点検を実施する。

点検は、河川が有するべき①河道が所要の流下能力を確保、②堤防等の河川管理施設が所要の治水機能を確保といった治水上の機能を確保する目的のために実施する。

点検は、台風期前及び出水期後（出水期前含む）に、徒歩を中心とした目視あるいは計器機器等の使用、写真撮影による記録を基本として2名以上（職員1名以上＋民間の河川維持管理経験者等）で実施するよう努める。

点検により把握された変状や異常については、RiMaDIS を用いて記録・保存し、データペース化することで、今後の維持管理への活用を図る。

(1) 出水期前、台風期、出水後等の点検

① 堤防の点検

・実施の基本的な考え方

- ・洪水等による災害の発生の防止のための堤防の状態把握。
- ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための堤防の状態把握。

・実施の場所、回数、密度

- ・堤防点検については、台風期前及び出水期後(出水期前含む)の年2回実施する。
- ・出水があった場合には出水後にも行う。この場合、台風期の点検と兼ねる。
- ・出水後点検は、氾濫注意水位を超えた出水とし、徒歩により重点区間(過去に漏水実績等があった箇所)について実施する。
- ・出水等により大規模被災した場合は、災害復旧協定会社等により応急復旧を実施する。

・実施に当たっての留意点

- ・重要水防箇所については、重点的に実施。
- ・大規模な出水等が発生した場合、特殊堤については必要に応じてレーザー探査等の機器を用い、吸い出し等により空洞化が発生していないか調査を実施するものとする。

※参考 別紙－8 出水時等点検班編成表

② 漏水調査

・実施の基本的な考え方

- ・洪水による災害の発生の防止のための堤防の状態を把握する。
- ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための堤防の状態を把握する。
- ・堤防の機能が維持されているかを点検するために実施する。
- ・堤防漏水対策箇所については、間隙水圧等の計器を使用し、モニタリング調査を実施する。
- ・出水時発生した実績箇所及び重要水防箇所を重点的に実施する。

・実施の場所、回数、密度

- ・過去の漏水実績を把握し、新たな漏水情報があつた場合に常時追加するとともに、出水時には堤防及びその周辺の漏水状況を把握する。
- ・モニタリング調査は右岸 19k/3、左岸 21k/6、右岸 26k/0 の3箇所で実施し、項目は「洪水時の河川水位及び降水量観測」、「堤体内水位3箇所、地下水位(堤内側)1箇所」、「強化工法の効果が適切に評価できる箇所で観測」を実施する

※参考 別紙－7 漏水調査重点箇所一覧表

・実施に当たっての留意点

- ・地域住民等からの聞き取りや情報を有効利用。
- ・蓄積したデータは、国土技術政策総合研究所で解析等を実施し、照査時に作成する堤体モデル・透水係数などの照査手法向上・対策工の高度化に役立てる。
- ・漏水調査及び検討にあたっては、必要に応じ有識者等と連携して実施する。

③ 護岸・根固等(高水護岸・低水護岸・根固め・護床工等)の点検

・実施の基本的な考え方

- ・洪水及び地震等による災害の発生の防止のための護岸等の状態把握。

- ・洪水後に変状を把握して次の洪水に備えるための護岸等の状態把握。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・点検は、堤防と同様、台風期前及び出水期後(出水期前含む)の年2回実施する。
 - ・出水期前、氾濫注意水位超過の出水後においては徒歩で詳細点検に実施する。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・出水後点検は氾濫注意水位以上の出水で行う。

④ 堰、水門、樋門、排水機場の点検

- ・実施の基本的な考え方
 - ・堰については、付近の河岸及び河川管理施設に支障を及ぼさず、かつ堰の機能を維持すべく点検を実施する。
 - ・水門、樋門、排水機場等の河川管理施設は、安全かつ確実に所要の機能が発揮できるよう点検を実施する。とりわけ、樋門・水門は、堤防としての機能、逆流防止機能、排水及び洪水の流下機能が保全されるよう点検を行う。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・直轄管理区間の吉野川で堰2基、排水機場17設備、樋門97設備、陸閘1設備、旧吉野川、今切川で水門1設備、樋門4設備、陸閘9設備について、点検を実施する。なお、点検方法は「目視」による方法を中心に行い、臨時点検において何らかの異常、不具合が確認された場合は、専門技術者による保全・整備を実施する。必要に応じて遠隔監視操作制御装置にて設備状態確認、カメラによる周辺確認、遠隔操作による開・閉操作による動作確認を実施する。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・樋門・水門においては、門柱や函渠と盛土との境界面に沿って水みちが形成され、漏水等の発生のおそれがあるため、点検時に留意する。なお、樋門・水門については5年に一回の頻度でクラック調査を行うことを基本とし、クラックの状況・地盤の状況等を勘案し、空洞化調査(10年に一回程度)も実施する。
 - ・ゲート設備については、定期点検による健全度評価結果により状態の変異、不具合並びに機能低下等が確認された場合は、その変異等に対する評価を実施し、評価結果に基づいて補修、取替並びに更新等の対策を実施する。また、操作・監視、電源装置等の制御機器は信頼性確保から予防保全として整備を実施する。
 - ・第十堰においては、点検とは別に、継続的に以下の現地調査を実施しており、調査結果を公表している。

- ①堰の形状・変状
- ②洪水時における堰下流の河床変化
- ③迂回流の発生状況
- ④堰周辺の水位状況

※参考 別紙－11 堰一覧表

⑤ 河道の点検

- ・実施の基本的な考え方
 - ・河道は、流下能力が確保されているか、構造物の安定性を確保するための所定の河床

高・高水敷幅が確保されているかを把握すること、及び河床高・樹木繁茂などの経年変化の状態監視による流下能力・構造物安定性に支障を来す河道状況に達するのを未然に察知することを目的に、土砂堆積、樹木群の繁茂、河床低下、河岸侵食等を点検の対象とする。

・実施の場所、回数、密度

- ・点検は、出水期前の年1回とする。
- ・大規模な出水があった場合には、出水後にも実施する。

・実施に当たっての留意点

- ・砂州や樹木の繁茂状況については、目視による状態把握とともに、必要に応じてドローンによる撮影により確認を行う。
- ・砂州の固定化や拡大、樹林化等に伴う偏流による堤防の侵食被害が発生していないかについても留意する。
- ・広大な面積を有する河道を効果的・効率的に点検を行うため、河道の変動特性を踏まえて点検を実施する箇所（区間）を設定する。設定にあたっては、河川管理基本シート及び航空写真等を活用する。
- ・具体的には、洪水流による砂州の形成・拡大や樹木群の繁茂による流下能力の不足が生じていないか。樹木群の発達や河道湾曲に伴う、みお筋の固定化等による堤防護岸前面の洗掘による堤防護岸の変状が発生していないかを確認する。

(2) 地震・津波後の点検

地震時には、安全に十分留意しつつ、河川管理施設の状況等を点検する。

吉野川の管轄内震度4を発表した場合は、直ちに河川管理施設等の点検を行う必要がないと判断した場合は当日または翌日、地震発生後3日以内に、平常時の巡視により異常、変状等の把握を行い、重大な被害が確認された場合には二次点検を実施する。

吉野川の管轄内震度5弱以上を発表した場合は、警戒体制または非常体制に入るとともに、別紙-9の班編制に基づく特別巡視による巡視（一次点検）を実施する。巡視（一次点検）は、迅速に被害状況を把握するため、車上から目視点検を基本とし、その後詳細な被害状況を把握する二次点検を実施する。

地震時津波警報が発令された場合で、津波の影響を受ける「津波災害警戒区域内」においては、巡視員の安全を最優先に確保の観点で待機するものとし、津波警報が解除され、巡視が安全に行える状態で巡視が必要と認められる場合に巡視を行う。

状況に応じて、CCTVカメラによる状態把握に努める。

① 堤防の地震・津波後点検

・実施の基本的な考え方

- ・地震及び津波発生後における堤防の異常及び変状等を早期に把握するため、巡視及び点検を実施する。

・実施の場所、回数、密度

- ・吉野川の管轄内震度5弱以上が発表された場合に実施する。

・実施に当たっての留意点

- ・一次点検の報告は速やかに行うこととし、概ね地震発生後2時間以内を目安とする。
- ・地震・津波時には、特別巡視班（吉野川、旧吉野川、今切川で16班）を編成す

る。特に、堤防点検重点箇所及び新堤防については、注意する。

- ・地震後点検に当たっては、津波の発生情報に留意するとともに事前に津波避難箇所の確認を行い連絡機器を保持し実施する。また、点検中に激しい震度を感じたり、津波情報が発令された場合は、先ず避難を行い、その後情報連絡を行うものとする。
- ・津波警報発令後は津波警報解除まで点検を実施しない。

② 地震・津波後の河川管理施設（水門・樋門・樋管・排水機場等）の点検

・実施の基本的な考え方

- ・水門・樋門、排水機場等の河川管理施設が安全かつ確実に所要の機能が発揮できるよう点検を実施する。

・実施の場所、回数、密度

- ・吉野川の管轄内震度 5 弱以上が発表された場合に実施する。
- ・直轄管理区間の吉野川で堰 2 基、排水機場 17 設備、樋門 97 設備、陸閘 1 設備、旧吉野川、今切川で水門 1 設備、樋門 4 設備、陸閘 9 設備について、上記により設備全体への外的要因による異常、損傷の点検を実施する。なお、点検方法は「目視」による方法を中心に行い臨時点検において何らかの異常、不具合が確認された場合は、専門技術者による保全・整備を実施する。また、必要に応じて国土交通省徳島河川国道事務所災害対策室設置の遠隔監視操作制御装置にて設備状態確認、カメラによる周辺確認、遠隔操作による開・閉操作による動作確認を実施する。

・実施に当たっての留意点

- ・地震後点検に当たっては、津波の発生情報に十分留意すると共に事前に津波避難箇所や避難ルート、緊急時連絡体制表等の確認と保持を行い、必ず連絡用携帯機器を保有し実施する。また、点検中に激しい揺れを感じたり、津波情報が発令された場合は、先ず避難を優先し、その後情報連絡・収集に務めるものとする。

なお、機械設備について専門技術者による「点検」を実施する場合は、マニュアル及び関連の技術指針、要領等に基づき実施するものとする。

※参考 別紙－１２ 樋門一覧表、別紙－１３ 排水機場一覧表

(3) 親水施設等の点検

① 河川利用者の安全確保点検（護岸・坂路・散策路・手すり・天端道路等）

・実施の基本的な考え方

- ・日常的に河川に親しむ利用が見られる区間での施設利用者の安全確保のための状態把握。
- ・河川の適切な利用のための水面利用状況の把握。

・実施の場所、回数、密度

- ・ゴールデンウィーク前、春休み前、夏休み前、冬休み前の年 4 回実施。
- ・水面利用が実施されている箇所について堤防等の通常巡視と合わせて実施。

※参考 別紙－１５ 河川による安全利用点検箇所一覧表

・実施に当たっての留意点

- ・点検後、支障がある箇所は必要に応じ補修を実施。

- ・河川愛護モニター等との連携も視野に入れ、効率的かつ効果的に実施。

(4) 機械設備を伴う河川管理施設の点検

・実施の基本的な考え方

- ・機械設備を伴う河川管理施設（水門、樋門、排水機場）の信頼性確保、機能維持のため、コンクリート構造部分、機械設備及び電気通信施設に対応した、定期点検、運転時点検、及び臨時点検を行う。

・実施の場所、回数、密度

- ・樋門等操作員による目視を主眼とした点検（5月～10月：2回/月、11月～4月：1回/月）、河川巡視による目視点検（1回/月）及び機械設備の専門業者による計測・診断に基づいた保守点検（年点検：1回/年、自家発点検：2回/年、目視又は管理運転点検：6回程度/年）を実施する。
- ・直轄管理区間の機械設備として、吉野川で排水機場 17 設備、樋門 97 設備、陸閘 1 設備、旧吉野川、今切川で水門 1 設備、樋門 4 設備、陸閘 9 設備について「定期点検」を実施する。点検の構成は、「年点検」及び「月点検」とし、専門技術者により実施する。
- ・「年点検」の実施は、出水期までの間に年 1 回実施するものとし「目視・触診・聴診・動作確認」等以外に「各種計測機器による測定」を実施し測定結果の判断及び過去の点検・整備記録との対比等による傾向管理を実施する。
- ・「月点検」の実施は「管理運転点検」を主として、出水期は原則月 1 回で年間 4 回、非出水期は年間 2 回を実施する。「管理運転点検」の実施が困難な場合は、「目視(月点検)」に替えるものとし、自家用電気工作物の規定に係る自家発電設備の点検については、「年点検」及び「月点検」に含め、年間 2 回の「点検」を実施する。
- ・また、「定期点検」の実施に併せ事務所災対室設置の「遠隔監視操作制御装置」も伝送状態、カメラ画像・動作、遠隔操作による「開・閉」動作確認を実施する。
- ・各設備については、必要に応じ「臨時点検」を実施する。
- ・各「点検」は対象設備ごとに作成した「点検チェックシート（案）」に基づき確実に実施すると共に点検・計測結果等については、技術的判断を行うものとし、「点検」において何らかの異常、不具合が確認された場合は、専門技術者による「保全・整備」を実施する。

・実施に当たっての留意点

- ・車両から確認が出来ない箇所については、徒歩若しくは船により巡視を行う。なお、機械設備について専門技術者による点検を実施する場合は、関連の技術指針、要領等に基づき実施するものとする。
- ・マニュアル及び関連の技術指針、要領等に基づき実施するものとする。
- ・点検後、支障がある箇所は必要に応じて修理、整備を実施するものとする。

※参考 別紙－１２ 樋門一覧表、別紙－１３ 排水機場一覧表

(5) 許可工作物の点検

・実施の基本的な考え方

許可工作物については、出水期前等の適切な時期に設置者による点検を行うものとする。なお、点検にあたっては「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン(平成

26 年 3 月)を参考に実施する。

・ **実施の場所、回数、密度**

- ・ 吉野川、旧吉野川、今切川とも目的別巡視として月 1 回程度は重点的に実施。
- ・ 樋門、樋管などの工作物（橋梁は除く）については、出水期前（4 月～5 月）に設置者立会のもと、合同で点検を実施する。

・ **実施に当たっての留意点**

- ・ 車両から確認が出来ない箇所については、徒歩により巡視を行う。
- ・ 出水期前点検については、施設管理者とともに現場点検を実施する。
- ・ 施設の損傷などが河川管理上支障となるおそれがある場合は、設置者立会いの下点検を実施し、修繕指導を行う。
- ・ 許可工作物が工事中の場合も、申請書及び許可書に基づき施工しているか点検を実施。
- ・ 施設の許認可事務については、河川法及び河川管理施設等構造令、工作物設置許可基準、河川敷地占用許可準則などに基づき審査を実施。
- ・ 許可の更新にあつては、構造令に適合していない設置者への指導・是正。
- ・ 許可工作物等の地震発生時の点検についても、点検及び連絡体制を明確にしておく。
なお、一次点検では、河川管理者が許可工作物等の点検も行い、点検結果については設置者にも連絡し、設置者においても点検を実施させるよう努める。

※参考 別紙－１０ 主要占用道路一覧表、別紙－１４ 許可工作物一覧表

(6) 水文観測施設、機器の点検

・ **実施の基本的な考え方**

- ・ 洪水による災害の発生の防止のための計画作成、洪水時の水防活動に資する情報提供、河川管理施設の防御、渇水調整の適正な実施、利水の安全度確保や渇水調整、河川環境の整備と保全を目的とした、雨量、水位、流量、地下水位、水質の観測施設の機能維持。

・ **実施の場所、回数、密度**

- ・ 定期点検を月 1 回以上、総合点検を年 1 回以上実施。
- ・ 機器の修繕及び更新については点検後、必要に応じ実施。

※参考 別表－２ 雨量観測一覧表 別表－３ 水位観測一覧表
別表－４ 流量観測一覧表 別表－５ 地下水位観測一覧表
別表－６ 水質観測所一覧表

・ **実施に当たっての留意点**

- ・ 雨量計については 5 年に 1 回機器検定を受け、機器の適用範囲、補正の有無を確認する。

5-5 河川カルテ

① 河川カルテの作成

・ **実施の基本的な考え方**

- ・ 洪水による災害発生防止又は軽減を図るため、河川管理施設等を良好な状態に維持す

るとともに、その機能が適正に発揮されるよう河川管理施設等の異常・変状等の情報を継続的に蓄積できる河川カルテを作成する。

- ・「河川カルテ作成要領」（H23.5 策定、H24.5 改訂）に基づき作成し、重大な変状等について常に新しい情報となっているか毎年確認する。
- ・点検や補修の対策の履歴等を保存していくものであり、河道や施設の状態を適切に評価し、迅速な改善を実施し、河川維持管理の PDCA サイクルを実施するための重要な基礎資料となる。
- ・河川の変状や維持補修の経緯を把握するための 5 ケ年の基礎資料を作成。
- ・実施の場所、回数、密度
 - ・河川カルテ（経時データ）の記載は点検の都度記載。
 - ・河川巡視や施設点検結果等をもとに変状状況を判断し更新を実施。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・河川カルテの効率的な更新と利活用に供するため、河川維持管理データベースシステム（RiMaDIS）を活用し、電子データ化及び共有サーバ等への適切な格納を行うなど、データベース化に努める。
 - ・改修工事等による改変箇所や機械設備の点検内容については、日常の巡視をはじめ担当課と連携して点検結果を記載する。
 - ・河川カルテに取得したデータは、RiMaDIS その他データと合わせて活用し、データベース化して蓄積を行う。

5-6 河川の状態把握の分析、評価

- ・実施の基本的な考え方
 - ・適切な維持管理対策を検討するため、河川巡視、点検による河川の状態把握の結果を分析、評価するとともに、評価内容に応じて適宜河川維持管理計画等に反映することに努める。
 - ・河川の状態把握の分析、評価には、「堤防等河川管理施設の点検結果評価要領」等の各種評価要領に基づき、河川の状態把握を行い、評価ランクに応じた対策を実施する。

ランク	評価区分	対応策例
a	異常なし	—
b	要監視段階	経過観察として変状箇所のモニタリングを実施する
c	予防保全段階	機能に支障が生じていないが進行性があり予防保全の観点から補修を行う。
d	措置段階	機能に支障が生じており、補修又は更新等を行う

なお、予防保全段階においては補修の優先順位を設定し、短期的（3～5 年程度）な補修計画を立案することが望ましい。

- ・とりわけ、点検評価は、変状箇所ごとに点検者等による一次評価を実施し、その後関係部署が参加する横断的連絡調整会議等による二次評価を行うとともに、一連区間又は施設毎の総合的な評価を行うことが重要となっている。
- ・実施に当たっての留意点
 - ・河川維持管理は、経験に基づく知見の集積に技術的には強く依存しており、河川維持管理データベースシステム（RiMaDIS）を活用してその内容を分析・評価することは、効果的・効率的な維持管理としていく上で重要である。

- ・河川維持管理データベースシステム（RiMaDIS）に蓄積された内容とその分析・評価の結果が、河川維持管理計画あるいは毎年の実施内容の変更、改善に反映されるように、サイクル型の河川維持管理を進めていく。
- ・河川維持管理計画に基づく維持管理の実施を通して、個々の河川の具体的な維持管理の実施内容を充実させるためには、河川毎の状況に応じて解明すべき課題は何かを明確にした上で、それらを実施する中で順次分析していくことも重要
- ・河川及び河川管理施設の状態を評価するにあたり、事務所内の関係各部署が参加する横断的連絡調整会議等及び必要に応じて学識経験者や専門家から技術的助言が得られるよう体制の整備に努める。

6. 維持管理対策

6-1 河道の維持管理対策

(1) 河道流下断面の確保・河床低下対策及び河岸の対策

① 河道流下断面の確保・河床低下対策

目標とする河道流下断面を確保するため、定期的又は出水後に行う縦横断測量あるいは点検等の結果を踏まえ、流下能力の変化、施設の安全性に影響を及ぼすような河床の変化、樹木の繁茂状況を把握し、河川管理上の支障となる場合は適切な処置を講じる。

とりわけ、現況の流下能力を確保する上で障害となっている樹木伐採や河道掘削を行う。

さらに、支川合流部や樋門導水路においても、河川巡視等により土砂堆積の把握を行い、洪水流下及び河川環境（魚の遡上など）の支障とならないよう、必要に応じ導水路土砂撤去などを実施し、適正な維持管理を行う。

また、砂利採取については、適正な許認可審査や縦横断測量結果などにより 5 年毎に砂利規制計画見直しを実施し、適正な土砂管理を行う。なお、河道の掘削や樹木伐採等に当たっては、砂利採取等の民間活力も考慮するとともに、砂利採取規制計画の採取可能範囲については、特定採取制度の適用を活用する。

また、異状気象等により河道に大幅な改変があった場合には、速やかに砂利採取規制計画の見直しに着手する。

河道変化には直接流下能力に影響する樹木の繁茂も十分に考慮する必要がある。

② 河岸の対策

出水に伴う河岸の変状については、点検あるいは河川巡視等により早期発見に努めるとともに、堤防防護の支障となる場合等には、河川環境に配慮しつつ適切な措置を講じる。

砂州の固定化に伴い、河床の低下又は局所洗掘が発生した場合には、その状況に応じ河床整正や護岸・根固め等にて、適切に対応する。

侵食防止対策の検討にあたっては、侵食の程度、河川敷地（高水敷）の利用状況、堤防の侵食対策の有無などを考慮するとともに、生物の生息・成育・繁殖環境にも十分配慮することを基本とする。

また、護岸等による対策に加えて、砂州の固定化・拡大、樹林化、みお筋の河床低下に起因する偏流を是正するため、河道掘削や樹木伐採等の河道管理と一体となった侵食対策を実施する。

(2) 樹木の対策

河道内の樹木については、洪水時における水位上昇、堤防沿いの高速流の発生等の治水上の支障とならないよう、また良好な河川環境が保全されるように、点検あるいは河川巡視等による状態把握に基づいて、適切に樹木の伐開等の維持管理を行う。

吉野川、旧吉野川、今切川の河道内樹木及び竹林については、「吉野川河道内樹木管理手法検討委員会」に基づき、今後も樹木管理を実施していく。管理は、個別箇所現状の河道内樹木を治水、環境、風土の観点からそれぞれ評価する。この評価によって、全ての観点からプラスと評価される場合には「保全・促進」、マイナスと評価される場合には「排除・改善」するための手法を適用する。マイナスとプラスの機能が混在する場合には、コンフリクトの調整を図るため、「回避」、「軽減」「代償」などのミチゲーション措置を講じることを基本とし目標の実現に向けた適正な管理に努める。

なお、樹木伐採については、公募伐採（平成 22 年度より試行的に実施）、伐採材をチ

ップにして無料配布するなど、伐採・処分費用の削減、木材資源の有効利用を行っていく。

ヤナギ類・竹類による繁茂面積拡大・高密度化等による洪水流下への支障、砂州の陸域化による水際の急勾配化や局所的な深掘等が懸念されるため、今後においても河川巡視による目視調査や定期的な縦横断測量、河川水辺の国勢調査による河道内樹木調査、斜め・航空写真撮影などのモニタリングを実施し、適正な河道の維持管理を行う。

流下能力を維持する観点からは、河道の一連区間の流下能力を確保するように、樹木の経年変化も踏まえて伐開計画を作成し、計画的に樹木を伐開する。

6-2 施設の維持管理対策

(1) 堤防

出水期の前後において、堤防約 160 kmの除草等を実施し、点検可能な状態を整えるものとする。

平常時、出水期前・出水後及び地震後の巡視・点検において状態の変化が確認された場合は、その状態変化に対する評価を行うとともに、d 評価はできるだけ早期に、c 評価は優先順位を設定した上で応急復旧又は補修等の対策を実施する。

また、出水時において堤防漏水及び洗掘等が確認された場合には、発生位置・規模等を正確に把握するとともに、被害の拡大防止に向けた適切な対応を自治体等とも連携し、早期に実施するものとする。

① 土堤

・堤体

堤防にクラック、わだち、裸地化等の変状が見られた場合は、点検等による当該箇所の状況把握を継続するとともに必要に応じて原因調査を行う。その上で、堤防として必要な耐侵食、耐浸透、耐震機能等が低下し、堤体の安全性が低下すると考えられる場合は必要な対策を実施する。

・除草

① 堤防除草

・実施の基本的な考え方

洪水による災害発生防止のため堤防点検を実施するとともに、点検において確認した異常に対して適切な対応を講じるため、堤防除草を実施する。

また、堤防の雑草の繁茂による土壌の緊張力の低下、あるいは土壌の腐食化することによる法崩れ、ひび割れ、陥没等の誘因の発生防止など、堤防除草により堤防の保全を図る。

近年における特定外来生物については、繁茂拡大防止または駆除を目的とした除草を実施するものとする。

・実施の場所、回数、密度

吉野川、旧吉野川、今切川の直轄管理区間において、現堤防の表面の変状等を把握するために行う堤防の除草は、出水期前及び台風期の堤防の点検に支障がないよう、それらの時期にあわせて年 2 回行うことを基本とする。

植生の繁茂状況等により年 2 回では堤防の変状が把握できない場合や、洪水時における漏水の状況等を把握する必要がある場合等には、経済性等を十分に勘案して追加の除草を実施することができる。

・実施に当たっての留意点

堤防上等に占用道路が存在する区間については、交通安全を目的とした除草（原則天端肩及び法尻より1mの範囲）については道路管理者において除草を実施する。

また、特定外来生物の成育場所での除草については、河川維持管理技術検討会において検討された内容を反映し、その実施時期、処理方法に十分留意する。

また、除草のコスト縮減につとめるものとし、刈草の配布等について継続的に実施する。

② 高水敷除草

・実施の基本的な考え方

高水敷上の植生が堤防に進入することを防ぎ、安全な河川利用を促進するため、高水敷除草を実施する。

また、雑草の繁茂による土壌の緊張力の低下、あるいは土壌の腐食化することによるひび割れ、陥没等の誘因の発生防止など、除草により高水敷の保全を図る。

・実施の場所、回数、密度

吉野川、旧吉野川、今切川の直轄管理区間において、下記の範囲を対象に、台風期前及び出水期後（出水期前含む）の堤防の点検に支障がないよう、それらの時期にあわせて年2回行うことを基本とする。

1) 堤防（堤外）法尻及び低水法面肩から5mの範囲

2) 護岸・根固等河川管理施設の周辺

・実施に当たっての留意点

特定外来種範囲の除草については、河川維持管理技術検討会において検討された内容を反映し、その実施時期、処理方法に十分留意する。

③ 除草後の集草

・実施の基本的な考え方

刈草の飛散及び洪水時の流下に伴う河川管理上の影響を防止及び、放火による火災発生の防止するため、除草後早めに集草を実施する。

・実施の場所、回数、密度

吉野川、旧吉野川、今切川の直轄管理区間における堤防において、集草を実施する。

・実施に当たっての留意点

集草した刈草は、梱包を行い地域住民等へ配布を行うことで処分費の削減を図る、とともに最終処分が必要なものについては、自治体と連携し、廃棄物処理法に基づき適切に処分する。

特に、特定外来種の防除として実施した刈草の運搬及び種子の処分方法については、法律に則り適切に対応するものとする。

草丈が高く根が深い有害な雑草が繁茂・定着しないよう必要な除草を行う。

・天端

天端は堤体の耐浸透機能から見ると降雨の広い侵入面になる。そのため、雨水の堤体への浸透制御や河川巡視の効率化等の観点から、未舗装の天端補修等の際には天端を可能な限り簡易舗装を含めて舗装していく。

天端の法肩部は、堤体構造上、緩みやクラックが発生しやすい箇所であることから、点

検あるいは河川巡視などにおいて変状を把握し、堤防の機能に支障が生じないように適切に維持管理するものとする。

天端の凹地のたまり水の把握・処理を適切に実施する。

・坂路・階段工

変状を発見した場合には、速やかに補修等の対応を行うことを基本とする。局部的な脱石変形、沈下等が起こりやすいので、巡視や点検によって異常を発見し、適切に維持管理するものとする。

特に、高水敷が公園等として利用されており、使用頻度の高い箇所については、子供・高齢者への配慮も含めた維持管理を行い、早期に補修等の対応を実施する。

・堤脚水路

管理施設の堤脚水路においては、排水機能が確保されるよう、定期的に清掃等の維持管理を行い、異常を発見したときはすみやかに補修する。なお、許可工作物の堤脚水路については、管理者と連携して適切な維持管理がなされるよう努める。

・水防施設（側帯、車両交換場所等）

第1種側帯については、その目的から堤体と同様の維持管理を実施する。第2種側帯については、不法投棄や雑木・雑草の繁茂を防ぐ等、良好な盛土として維持管理を行う。

第3種側帯については、占有者に良好な維持管理を実施してもらうよう適切に指導していく。

また、排水ポンプ車による排水実施が速やかに行えるよう各施設の維持管理を行う。

その他の施設については、不法投棄や雑木・雑草の繁茂を防ぐ等良好な盛土として維持管理を行う。

・法止壁、境界壁

法止壁および境界壁はその機能が維持できるよう維持管理を行い、異常を発見した場合はすみやかに補修する。

② 特殊堤

天端高が確保されているか、基礎部に空洞は発生していないか、胸壁が傾いてないか、コンクリートの損傷やクラックが発生していないか等について点検し、異常を発見した場合には適切に補修等を行うものとする。

(2) 護岸・根固め・水制工

護岸・根固め・水制工等は、堤防保全機能、河岸防御機能等の目的が発揮できるよう適正に維持管理を行う。維持管理に当たっては可能な限り環境の保全・整備にも配慮していく。

点検計画に基づく点検において状態の変化が確認された場合は、その状態変化に対する評価を行うとともに、d 評価はできるだけ早期に、c 評価は優先順位を設定した上で応急復旧又は補修等の対策を実施する。

(3) 堰

出水期の前後、若しくは重点箇所においては適宜、横断可能な範囲について点検・調査し、付近の河岸及び河川管理施設に支障を及ぼさず、堰の機能を維持できるよう適切に管理を行う。

平常時、出水時前・出水時後及び地震後の巡視・点検において状況の変化が確認された場合は、その状態変化に対する評価を行うとともに、d 評価はできるだけ早期に、c 評価は優先順位を設定した上で応急復旧又は補修等の対策を実施する。

とりわけ、第十堰においては、継続的に現地調査を実施し必要に応じ補修を行う。

魚類等の遡上・降下環境を確保するために、土砂の除去や補修等、魚道の適切な維持管理を行う。

(4) 樋門・水門

樋門・水門は、堤防としての機能、逆流防止機能、排水及び洪水の流下機能が保全されるよう維持管理を行う。

樋門・水門においては、門柱や函渠と盛土との境界面に沿って水みちが形成され、漏水等の発生のおそれがあるため、点検時に留意する。なお、樋門・水門については5年に一回の頻度でクラック調査を行うことを基本とし、クラックの状況・地盤の状況等を勘案し、空洞化調査（10年に一回程度）も実施する。

ゲート設備については、定期点検による健全度評価結果により、状態の変異、不具合並びに機能低下等が確認された場合は、その変異等に対する評価を実施し、評価結果に基づいて補修、取替並びに更新等の対策を実施する。また、操作・監視、電源装置等の制御機器は信頼性確保から予防保全として整備を実施する。

平常時、出水期前・出水後及び地震後の巡視・点検において状態の変化が確認された場合は、その状態変化に対する評価を行うとともに、d 評価はできるだけ早期に、c 評価は優先順位を設定した上で補修等の対策を実施する。

また、事務所で樋門関係の情報を一括管理し、樋門開閉の操作を確実なものにするために樋門状況のリアルタイム監視化を図る。

樋門においてはゲート本体の更新時等に併せて可能な範囲で自然開閉ゲートへの構造変更の検討を実施する。

(5) 排水機場

ポンプ設備については、定期点検による健全度評価結果により状態の変異、不具合並びに機能低下等が確認された場合は、その変異等に対する評価を実施し、評価結果に基づいて補修、取替並びに更新等の対策を実施する。また、操作・監視、電源装置等の制御機器は信頼性確保から予防保全として整備を実施するものとし、主ポンプ・駆動・系統機器・電源設備の機器についても予防保全として定期整備を実施する。

なお、評価の結果に基づく対策等は、整備実施の優先度を合理的に整理し、維持管理計画の最適化を図り、河川構造物等の長寿命化計画を作成するものとする。

(6) 陸閘

手動にて確実にゲート操作が行え、洪水時等には堤防としての機能を果たせるよう常に良好な状態を維持する。なお、ゲート設備については、定期点検による健全度評価結果により状態の変異、不具合並びに機能低下が確認された場合は、その変異等に対する評価を

実施し、d 評価はできるだけ早期に、c 評価は優先順位を設定した上で補修又は取替等の対策を実施する。

(7) 河川管理施設の操作

(4)～(6)の河川管理施設の操作は、法第 14 条、令第 8 条に基づいて該当する施設については、作成要領等に基づいて操作規則又は操作要領を定め、適切に行う。水位観測施設や雨量観測施設が設置されているが、洪水時等に故障しないように、また正確なデータが得られるように、日常から維持管理に努める。

施設の新築、更新時には背後地の状況に応じて、自然開閉ゲートの採用を検討する。

河川管理施設の多くの施設の操作は、操作規則等に則り関係地方公共団体及び地先の実情に詳しい地元の方の協力を頂きながら実施しており、これからも協力を頂く必要があるが、今後予想される操作員の高齢化や人員不足等の問題に対応するため、操作環境の改善を図る上屋の設置、遠隔あるいは自動操作等への転換等の対策を行い、確実な施設の操作に努める。

(8) 情報・通信施設

情報・通信施設には光ファイバー、CCTV、多重無線設備、移動通信設備、衛星通信設備、河川情報等があるが、点検、診断等に関する基準等を基本とした点検及び診断の結果により、施設毎の劣化状況、施設の重要性等を勘案し、効率的、効果的に維持管理する。また、点検・整備・更新に当たって長寿命化やライフサイクルコストの縮減の検討を行い、計画的に電気通信施設の維持管理を行う。

なお、関係機関との連絡体制及び連携の強化、各種訓練なども実施していく。

情報・通信施設について専門技術者による「点検」を実施する場合は、下記の基準、要領等に基づき実施するものとする。

- 1) 電気通信施設点検基準(案)(平成 28 年 11 月 1 日)、国技電第 14 号
- 2) 電気通信施設アセットマネジメント要領・同解説(平成 23 年 6 月制定、平成 24 年 10 月一部改訂)

(9) 許可工作物

① 基本

平常時・出水時及び地震時における施設の安全性と機能性の確保及び適正な維持管理を促進するため、許可工作物の概括的な状況把握を行う。

許可工作物については、設置者により河川管理施設に準じた適切な維持管理がなされるよう、許可に当たっては必要な許可条件を付与するとともに、設置後の状況によっては必要に応じて指導等を実施する。

また、慣行水利権について順次許可水利権へ移行できるよう指導していく。

② 取水施設

河道内に設置されている取水塔は、周辺で局所洗掘を生じる等、取水塔の安全性に問題がない場合でも河道及び河川管理施設に悪影響を及ぼす可能性があることから、必要に応じて適切な対策が講じられるように指導を行う。

③ 橋梁

・橋台

出水期前の点検等において、設置者により橋台付近の堤体ひび割れ等の外観点検及び必要に応じた詳細な調査、それに基づく補修等の適切な対策がなされるように指導を行う。なお橋台周辺の堤防あるいは護岸の点検は、河川巡視要領及び吉野川巡視計画に基づき週5回（一般巡視2回／週、目的別巡視3回／週）の頻度で実施する河川巡視において、別途計画する巡視月間計画表に基づき実施するとともに、事務所職員においても堤防の点検を実施するものとする。

・橋脚

橋脚周辺の洗掘形状（最大洗掘深、洗掘範囲）等を把握し河川管理上の支障を認めた場合には、設置者に通知するとともに適切な指導を行うことを基本とする。

・取付道路

橋梁の取付道路部の舗装のひび割れ等は、水みちの形成の原因となるので、必要に応じた道路管理者によりすみやかに補修されるよう指導を行う。

(10) 水文観測施設の維持管理

水文観測業務規定関係集に基づき定期的に実施する施設・設備の点検において状態の変化並びに機能の低下が確認された場合は、その状態変化等に対する評価を行うとともに評価結果に基づいて補修等の対策を実施する。

尚、対策は施設の施設・設備の経過年数や耐用年数、対策実施の緊急性等を考慮して計画的に実施するものとする。

また、量水板等、河川巡視で目視確認が可能な部分については、点検業者と連携を図り、維持管理を実施する。

6-3 河川区域等の維持管理対策

(1) 一般

河川には、河川の流水の利用、河川区域内の土地の利用、土石等の採取、舟運等種々の利用等があり、これらの多様な河川利用者間の調整を図り、河川環境に配慮しつつ、河川の土地及び空間が公共用物として適正に利用されるように維持管理するものとする。

また、河川環境の保全や河川利用については、市町村との一層の連携を図るとともに、地域住民、NPO、市民団体等との協働により清掃や除草を実施する等、地域の特性を反映した維持管理を推進していく。

なお、先行取得用地（吉野川上流の築堤箇所、旧吉野川）についても適正に維持管理を行う。

(2) 河川内での不法行為の是正・防止

① 不法行為等の是正・防止

河川法に基づいて、河川区域等における土地の占用、工作物の新築等、適正な許認可事務を実施するとともに、今後も不法占用や不法行為の是正・防止に向けた対応に努めるべく、河川巡視や監視カメラによる監視の強化を図る。

不法行為を発見した場合は、速やかに口頭で除却、原状回復等の指導を行い、行為者が不明な場合には警告看板を設置する等、必要な初動対応を行い、法令等に基づき適切かつ

迅速に不法行為の是正のための措置を講じるものとする。

吉野川、旧吉野川、今切川における不法行為の主なものは以下のとおりであり、各々について適切に対応するものとする。

- ①流水の占用関係：不法取水、許可期間外の取水。
- ②土地の占用関係：不法占用、占用範囲の逸脱、許可条件違反、不法係留。
不法係留(放置船舶)については、別紙-16に基づき適切な措置を講じるものとする。
- ③産出物の採取に関する状況：盗掘、不法伐採、採取位置や仮置き違反、汚濁水の排出。又、砂利採取計画に基づかない行為。
- ④工作物の設置状況：不法工作物の設置、工作物の許可条件等からの違反。
- ⑤土地の形状変更状況：不法掘削・堆積、形状変更の許可条件等からの違反。
- ⑥竹木の流送やいかだの通航状況：不法係留、竹木の不法な流送、舟又はいかだの不法な通航。
- ⑦河川管理上支障を及ぼすおそれのある行為の状況：河川の損傷、ごみ等の投棄、指定区域内の車両乗り入れ、汚水の排出違反。
なお、耕作地(占用地)の堆肥が堆積している場合は、鋤込み等の指導を行うとともに、施肥の適量範囲については、「徳島県肥料等の不当に大量な使用等の防止に関する条例（H19.5.1施行）」に基づき実施する。
- ⑧河川保全区域及び河川予定地における行為の状況：不法工作物の設置、不法な形状変更。

※参考 別紙－16 放置船舶対応フロー

(3) 河川の適正な利用

① 状態把握

河川巡視や監視カメラで、以下のような状況を把握するものとする。

- ①危険行為等：危険な利用形態、不審物・不審者の有無、他の河川利用等へ悪影響を及ぼす迷惑行為。
- ②河川区域内における駐車や係留等の状況：河川区域内の駐車、係留・水面利用等の状況。
- ③河川区域内の利用状況：イベント等の開催状況、施設の利用状況、河川環境に悪影響を及ぼす利用形態。

② 河川の安全な利用

河川管理者は、利用者の自己責任による安全確保とあわせて、河川利用の安全に資するため、安全利用点検に関する実施要領に基づいて必要に応じて関係施設の点検を実施する。

関連通知等

- 1) 河川（水面を含む）における安全利用点検の実施について（改訂）（平成21年3月）

また、河川区域内における車両、火災、人身事故等が発生した場合は、速やかな情報把握により河川管理瑕疵、施設被害等を確認し、関係機関と連携し必要に応じた対応を図る。

6-4 河川環境の維持管理対策

(1) 洪水時に漂着する障害物の除去

河川管理施設への影響及び環境悪化の要因となる漂着物は、優先度が高いものから必要に応じ洪水後において速やかに除去するものとする。

河川区域内に不法係留船がある場合には、是正のための対策を適切に実施するものとする。

不法係留船の強制的な撤去に関する手続きは、別紙-16 放置船舶対応フローを基本とする。

所有者不明船舶は、河川管理上の必要性に応じ、簡易代執行により撤去を実施していく。

(2) 河川環境の保全

① 特定外来生物対策

吉野川、旧吉野川、今切川では、特定外来生物を含む多くの外来種が確認されているため、生態系等への河川巡視及び河川水辺の国勢調査などのモニタリングを継続的に実施していく。なお、維持工事の堤防・高水敷除草における特定外来生物への対応については、外来生物法に基づき適正に処理を行う。

旧吉野川のボタンウキクサおよびホテイアオイ、オオカナダモ等については、維持工事による水面清掃により早期発見・駆除を実施するとともに、関係機関と連携のもと進めていく。

② 河道内生物の生息・生育環境保全

吉野川、旧吉野川、今切川については、特定種を含む多くの動植物が生息・生育しているため、今後も河川巡視による点検及び河川水辺の国勢調査などのモニタリングを継続的に実施していく。

③ 水質の保全

水質については、生物の生息・生育に良好な水質の維持及び保全に努める必要があるため、水質調査などのモニタリングを定期的の実施する。

また、関係機関と情報共有するため、水質汚濁防止協議会等を適宜開催し、連絡しやすい体制を樹立する。

(3) 渇水時の水位・流量・水質観測（低水）

渇水時における水位・流量及び水質管理のため、渇水調整又は取水制限が行われる期間において、河川巡視又は委託による水位・流量及び水質観測を実施するとともに、定期的の実施する水位等の観測とあわせ、観測結果については一般に公表を行うよう努めるものとする。

また、関係機関との協議を密にし、広報誌等を通じて、住民へ節水意識の向上を働きかけていく。

6-5 水防等のための対策

(1) 水防のための対策

① 水防活動等への対応

吉野川及び旧吉野川、今切川の出水時の対応のため、所要の資材を適切に備蓄し、必要に応じて迅速に輸送し得るようあらかじめ関係機関と十分協議しておくとともに、応急復旧時の民間保有機材等の活用体制を整備するよう努める。

出水期前に水防連絡会を通じて、関係機関に重要水防箇所の周知徹底を行う。また、必要に応じて水防管理者、水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施する。

また、出水期前に水防管理団体が洪水時等に迅速、かつ適確な水防活動が行えるように水防技術講習会を実施し、水防工法の指導、助言に努める。

なお、吉野川及び旧吉野川、今切川で氾濫の発生が予想される場合には、出水の見通し、氾濫の発生の見通し等の情報提供により、市町村が避難勧告等を適確に実施できるよう、河川管理者である徳島河川国道事務所から市町村長への連絡体制の確保等に努める。

吉野川上流域、下流域を対象に、「水防災意識社会」の再構築に向けた取組として、「吉野川上流・下流大規模氾濫に関する減災対策協議会」を平成 28 年 5 月に設立し、平成 28 年 8 月に策定した「吉野川上流・下流域の減災に係る取組方針」に基づき、減災のための目標を共有し、平成 32 年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

なお、この取組方針のフォローアップとして、毎年出水期前に、当協議会を開催し、取組の進捗状況を確認し、必要に応じて取組方針を見直す。

② 水位情報等の提供

吉野川は洪水予報河川、旧吉野川、今切川については、水位周知河川として定められており、出水時における水防活動、あるいは市町村及び地域住民における避難に係る活動等に資するよう、法令等に基づき適切に洪水予報若しくは水位に関する情報提供を行うものとする。

出水時の水位情報あるいはその予測情報、洪水氾濫に関する情報は、水防活動、地域住民の避難行動、及び市町村長による避難勧告等の判断の基礎となるものであるため、それらの活動に資するよう、水防法に基づく洪水予報、水位情報の周知、浸水想定区域の指定等を行い、適切な情報提供に努める。この際、実施要領等に基づいて情報の受け手にとって分かりやすい情報とするように努める。

なお、住民の自主的な避難を促進するために、吉野川流域 14 市町の住民への洪水情報を緊急速報メールで通知する「洪水情報プッシュ型配信」を平成 29 年 5 月より実施しており、今後とも引き続き実施する。

③ 洪水予測技術の精度向上

洪水予測技術の精度向上に向け、予測値と実績値の乖離が認められた場合や新たに加えるべきデータが得られた場合等必要に応じて予測モデルを見直していく。

また、雨量レーダ、降雨予測、流出予測、氾濫予測等の洪水予測技術における新技術の動向・精度等を注視し必要に応じて吉野川水系にも導入を行う。

④ 開口部の対応

旧吉野川・今切川数 10 ヶ箇所の堤防等開口部については、重要水防箇所として位置づけ、水防活動を実施する自治体と連携を図り被害の拡大を防ぐ。

(2) 水質事故対策

水質事故が発生した場合には、事故の拡大防止のため、吉野川水系水質汚濁対策連絡協議会のメンバーへの早急な情報提供を行うと共に、拡散防止対策等適切な対応を実施する。

日頃より水質事故に対応するための資機材等の確保に努める。

年1回、吉野川水系水質汚濁対策連絡協議会及び吉野川流域ホテイアオイ等対策連絡会を実施する。

7. 地域連携

(1) 河川管理者と市町が連携して行うべき事項（排水ポンプ車運転、避難情報提供等）

- ①吉野川下流の内水地区、旧吉野川、今切川については、関係自治体と情報を密にし、必要に応じて排水ポンプ車を配置するとともに、毎年出水期(6月)までに関係自治体と連携し、排水ポンプ車操作訓練を実施する。
- ②避難情報の提供にあたっては、上流の池田ダムの放流予測、下流基準点の水位予測等を考慮し実施すると共に、平常時より情報伝達方法について訓練等を行う。
- ③より効率的な堤防巡視・水防活動のため、出水期前には、市町の水防管理団体と共同で重要水防箇所点検・確認を実施するとともに、出水中の特別巡視訓練についても実施する。
- ④河川管理者及び市町村と NPO、市民団体等が連携・協働して行っている又は行う予定がある。

(2) 河川管理者及び市町村と NPO、市民団体が連携・協働して行っているまたは予定がある事項

① 吉野川交流推進会議

吉野川河川整備計画で定められている、吉野川の特性を活かした河川整備を進めるための情報の発信と共有化を図る。具体的には、流域市町等行政、学識者及び NPO 団体等により構成される吉野川交流推進会議の事務局として、下記のような取り組みに関する支援を行うことで、吉野川と人・地域との新たな共生関係の構築や流域間の交流を促進し、川を活かした個性的で魅力あふれる地域づくりを目指すとともに、流域に関する情報を全国に向かって発信する。

・交流事業

① アドプトプログラム吉野川

美しい吉野川の環境を守る取り組みとして、引き続き「アドプトプログラム吉野川」による美化活動を支援する。

② 子どもとの交流体験事業

吉野川の上中下流域において、各種体験・見学及び水難事故防止講習会を実施する。

③ 地域イベントとの交流事業

吉野川フェスティバル等、各地で開催されるイベントと協働し、各地域の魅力を発信するとともに、地域間ネットワークの強化を図る。

④ 流域間交流事業

三大河川交流として筑後川、利根川と相互に連携し、魅力を広く一般に情報発信するとともに、流域間の交流・連携を深める。

⑤河川管理者主導の事業

水生生物調査、吉野川一斉清掃等、環境を保全する目的のイベントを通じて、吉野川への理解と関心を深めさせる取り組みを行う。

⑥情報発信事業

機関誌等の発行、吉野川交流推進会議のホームページにおけるお出かけ情報・イベント情報等の拡充、各種イベントにおける PR 活動、新聞広告による PR 活動などの情報発信事業を支援する。

② 河川協力団体制度

河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う団体等を支援する。

河川協力団体に指定されると、活動を行う上で必要となる河川法上の許可等について、河川管理者との協議の成立をもって足りることになります。

吉野川では平成 25 年度の創設以来、平成 30 年時点で 8 団体を指定しており、引き続き、河川協力団体の活動を支援し、河川の維持、河川の環境の保全並びに適正な河川管理に努める。

(3) 他機関との連携

吉野川流域にあるダム管理者や旧吉野川・今切川の河口堰を管理している水資源機構と情報を共有し、一帯となりよりよい河川管理を行う。

8. 効率化・改善に向けた取組

(1) より良好な河川環境の整備・保全

河川環境における環境の整備と保全に関しては、河川環境に関する現在の課題を把握し、河川環境に与える影響を最小限に抑えることで、良好な河川環境の保全に努める。

(2) より効率的な河川維持管理等に向けた更なる地域協働の取り組み

地域住民と協力して河川管理を推進するため、地域の人々へ河川に関する様々な情報を発信する。また地域の取り組みと連携した河川整備等により、住民参加型の河川管理の構築に努める。

①避難情報の提供にあたっては、上流の池田ダム、早明浦ダム、新宮ダム等の放流予測、下流基準点の水位予測等を考慮して実施すると共に、平常時には洪水、渇水、濁水、水質時等の情報伝達方法等について訓練等を行う。

②吉野川では、集草が大量であることから市町村の処理場では受け入れに限界がある。したがって、農家等における利用促進、リサイクル業者の活用など調査研究を進め、直接堆肥などの試験を行い効率的な処理法を確立していく。

③外来種（シナダレスズメガヤ等）の対策におけるモニタリング調査等では人為的な除去対策としての抜き取りが効果的とされており今後とも地域連携を継続して行く。

④樹木伐採について今後とも継続公募を行い、伐採・処分費用の削減、木材資源の有効利用を行っていく。また、公募伐採の範囲を拡大していく。

⑤旧吉野川の水草（ホテアオイ）対策は早期除去が有効とされていることから地域住民との連携を密とし情報収集を継続する。

また、大量発生の際には、コスト縮減の一環として堆肥化を検討する。

(3) 長寿命化対策の方向等

- ①水閘門や揚排水機場等の河川管理施設の点検・整備・補修・更新等について、中長期の展望を踏まえ効果的・効率的に推進していくため、主要な施設については、長寿命化計画を策定し、計画的に推進していく。
- ②長寿命化計画は設備の目的や機能によりメリハリを持たせて維持管理し、設備の信頼性を確保しつつ、効率的かつ効果的な維持管理を実現するための点検項目や点検周期合理化管理を導入していく。
- ③長寿命化計画の策定は、「河道及び河川管理施設の長寿命化計画策定の手引き」（平成 30 年 3 月）により、策定及び見直しを行っていく。

(4) 効率化あるいは改善を進める取り組み

河道や河川構造物の被災箇所とその程度はあらかじめ特定することが困難である。河川維持管理はそのような制約のもとで、河道や河川構造物において把握された変状を分析・評価し、対策等を実施せざるを得ないという性格を有している。実際、河川管理では、従来より河川の変状の発生とそれへの対応、出水等による災害の発生と対策や新たな整備等の繰り返しの中で順応的に安全性を確保してきている。そのため、吉野川・旧吉野川・今切川の河川維持管理に当たっては、河川巡視、点検による状態把握、維持管理対策を長期間にわたり繰り返し、それらの一連の作業の中で得られた知見を分析・評価して、河川維持管理計画あるいは実施内容に反映していくという PDCA サイクルの体系を構築していく（下図参照）。

その際、状態把握の結果を分析・評価し、所要の対策を検討する手法等が技術的に確立されていない場合も多いため、学識者等の助言を得る体制を整備することも重要である。

また、河川整備計画は、河川の維持を含めた河川整備の全体像を示すものであり、河川維持管理における PDCA サイクルの中で得られた知見を吉野川水系河川整備計画にフィードバックし、必要に応じて河川整備計画の内容を点検し変更する。

RMDIS の利用によって期待される効果

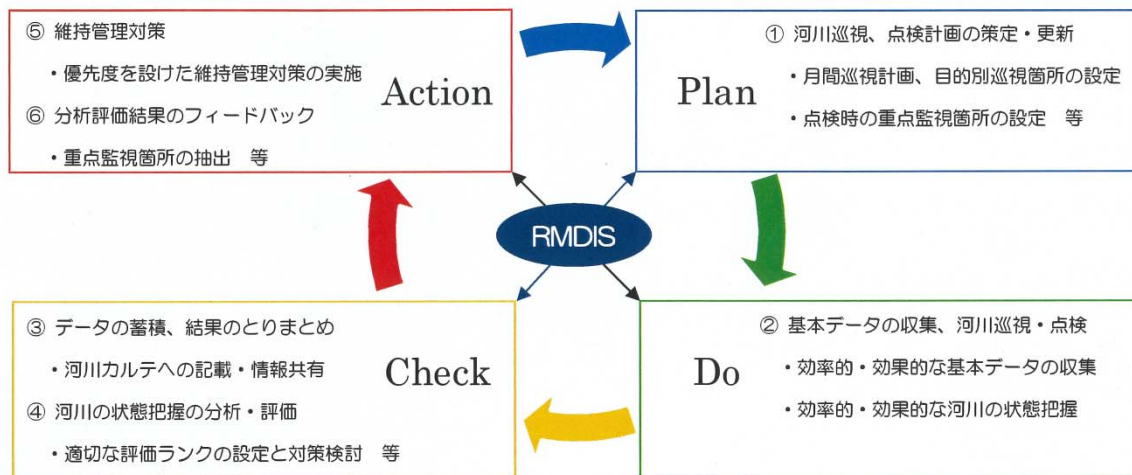
河川維持管理における PDCA サイクルとは、以下の各ステップを着実に実施していくことで河川維持管理行為のスパイラルアップ（効率化・高度化）を図ることです。

Plan(計画) : ①河川巡視、点検計画の策定・更新

Do(実行) : ②基本データの収集、河川巡視・点検

Check(評価) : ③データの蓄積、結果のとりまとめ、④河川の状態把握の分析・評価

Action(改善) : ⑤維持管理対策、⑥分析評価結果のフィードバック



RMDIS の利活用

①河川巡視、点検計画の策定・更新

・WEB システムを利用した河川巡視、点検計画の策定・更新の実施

②基本データの収集、河川巡視・点検

・RMDIS アプリを使用したタブレットを用いた効率的な現場作業（巡視・点検）の実施

③データの蓄積、結果のとりまとめ

・得られた巡視・点検結果の一元的なデータ蓄積
 ・WEB システムを使用した登録データの確認・集計作業の実施
 ・統一された様式による結果整理と出力による効率的な情報共有

④河川の状態把握の分析・評価

・巡視・点検結果の整理を踏まえた適切な評価ランクの設定・修正作業の実施

⑤維持管理対策

・評価ランクを踏まえた維持管理対策内容、優先順位の設定

⑥分析評価結果のフィードバック

・分析評価結果を踏まえた河川維持管理計画の課題抽出とフィードバック

別紙－１ 河川巡視詳細一覧表

項目	内容
<p>(1) 河川区域等における違法行為の発見及び報告</p> <p>河川巡視は、河川法に規定する河川区域、河川保全区域及び河川予定地において、許可が必要とされている行為を無許可で行っていたり、禁止されている行為を行っているものについて発見した場合その状況を把握し報告を行う。</p>	
① 流水の占用関係	河川法 23 条に規定する流水の占用に関する違反行為がないかどうかを現地において状況を把握する。
a) 不法取水	取水施設の設置やポンプの設置により、無許可で河川から取水が行われていないかどうかの状況を把握する。
b) 許可期間外の取水	取水施設からの取水が許可期間外に行われていないかどうかの状況を把握する。
c) 取水施設等の状況	取水施設において取水量が許可と異なっていないか、また許可を受けて設置された工作物が、許可どおりの状態になっているか、設置後に無許可で改築、改造等が行われていないかの状況を把握する。
② 土地の占用関係	河川法 24 条に規定する土地（河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する土地を除く。）の占用に関する違反行為がないかどうかを現地において状況を把握する。
a) 不法占用	河川区域内の土地（河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する民地を除く。）において、無許可で土地が占有されていないかの状況を把握する。具体的には私的な土地の占有、恒常的な駐車、無許可の耕作等の状況を把握する。
b) 占用状況	占用許可を受けた土地において、占用の範囲が許可の範囲と異なっていないか、また、許可条件等に基づき適正に管理されているかの状況を把握する。
③ 河川の産出物の採取に関する状況	河川法 25 条に規定する河川区域内の土石等の採取が許可どおり実施されているかどうかを現地において状況を把握する。
a) 盗掘、不法伐採	河川区域内の河川管理者が権原を有する土地において許可を受けていない砂利採掘や、樹木の伐採等が実施されていないかの状況を把握する。

項目	内容
b)採取位置等	許可を受けた砂利採取箇所等において、採取位置・範囲、運搬路の位置が許可どおりかの状況を把握する。
c)土砂等の仮置き状況	許可を受けた砂利採取箇所等において、土砂等の仮置きが、定められた位置に定められた形状で仮置きされているかの状況を把握する。
d)汚濁水の排出の有無	許可を受けた砂利採取箇所等において、汚濁水が河川へ放流されていないかどうかの状況を把握する。
④工作物の設置状況	河川法 26 条に規定する河川区域内の工作物の新築等に関する違反行為がないかどうかを現地において状況を把握する。
a)不法工作物	河川区域内において、許可を受けていない工作物（建物、通路、看板、栈橋・係留施設等）が設置されていないかの状況を把握する。
b)工作物の状況	許可を受けて設置された工作物、又は施工中の工作物が、許可どおりの状態になっているか、また、設置後に無許可で改築・改造等が行われていないかの状況を把握する。
⑤土地の形状変更状況	河川法 27 条に規定する土地の掘削等に関する違反行為がないかどうかを現地において状況を把握する。
a)不法形状変更	河川区域内において、許可を受けていない土地の掘削・盛土等が実施されていないかの状況を把握する。
b)土地の形状変更の状況	許可を受けている土地の掘削・盛土行為が許可どおりの状態になっているかの状況を把握する。
⑥竹木の流送やいかだの通航状況	河川法施行令第 16 条の 2 及び第 16 条の 3 に基づく、河川管理者が指定した船やいかだの通航制限や竹木流送の許可に関する違反行為がないかを現地において状況を把握する。
* a) 不法な竹木流送	許可を受けていない竹木の流送が実施されていないかの状況を把握する。
b) 竹木の流送状況	許可を受けて実施されている竹木の流送が許可どおり実施されているかどうか、又竹木の流送が河川管理者の指定する水域内で、指定どおりに行われているかの状況を把握する。

項目	内容
c) 船またはいかだの通航状況	河川管理施設である閘門あるいは河川管理者が指定した水域において、指定した通行方法による通航が実施されているかの状況を把握する。
⑦河川管理上支障をおよぼすおそれのある行為の状況	河川法施行令第 16 条の 4 に規定する河川の損傷や、ごみ等の投棄、指定区域における車両乗入れ等が行われていないかを現地において状況を把握する。
a) 河川の損傷	人為的な河川の損傷が行われていないかの状況を把握する。
b) ごみ等の投棄	河川区域内においてごみ等の投棄が行われていないかの状況を把握する。
c) 指定区域内の車両乗入れ	河川管理施設の保全または動植物の生息地・生育地として特に保全を必要とする箇所、河川管理者が指定した区域において自動車その他の河川管理者が指定したものが入れられていないかの状況を把握する。
d) 汚水の排出状況	河川管理者への届出を行わずに、一定量以上の汚水が排出されていないかの状況を把握する。特に、特殊な汚濁色や臭い、泡、魚の浮上等がないかの状況を把握する。
⑧河川保全区域及び河川予定地における行為の状況	河川法 55 条第 1 項及び 57 条第 1 項に規定する河川保全区域及び河川予定地における制限行為が無許可で行われていないか、また許可どおりに行われているかを現地において状況を把握する。
a) 不法工作物	河川保全区域あるいは河川予定地において、許可を受けていない工作物（建物、通路、看板等）が設置されていないかの状況を把握する。
b) 工作物の状況	許可を受けて設置された工作物が、許可どおりの状態になっているか、また、設置後に無許可で改築・改造等が行われていないかの状況を把握する。
c) 不法形状変更	河川保全区域あるいは河川予定地において、許可を受けずに土地の掘削・盛土等が実施されていないかの状況を把握する。

項目	内容
<p>(2) 河川管理施設及び許可工作物の維持管理の状況の把握</p> <p>河川巡視は、河川管理施設がそれぞれ求められる機能を十分発揮するため、その状況を車上を中心とした目視レベルで把握し、認められた変状について報告する。</p> <p>また、許可工作物については、許可どおりに維持管理されているかどうかを同様に把握し、その変状について報告する。</p> <p>なお、本項では堰や樋門・樋管等の機械施設・電気通信施設の動作確認や河道及び河川管理施設の点検は含まれない。</p>	
①河川管理施設の維持管理状況	河川管理施設について、大きな損傷が生じているかどうかを、目視により現地において、その状況について把握する。
a) 堤防の状況	堤防天端や小段に不陸、亀裂、わだちがないか、堤防法面に人畜や車両による損傷がないか、また、法面の芝の生育不良、法面の亀裂、法崩れ、段差がないか等、また、堤防法尻等に漏水が見られないかの状況を把握する。
b) 堰・水門等構造物の状況	河川管理施設である堰や水門、樋門・樋管等において、本体及び取付け護岸、取付け水路の重大な損傷や不等沈下、水路の埋塞等がないかの状況を把握する。
c) 護岸・根固及び水制の状況	護岸・根固及び水制について重大な損傷（護岸のクラック、裏込の流失、基礎部の洗掘、上・下流河岸の侵食、根固めの流失等）について状況を把握する。
②許可工作物の維持管理状況	許可工作物について、重大な損傷が見られるか、また、ごみの堆積や汚水・油のもれ等がないかを現地において状況を把握する。
a) 許可工作物の状況	許可工作物である堰や水門、樋門・樋管、橋梁等において、本体及び取付け護岸、取付け水路の重大な損傷、水路の埋塞等がないかの状況を把握する。
③親水施設等の利用安全性	親水機能等の確保を目的として設置された施設が、設置の目的に応じて適切に管理されているか、また利用上危険性がないかを現地において状況を把握する。
a) 親水施設の状況	設置された親水施設に損傷、汚損等の有無及び、その施設が利用者に危険性がない状態になっているかの状況を把握する。
④車止め、標識、距離標等の保全状況	河川区域内における車止め、標識、距離標、占用杭、境界杭等が適切に保全され、破損・汚損等がないかどうかを現地において状況を把握する。

項目	内容
⑤河道の状況	河道の状況について正常に流下しているかを目視によりその状況を把握する。
a) 河岸の状況	天然河岸において流水などにより異常な側方浸食が生じていないかの状況を把握する。河岸が流水により洗掘を受け、新たな深掘れ箇所が発生していないかどうかの状況を把握する。
b) 河口閉塞の状況	河口部において堆砂の状況を把握する。特に河口閉塞が生じていないかの状況を把握する。
c) 河道内における砂州堆積状況	河道内で新たな砂州の形成や移動により、堆積土砂で周辺の流れに変化があるかどうかの状況を把握する。
d) 樹木群の生育状況	河道内における樹木の繁茂状況や、護岸等への根の進入、めくれ上がり等がないかの状況を把握する。
(3) 河川空間の利用に関する情報収集 河川巡視は河川空間が地域の人々に適正に利用され、また、必要な河川環境の整備を実施するために、河川空間の利用状況を把握すると共に、河川空間における好ましくない河川利用の状況（車両の放置、許可を受けた栈橋以外での係留、他の利用者に危険をおよぼす利用形態等）について状況を把握し報告する。 また、河川環境整備のための基礎的情報を収集するため、河川区域における利用上の特筆されるべき事象（漁労上の仕掛け等の設置、禁漁期間、河川における行事、新たな河川利用形態）等について情報を把握し報告するものとする。	
①危険行為等の発見	河川区域内において、利用者が安全に利用出来るよう、又は河川区域内の施設等が安全に利用出来るよう、主に危険行為防止の観点から利用状況等の把握を現地において行う。また、大麻草・ケシ等の薬物に類する植物の栽培等がないか把握する。
a) 危険な利用形態	河川空間において、利用者が危険にさらされるような利用形態（水難事故等の危険性）や、他の河川利用者に危険を与えるような利用形態（河川敷でのゴルフ、モトクロス等）があるかどうかについて状況を把握する。
b) 不審物・不審者の有無	河川空間において、テロ行為等の犯罪行為の発生を予防するため、特に重要施設（堰、水門、取水口、橋梁等）の付近において、不審物や不審者がいないかどうかを現地で状況を把握する。

項目	内容
*②河川区域内における駐車や係留の状況	河川区域内の自由使用を確保するため、河川区域内で通行の支障になったり、他の自由使用を妨げるような駐車・係留等の実態等について現地において状況を把握する。
*a)河川区域内の駐車の状況	河川区域内において通行や他の自由使用を妨げるような車両の駐車（無余地駐車、占用地外へのはみ出し駐車など）について状況を把握する。
*b)係留・水面利用等の状況	河川区域内において、許可を受けていない係留や停泊の状況、又は水上バイク、カヌー練習などが反復して利用されている状況について現地で把握する。
*③河川区域内の利用状況	河川区域内における基礎情報を得るため、河川空間における地域住民等の利用状況及びゾーニングが定められている場合にはその齟齬を現地において把握する。
*a)イベント等の開催状況	日常的な利用と異なるイベントや行事の際に、どのような河川利用が行われているか等について状況を把握する。
*b)施設の利用状況	河川空間に設置された休憩所、トイレ、遊歩道等の施設が適切に維持管理されているかの状況を把握する。
*c)河川空間における生産・漁業活動等の状況	河川空間において、農耕や漁業活動が行われている場合、その活動状況（例えば田植え・稲刈り、ヤナ等の設置、禁漁期間の開始・終了等）について把握する。
(4)河川の自然環境に関する情報収集 河川巡視は河川区域内の自然環境を適切に整備・保全するため、その基礎情報として、河川の自然環境に関わる特筆されるべき事象（代表的な植物の開花、特定外来種の生育状況、渡り鳥の飛来・飛去、瀬切れの発生等）について把握し報告する。	
①自然環境の状況把握	河川環境の整備と保全のため、河川区域内における自然環境の状況について情報を収集する。ここでは、特に水質事故等の危機管理の観点から巡視を行う。
a)河川の水質に関する状況	河川の水質について、異常な汚濁色、油の流下、魚の浮上、臭い等がないかどうかの状況を把握する。
*b)河川の水位に関する状況	渇水時において生じる河川水位の低減により、瀬切れ等の状況について把握する。

項目	内容
*c) 季節的な自然環境の変化	河川の自然環境について季節的な周期により生じる、目視にて容易に把握できる自然環境の変化について把握する。 例えば、希少種の生息環境の状況、渡り鳥の渡来・飛去、集団営巣地の形成、魚の集団溯上、堤防や河川敷における菜の花や彼岸花の開花、桜の開花、紅葉の最盛期、特定外来種の生育状況等である。
② 自然環境へ影響を与える行為	河川区域において自然環境について影響を与えるような河川利用がある場合、現地において状況を把握する。
a) 自然保護上重要な地域での土地改変等	自然保護上重要な植物の群生地や、鳥類の繁殖地等において、車両の乗り入れや、生息へ影響を与えるような行為が行われていないかどうかの状況を把握する。
*b) 自然保護上重要な種の生息・捕獲・採取の状況	自然保護上重要な動植物（絶滅のおそれのある動植物や天然記念物等）について、河川区域内で生息状況を把握する。また、捕獲や採集が行われていないかの状況を把握する。具体的には、禁止されているカスミ網等を発見した場合その状況を把握する。
③ 多自然川づくりの状況	整備された自然再生の箇所、池、ワンド等が埋没、干上がり、損傷等がないか状況を把握する。
④ 魚道の通水状況	河川管理施設や許可工作物の堰等に設置された魚道について、水が流れているかどうか、また、魚道入り口等において土砂堆積や、河床洗掘などが生じていないかどうかの状況を把握する。

※「*」印は「必要に応じて実施する巡視項目」

雨量観測計画

番号	水系名	観測所名	観測所記号	観測所の種別	支配面積 (km ²)	観測方法の区分				併設観測	保守点検及び補修等の概要	
						自記 雨量計	自記雨 雪量計	テレ メータ	型式		定期点検	総合点検
1	吉野川	板東谷 イサカダニ	108071288801001	3種	61.22	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
2	吉野川	大坂谷 オオサカダニ	108071288801002	3種	16.25	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
3	吉野川	大山 オオヤマ	108071288801003	1種	47.73		○	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
4	吉野川	旧吉野川 キョウノノカワ	108071288801004	2種	58.57	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
5	吉野川	徳島 トクシマ	108071288801005	1種	122.74		○	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
6	吉野川	上板 カミイタ	108071288801006	2種	25.21	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
7	吉野川	藍畑 アイノハタ	108071288801007	3種	63.23	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
8	吉野川	今杖 イマヅテ	108071288801008	1種	129.00		○	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
9	吉野川	中央橋 チュウオウハシ	108071288801009	3種	111.67		○	○	転倒型	水位	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
10	吉野川	神山 カミヤマ	108071288801010	2種	165.83		○	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
11	吉野川	種野 タネノ	108071288801011	3種	69.18	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
12	吉野川	山川 ヤマカワ	108071288801012	2種	39.93	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
13	吉野川	楠根地 クスネジ	108071288801015	3種	9.28	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
14	吉野川	岩津 イワヅ	1361180730135	2種	54.09		○	○	転倒型	水位	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
15	吉野川	米屋平 コメヤヘ	108071288801017	1種	98.76		○	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施

雨量観測計画

番号	水系名	観測所名	観測所記号	観測所の種類	支配面積 (km ²)	観測方法の区分				併設観測	保守点検及び補修等の概要	
						自記 雨量計	自記雨 雪量計	テレ メータ	型式		定期点検	総合点検
16	吉野川	フルミヤ古宮	108071288801018	3種	106.77	○	○	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
17	吉野川	セレンギ切越	108071288801019	3種	97.74		ロガー	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
18	吉野川	ナカヤマ中藪	108071288801020	3種	101.03		○	○	転倒型	水位	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
19	吉野川	リョウノオウゴン竜王山	108071288801021	1種	28.46		○	○	転倒型	中継局	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
20	吉野川	ペンダ平田	108071288801022	1種	91.70		ロガー	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
21	吉野川	ニ三野	108071288801023	2種	193.72		ロガー	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
22	吉野川	オホノ大野	108071288801024	3種	100.31	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
23	吉野川	タニミヤ谷道	108071288801025	1種	92.00		ロガー	○	転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施
24	吉野川	オササキ大砂子	108071288801026	3種	45.19	ロガー			転倒型	—	11回/年 受水器・記録計等の点検を請負業者により実施	毎年1回、転倒ます、センサー等について疑似テストを請負業者により実施

水位観測所一覽表

河川名	観測所名	種別	水位流量 の別	器械の 名称	観測所位置	観測開始 年月日	零点高 (m)	河口より (km)	左右岸 の別	流域面積 (km ²)	機器更新
吉野川	豊永	ロガー テレメーター	水位	水圧式 (水晶)	高知県長岡郡大豊町太田口	S49.4.1 S49.11.29	A.P.+ 197.333	119.0	左	933.2	H4.1
祖谷川	祖谷	ロガー	"	水圧式	徳島県三好市西祖谷山村一宇	H12.1.7	A.P.+ 297.907	14.6	右	225.6	H27.3.14
吉野川	池田	ロガー 自記 テレメーター	水位 流量	水圧式 (水晶)	徳島県三好市井川町大字西井川字佃	H8.4.18 S30.5.12 S43.7.26	A.P.+ 73.360	74.8	"	2,073.8	H21.3.13
"	江口	自記 テレメーター ロガー	水位	"	徳島県三好郡東みよし町江口	S32.4 H8.3.27 H12.1.29	A.P.+ 56.513	61.9	"	2,049.0	H21.3
"	岩津	ロガー 自記 テレメーター	水位 流量	"	徳島県阿波市岩津	S36.4.11 S36.4.11 S43.7.26	A.P.+ 29.231	40.2	左	2,810.0	水研62:H3.3.26 水圧式:H12.1.31
"	中央橋	ロガー 自記 テレメーター	"	"	徳島県阿波市柿原	S30.1.1 S30.1.1 S44.6.4	A.P.+ 12.308	25.3	"	3,044.0	水研62:H5.3.11 水圧式:H26.3.20
"	高瀬橋	ロガー テレメーター	水位	水圧式	徳島県西郡石井町藍畑字東覚円	S23.2.1 S49.11.28	A.P.+ 4.567	17.8	右	3,214.8	H26.3.20
旧吉野川	旧吉野川	ロガー 自記 テレメーター	水位 流量	水圧式 (水晶)	徳島県板野郡上板町第十新田	S37.4.1 S37.4.17 S51.3.28	A.P.+ 3.424	24.3	"	-	H25.3.23
吉野川	中藪	ロガー テレメーター	"	"	徳島県美馬市美馬町字大宮西	S44.4.26 S44.6.4	A.P.+ 45.748	54.3	左	2,282.0	H20.12.15
"	瀬詰	ロガー テレメーター	"	"	徳島県阿波市前島	H8.4.18 S50.8.23	A.P.+ 21.966	35.8	"	2,896.1	H22.2.24
"	沖ノ洲	ロガー	水位	"	徳島県徳島市金沢1丁目	S26.8.10	A.P.- 1.133	1.8	右	3,423.0	H29.6.30
"	第十	ロガー テレメーター	"	"	徳島県板野郡上板町第十新田	S45.9.1 S45.4.23	A.P.+ 3.588	15.3	左	3,230.8	H4.10.16
旧吉野川	大寺橋	ロガー テレメーター	水位 流量	"	徳島県板野郡板野町川端関の本47	S43.4.1 S52.3.18	A.P.+ 0.914	18.6	"	-	-
"	銅川	ロガー テレメーター	水位	"	徳島県板野郡松茂町広島字丸須	H17.11.9 H18.3.6	A.P.+ 0	5.3	右	-	-
"	大正橋	テレメーター	水位 流量	超音波式	徳島県鳴門市大森町市場	H15.7.23	A.P.- 0.824	12.5		-	-
"	牛屋島大橋	テレメーター	水位	"	徳島県鳴門市大森町牛屋島	H15.7.23	A.P.+ 0	7.5		-	H13
今切川	北島心神橋	テレメーター	"	"	徳島県徳島市応神町有天	H15.7.23	A.P.+ 0	10.3		-	H13
吉野川	第十堰	ロガー	"	水圧式	徳島県板野郡上板町第十	S61.8.11	A.P.+ 1.603	14.2	左	3,230.8	H12.1.31
"	西条大橋	ロガー テレメーター	水位 流量	水圧式 (水晶)	徳島県阿波市西条	H16.3.6 H7.6.22	A.P.+ 4.197	21.3	右	3,044.0	H16.3.6
宮川内谷川	矢武大橋	ロガー	"	水圧式	徳島県板野郡板野町矢武字境原	H10.10.1	A.P.+ 1.969	合流点より 3.1	左	-	H26.3.18
吉野川	第十堰下流	ロガー	水位	"	徳島県板野郡藍住町東中富	H8.4.22	A.P.- 0.403	12.6	"	3,230.8	H8.4.18

水位観測所の点検・整備: 年12回

別紙-4 流量観測一覧表(1/1)

流量観測所一覧表

河川名	観測所名	種別	水位流量 の別	種別	器械の 名称	観測所位置	観測開始 年月日	零点高 (m)	河口より (km)	左右岸 の別	流域面積 (km ²)
吉野川	池田	ロガー	水位 流量	高水 低水	水圧式 (水晶)	徳島県三好市井川町大字西井川字佃	H8.4.18	A.P.+ 73.360	74.8	右	2,073.8
		自記					S30.5.12				
		テレメーター					S43.7.26				
"	岩津	ロガー	"	低水	"	徳島県阿波市岩津	S36.4.11	A.P.+ 29.231	40.2	左	2,810.0
		自記					S36.4.11				
		テレメーター					S43.7.26				
"	中央橋	ロガー	"	高水 低水	"	徳島県阿波市柿原	S30.1.1	A.P.+ 12.308	25.3	"	3,044.0
		自記					S30.1.1				
		テレメーター					S44.6.4				
旧吉野川	旧吉野川	ロガー	"	低水	"	徳島県板野郡上板町第十新田	S37.4.1	A.P.+ 3.424	24.3	右	-
		自記					S37.4.17				
		テレメーター					S51.3.28				
"	大寺橋	ロガー	"	高水	"	徳島県板野郡板野町川端字関の本47	S43.4.1	A.P.+ 0.914	18.6	左	-
		自記					S52.3.18				
		テレメーター					S44.4.26				
吉野川	中藪	ロガー	"	高水 低水	"	徳島県美馬市美馬町字大宮西	S44.6.4	A.P.+ 45.748	54.3	左	2,282.0
		自記					S44.6.4				
		テレメーター					H8.4.18				
"	瀬詰	ロガー	"	"	"	徳島県阿波市前島	S50.8.23	A.P.+ 21.966	35.8	"	2,896.1
		自記					H16.3.6				
		テレメーター					H7.6.22				
"	西条大橋	ロガー	"	"	"	徳島県阿波市西条	S50.8.23	A.P.+ 4.197	21.3	右	3,044.0
		自記					H16.3.6				
		テレメーター					H7.6.22				
宮川内谷川	矢武大橋	ロガー	"	"	水圧式	徳島県板野郡板野町矢武字境原	H10.10.1	A.P.+ 1.969	合流点より 3.1	左	-
今切川	三ツ合橋	量水標	流量	高水	量水標	徳島県板野郡北島町中村	不明	A.P.+ 1.538	11.6		-
旧吉野川	馬詰橋	量水標	"	"	量水標	徳島県鳴門市大森町東馬詰	不明	A.P.+ 1.502	8.6		-
"	大正橋	テレメーター	水位 流量	"	超音波式	徳島県鳴門市大森町市場	H15.7.23	A.P.- 0.824	12.5		-

低水年間標準回数24回

地 下 水 位 観 測 計 画

番号	水系名	観測所名	観測所記号	観測所の種類	地下水質の併設観測	観測方法の区分			保守点検及び補修等の概要				所管事務所	備 考
						電子ロガー	自記録	型式	自動監視	定期点検	総合点検	補修予定		
1	吉野川	カモ加茂	508071288801015	3種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
2	吉野川	タチノ太刀野	508071288801025	3種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
3	吉野川	カモバヤ加茂野宮	508071288801030	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
4	吉野川	ミズキヤハダ美馬八幡	508071288801035	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
5	吉野川	スケマツ助松	508071288801050	3種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
6	吉野川	アナブキシマ穴吹三島	508071288801055	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
7	吉野川	ミナモト南整理	508071288801060	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
8	吉野川	カンガワ寒川	508071288801065	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
9	吉野川	スミトモ住友	508071288801105	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
10	吉野川	フシコジウ西二条	508071288801110	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
11	吉野川	カサエ笠井	508071288801115	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
12	吉野川	イノオ飯尾	508071288801125	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
13	吉野川	ヨシノ吉野	508071288801130	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
14	吉野川	カモジマ鴨島	508071288801135	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
15	吉野川	ヒガシスガ東須賀	508071288801140	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
16	吉野川	ウシジマ牛島(B)	508071288801145	3種		○	—	フロート式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
17	吉野川	セベ瀬部	508071288801150	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
18	吉野川	カワニシ川西	508071288801165	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
19	吉野川	ニシカケニ西覚円	508071288801170	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
20	吉野川	アイハタシヨウ藍畑小	508071288801195	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
21	吉野川	サトウジカニシ佐藤塚西	508071288801200	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
22	吉野川	コナフ国府	508071288801255	3種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
23	吉野川	シモシウ下ノ庄	508071288801220	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
24	吉野川	ハンジマ橋島	508071288801315	3種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
25	吉野川	カバジマ祖母ヶ島	508071288801300	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
26	吉野川	ナカミ中富	508071288801345	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
27	吉野川	ナカスジ中筋	508071288801320	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・記録器の点検	年1回観測機器・記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	

地 下 水 位 観 測 計 画

番号	水系名	観測所名	観測所記号	観測所の種別	地下水質の併設観測	観測方法の区分			保守点検及び補修等の概要				所管事務所	備 考
						電子ロガー	自記録	型式	自動監視	定期点検	総合点検	補修予定		
28	吉野川	ヒダシクワダ 東黒田	508071288801330	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
29	吉野川	ナダ 名田	508071288801360	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
30	吉野川	ニイ 新居須	508071288801365	3種		○	—	フロート式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
31	吉野川	フドウ キタ 不動北	508071288801370	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
32	吉野川	ショウズイ 勝瑞	508071288801380	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
33	吉野川	ノガミ 野上	508071288801390	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
34	吉野川	ヨシナリ 吉成	508071288801395	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
35	吉野川	ナガギン 長岸	508071288801425	1種	○	○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
36	吉野川	スミヨシ 住吉	508071288801440	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	
37	吉野川	ミヤジマ 宮島	508071288801445	3種		○	—	水圧式	—	年11回観測機器・ 記録器の点検	年1回観測機器・ 記録器の点検	—	徳島河川国道事務所	

水質觀測所一覽

[illegible][illegible]

別紙-7 漏水調査重点箇所一覧表(1/2)

漏水調査重点箇所一覧表

平成30年4月時点

河川名	重要箇所名	重要状況	延長 (m)	備 考
吉野川	徳島第2箇所	漏水	4,331m	右岸 9/8+13 ~ 14/4
吉野川	石井箇所	漏水	694m	右岸 14/8+130 ~ 15/4
吉野川	鴨島箇所	漏水	1,768m	右岸 22/4+32 ~ 24/2
吉野川	鴨島箇所	漏水	100m	右岸 26/4+60 ~ 26/6+30
吉野川	川島箇所	漏水	173m	右岸 28/8-48 ~ 28/8+125
吉野川	川島箇所	漏水	1,995m	右岸 29/2+128 ~ 31/0+60
吉野川	川島箇所	漏水	174m	右岸 29/8-89 ~ 29/8+85
吉野川	川島箇所	漏水	1,941m	右岸 31/0+60 ~ 32/8
吉野川	瀬詰箇所	漏水	294m	右岸 32/8 ~ 33/0+113
吉野川	瀬詰箇所	漏水	182m	右岸 33/2+86 ~ 33/4+122
吉野川	瀬詰箇所	漏水	2,740m	右岸 34/2 ~ 36/8+26
吉野川	川田箇所	漏水	3,352m	右岸 36/8+26 ~ 40/0
吉野川	応神箇所	漏水	379m	左岸 9/0+105 ~ 9/4
吉野川	藍住箇所	漏水	3,859m	左岸 9/4 ~ 13/2
吉野川	上板箇所	漏水	1,692m	左岸 14/0+146 ~ 15/8+34
吉野川	吉野箇所	漏水	150m	左岸 20/8-50 ~ 20/8+100
吉野川	市場箇所	漏水	1,199m	左岸 28/6+88 ~ 29/8+87
吉野川	西原箇所	漏水	1,411m	左岸 35/6+167 ~ 37/0+116
吉野川	川久保箇所	漏水	1,245m	左岸 37/2+98 ~ 38/6
吉野川	西林箇所	漏水	865m	左岸 38/6 ~ 39/2+199

別紙-7 漏水調査重点箇所一覧表(2/2)

河川名	重要箇所名	重要状況	延長(m)	備 考
吉野川	西林箇所	漏水	79m	左岸 39/2+199 ~ 39/4+83
吉野川	穴吹箇所	漏水	405m	右岸 42/6+19 ~ 43/0
吉野川	小島箇所	漏水	1,527m	右岸 48/0 ~ 49/4
吉野川	脇町第二箇所	漏水	1,785m	左岸 44/8+111 ~ 46/4+59
旧吉野川	高潮左岸箇所	漏水	91m	左岸 1/4 ~ 1/4+91
今切川	今切川右岸箇所	漏水	532	右岸 1/6+132 ~ 2/2+69
今切川	今切川右岸箇所	漏水	201m	右岸 3/8+105~4/0+115
今切川	今切川右岸箇所	漏水	14m	右岸 5/2+118~5/2+132
今切川	今切川左岸箇所	漏水	599m	左岸 2/2+205 ~ 2/8+171

出水時等点検班編制表

河川名	班 名	右 岸		左 岸	
		下流端	上流端	下流端	上流端
吉野川	鴨島第1班	河口	名田橋	-	-
	鴨島第2班	名田橋	阿波中央橋	-	-
	鴨島第3班	阿波中央橋	籽杭 40/8	-	-
	上板第1班	-	-	河口	名田橋
	上板第2班	-	-	名田橋	阿波中央橋
	上板第3班	-	-	阿波中央橋	籽杭 40/8
	貞光第1班	籽杭 40/8	美馬橋	-	-
	貞光第2班	美馬橋	籽杭 77/6+90	-	-
	美馬第1班	-	-	籽杭 40/8	美馬橋
今切川	美馬第2班	-	-	美馬橋	籽杭 77/6+90
	旧吉第3班	河口	三ッ合橋 11/1	-	-
	旧吉第4班	-	-	河口	三ッ合橋 11/1
	旧吉第1班	河口	三ッ合橋 11/1	-	-
旧吉野川	旧吉第2班	-	-	河口	三ッ合橋 11/1
	旧吉第5班	三ッ合橋 11/1	第十樋門 24/0	-	-
	旧吉第6班	-	-	三ッ合橋 11/1	第十樋門 24/0
吉野川・ 旧吉野川 ・今切川	河川巡視	全川		全川	

地震時等点検班編制表

同班の他班(A or B)と出会うまで行う。

河川名	岸	班 名	点検開始地点	点検終了地点(目安として)	担当出張所名
吉野川	右岸	鴨島第1班A	河 口	吉野川橋	吉野川 鴨島出張所
		鴨島第1班B	名田橋	吉野川橋	
		鴨島第2班A	名田橋	六条大橋	
		鴨島第2班B	阿波中央橋	六条大橋	
		鴨島第3班A	阿波中央橋	阿波麻植大橋	
		鴨島第3班B	40k/8	阿波麻植大橋	
	左岸	上板第1班A	河 口	吉野川橋	吉野川 上板出張所
		上板第1班B	名田橋	吉野川橋	
		上板第2班A	名田橋	六条大橋	
		上板第2班B	阿波中央橋	六条大橋	
		上板第3班A	阿波中央橋	阿波麻植大橋	
		上板第3班B	40k/8	阿波麻植大橋	
	右岸	貞光第1班A	40k/8	小島橋	吉野川 貞光出張所
		貞光第1班B	美馬橋	小島橋	
		貞光第2班A	美馬橋	京免樋門(三加茂中学)	
		貞光第2班B	77k/6+90	京免樋門(三加茂中学)	
	左岸	美馬第1班A	40k/8	小島橋	吉野川 美馬出張所
		美馬第1班B	美馬橋	小島橋	
		美馬第2班A	美馬橋	孫十郎谷樋門 (県道鳴池線・堤防交差地点)	
		美馬第2班B	77k/6+90	孫十郎谷樋門 (県道鳴池線・堤防交差地点)	
旧吉野川	右岸	旧吉第1班A	河 口	新広島橋	旧吉野川 出張所
		旧吉第1班B	三ツ合橋	新広島橋	
	左岸	旧吉第2班A	河 口	新広島橋	
		旧吉第2班B	三ツ合橋	新広島橋	
今切川	右岸	旧吉第3班A	河 口	新加賀須野橋	
		旧吉第3班B	三ツ合橋	新加賀須野橋	
	左岸	旧吉第4班A	河 口	新加賀須野橋	
		旧吉第4班B	三ツ合橋	新加賀須野橋	
旧吉野川	右岸	旧吉第5班A	三ツ合橋	川端橋	旧吉野川 出張所
		旧吉第5班B	第十樋門	川端橋	
	左岸	旧吉第6班A	三ツ合橋	川端橋	
		旧吉第6班B	第十樋門	川端橋	
吉野川・ 旧吉野川 ・今切川	両岸	河川巡視	全川		全出張所

吉野川 主要占用道路一覧表

河川名	占用道路 路線名	場所	占用者	距離標
吉野川	臨港道路 沖洲(外)線	法尻	徳島県	右岸0/4+25m~0/0m付近
吉野川	一般県道 沖洲埠頭線	法尻	徳島県	右岸0/4+25m~3/2+40m付近
吉野川	主要地方道 徳島吉野線	堤天、小段	徳島県	右岸3/2+40m~6/0m付近、右岸8/2-150m~14/4-50m付近、左岸17/8-25m~19/2+5m付近
吉野川	徳島市道 上助任町本線	法尻	徳島市	右岸4/8+15m~5/0-45m付近
吉野川	徳島市道 吉野川右岸小段堤防上線	小段	徳島市	右岸5/8-20m~6/0m付近
吉野川	徳島市道 東西黒田堤上線	小段	徳島市	右岸11/6+194.7m~13/0+89m付近
吉野川	徳島市道 新田堤上線	小段	徳島市	右岸13/2-60m~13/6+90m付近
吉野川	徳島市道 出口堤上線	小段	徳島市	右岸13/6+60m~14/2+75m付近
吉野川	一般県道 板野川島線	堤天、小段	徳島県	右岸17/8+60m~21/4+27m付近、右岸25/8+30m~28/0m付近
吉野川	吉野川市道 千田須賀東北須賀西線	小段	吉野川市	右岸24/6m~25/2+100m付近
吉野川	吉野川市道 北須賀7号線	小段	吉野川市	右岸25/8-60m~25/4-60m付近
吉野川	一般県道切幡川島線	堤天、小段	徳島県	右岸28/6+115m~28/0m付近
吉野川	国道192号	小段	四国地方整備局	右岸29/0-200m~31/6+30m付近、右岸39/2+25m~40/0+50m
吉野川	吉野川市道 三島180号	小段、法尻	吉野川市	右岸34/8+70m~33/4+130m付近
吉野川	吉野川市道 諏訪8号線	小段、法尻	吉野川市	右岸36/0m~34/8+70m付近
吉野川	吉野川市道 山川大塚・三島線	堤天、小段	吉野川市	右岸36/2-100m~36/6+130m付近
吉野川	一般県道 船戸山川線	堤天	徳島県	右岸37/0-152m~39/2+28m付近
吉野川	吉野川市道 北島東西線(市道川田409号線)	小段、法尻	吉野川市	右岸37/2+60m~37/4+106m
吉野川	吉野川市道 吉野川右岸小段線	小段	吉野川市	右岸37/4+100m~38/2+180m付近
吉野川	徳島市道 小松海水浴場線	法尻	徳島市	左岸0/0~2/4+157m付近
吉野川	県道 古川長原港線	堤天	徳島県	左岸2/4+65m~4/6+30m付近
吉野川	徳島市道 鶴島・北原堤線	法尻	徳島市	左岸2/4+90m~4/4+12m付近
吉野川	県道 土成徳島線	堤天	徳島県	左岸18/0-15m~4/6+40m付近
吉野川	徳島市道 戎子野西2号線	小段	徳島市	左岸4/8~5/2-20m付近
吉野川	徳島市道 古川・中原堤防線	小段	徳島市	左岸5/2-124m~6/2+140m付近
吉野川	藍住町道 名田新居須線及び藍住町道 徳命中富線	小段	藍住町	左岸9/4+35m~付近
吉野川	藍住町道 名田祖母ヶ島線	小段、法尻	藍住町	左岸10/8-30m~14/2-60m付近
吉野川	上板町道 491号線	小段	上板町	左岸15/6~15/8-10m付近
吉野川	上板町道 521号線	法尻	上板町	左岸15/8+40m~16/0+95m付近
吉野川	上板町道 37号線	小段	上板町	左岸16/0+124m~16/2+180m付近

吉野川 主要占用道路一覧表

河川名	占用道路 路線名	場所	占用者	距離標
吉野川	上板町道 137号線	法尻	上板町	左岸 17/6+60m～17/8+80m付近
吉野川	上板町道 172号線	法尻	上板町	左岸 18/2～18/4-20m付近
吉野川	上板町道 473号線、191号線	小段	上板町	左岸 19/2-20m～20/2+14m付近
吉野川	阿波市道 東須賀堤上線(※東須賀4号線)	法尻	阿波市	左岸 20/6-52m～20/8-40m付近
吉野川	阿波市道 東須賀2号線	法尻	阿波市	左岸 20/8-35m～21/0+28m付近
吉野川	阿波市道 二条北須賀線	堤天、小段	阿波市	左岸 21/2-20m～24/8+20m付近
吉野川	阿波市道 二条北須賀線(支線)	小段	阿波市	左岸 21/2+30m～21/8-35m付近
吉野川	阿波市道 二条東線	堤天	阿波市	左岸 24/8～25/0+90m付近
吉野川	阿波市道 自転車歩行者道	小段	阿波市	左岸 25/2+80m～24/8+30m付近
吉野川	阿波市道 南二条南北線	堤天	阿波市	左岸 25/0-50m～25/4-20m付近
吉野川	阿波市道 高畑南線	小段	阿波市	左岸 25/2+90m～25/6+80m付近
吉野川	県道 香美吉野線	堤天、小段	阿波市	左岸 25/4～32/0+70m付近
吉野川	阿波市道 旭南線	小段	阿波市	左岸 25/6+40m～26/0+110m付近
吉野川	阿波市道 東島西線	法尻	阿波市	左岸 27/6+120m～27/8m付近
吉野川	阿波市道 西原阿波町界線	堤天、小段	阿波市	左岸 32/0-40m～32/6-20m付近
吉野川	阿波市道 西原日開谷橋線	小段	阿波市	左岸 32/6+50m～32/6+150m付近
吉野川	阿波市道 谷島・南谷島2号線	法尻	阿波市	左岸 33/4+166m～34/2-25m付近
吉野川	阿波市道 南谷島線	法尻	阿波市	左岸 34/2-25m～34/2+30m付近
吉野川	美馬市道 六吹266号線	堤天	美馬市	右岸 42/4+50m～42/8+20m付近
吉野川	美馬市道 六吹213号線(旧三島178号線)	堤天	美馬市	右岸 43/6-3m～45/2+90m付近
吉野川	美馬市道 六吹212号線(旧三島177号線)	法尻	美馬市	右岸 43/8-37m～45/2-20m付近
吉野川	美馬市道 六吹149号線(旧三島112号線)	堤天	美馬市	右岸 45/4-15m～47/2-15m付近
吉野川	美馬市道 六吹151号線(旧三島114号線)	法尻	美馬市	右岸 45/2-5m～46/8+6m付近
吉野川	美馬市道 六吹150号線(旧三島113号線)	法尻	美馬市	右岸 46/8+15m～47/0+77m付近
吉野川	美馬市道 六吹70号線	法尻	美馬市	右岸 48/0-35m～48/4-35m付近
吉野川	美馬市道 六吹59号線	法尻	美馬市	右岸 48/4-27m～48/8-56.8m付近
吉野川	その他町道スポンサー線	小段	東みよし町	右岸 62/4-150～64/8+185付近
吉野川	一般国道32号	堤天	四国地方整備局	右岸 76/8-45m～77/6+90m付近
吉野川	美馬市道 脇町394号線	法尻	美馬市	左岸 42/2-17m～42/6-7m付近
吉野川	美馬市道 脇町338号線	法尻	美馬市	左岸 42/6-7m～43/0m付近

吉野川 主要占用道路一覧表

河川名	占用道路 路線名	場所	占用者	距離標
吉野川	美馬市道 脇町334号線	堤天、法尻	美馬市	左岸42/8-28m～43/2+118m付近
吉野川	美馬市道 脇町317号線	法尻	美馬市	左岸43/2+118m～44/4+140m付近
吉野川	主要地方道鳴門池田線	小段	徳島県	左岸44/6+40m～45/0+52m付近
吉野川	美馬市道 脇町446号線	堤天、法尻	美馬市	左岸48/8-90m～48/8-106m付近
吉野川	美馬市道 脇町102号線	法尻	美馬市	左岸50/4+71m～50/6+40m付近
吉野川	美馬市道 美馬255号線(旧町道和進宗重線)	堤天、法尻	美馬市	左岸52/6-42.5m～54/2+118m付近
吉野川	美馬市道 美馬17号線(旧町道西村1号線)	堤天	美馬市	左岸58/6+40m～59/0+53m付近
吉野川	一般市道 一丁橋線(第三種第五級)	法尻	三好市	左岸59/2-39m～60/2+7m付近
吉野川	三好市道 芝生堤防線(第三種第五級)	法尻	三好市	左岸61/6+59.5m～62/2+14.0m付近
吉野川	その他町道スポーツセンター線	小段	東みよし町	左岸62/4-150～64/8+185m付近
吉野川	三好市道 太刀野堤防線	法尻	三好市	左岸63/6+77m～64/6+63m付近
吉野川	主要地方道 鳴門池田線	堤天	徳島県	左岸65/6+53m～66/2+120m付近

旧吉野川・今切川 主要占用道路一覧表

河川名	占用道路 路線名	場所	占用者	距離標
旧吉野川	一般県道鳴門徳島自転車道	堤天	徳島県	右岸0/0+100m～1k/4+190m付近
旧吉野川	松茂町道広島13号線	堤天	松茂町	右岸4/8+100m～5/0+100m付近
旧吉野川	松茂町道長岸29号線	法尻	松茂町	右岸5/8～7/0付近
旧吉野川	松茂町道松茂9号線	堤天(旧堤)	松茂町	右岸5/8+62m～7/0付近
旧吉野川	鳴門市道東馬詰新土堤線	堤天(旧堤)	鳴門市	右岸7/4～7/6+100m付近
旧吉野川	北島町道10号線	堤天(旧堤)	北島町	右岸9/4～10/8付近
旧吉野川	南川岸地区農道	堤天(旧堤)	板野町	右岸17/4+150m付近
旧吉野川	藍住町道直道6号線	堤天	藍住町	右岸20/4+34m～20/8-101m付近
旧吉野川	上板町道20号線	堤天	上板町	右岸22/8+10m～24/0+130m付近
旧吉野川	一般県道鳴門徳島自転車道	堤天	徳島県	左岸1/0+100m～1/4+100m付近
旧吉野川	一般県道鳴門徳島自転車道	堤天	徳島県	左岸1/6+130m～2/2+100m付近
旧吉野川	臨港道路(栗津地区)	堤天	徳島県	左岸1/6+130m～2/2+100m付近
旧吉野川	県道津慈広島線(北川向地区)	法尻	徳島県	左岸5/0+50m～5/6+50m付近
旧吉野川	鳴門市道中須水門西線	低水(旧堤)	鳴門市	左岸7/0+65～7/2+100付近
旧吉野川	鳴門市道牛屋島中須線	低水(旧堤)	鳴門市	左岸7/4-15～7/6+140付近
旧吉野川	鳴門市道牛屋島中須西線	低水(旧堤)	鳴門市	左岸7/5-70～7/8+110付近
旧吉野川	北島町道269号、121号線	法尻	北島町	左岸9/4+100～11/0+30付近
旧吉野川	藍住町道西向江2号線	堤天	藍住町	左岸20/4+15m～21/2-75m付近
旧吉野川	上板町道21号線	堤天	上板町	左岸22/8+20m～24/0+130m付近
今切川	一般県道鳴門徳島自転車道	堤天	徳島県	右岸0/8～4/4+40m付近
今切川	徳島市道米津中央線	堤天	徳島市	右岸2/2+190m付近
今切川	市道加賀須野・中島線及び市道中島・榎瀬線	堤天(旧堤)	徳島市	右岸5/8～8/0-40mm付近
今切川	主要地方道徳島環状線	堤天	徳島県	右岸8/8-8m～9/2+105mm付近
今切川	松茂町道長原62号線	堤天	松茂町	左岸1/2+116m付近
今切川	一般県道鳴門徳島自転車道	堤天	徳島県	左岸1/8～4/2+150m付近
今切川	県道鯛浜中村線	堤天	徳島県	左岸11/0～11/4付近

吉野川 堰一覧表

No.	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	設置年	備考
1	吉野川	第十堰	左岸 右岸	14k/2 14k/8	板野郡上板町佐藤塚地先 名西郡石井町藍畑地先	①本体:全長 左岸取りつけ～上堰右岸取りつけ 約1250.0m 分岐点～下堰右岸とりつけ 約550.0m 固定部 全長と同じ ②その他参考事項 魚道:第1魚道(左岸)、幅6.0m、階段式 第2魚道(左岸)、幅6.0m、階段式 第3魚道、幅3.0m、階段式 第3魚道、幅3.0m、階段式	宝暦2年	
2	吉野川	柿原堰	左岸 右岸	24k/0+100.0 24k/2+100.0	阿波市吉野町柿原地先 吉野川市鴨島町知恵島地先	①本体:全長 左岸取りつけ～上堰右岸取りつけ 863.31m 固定部 全長と同じ ②その他参考事項 魚道:左岸魚道、幅4.0m、階段式 中央魚道、幅4.0m、階段式 右岸魚道[3]、幅2.0m、階段式 右岸魚道[2]、幅2.0m、階段式 右岸魚道[1]、幅2.0m、階段式 右岸魚道、幅2.8m、階段式	昭和2年	

吉野川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
1	吉野川	沖洲樋門	右岸	1k/6km+130m	徳島市住吉地先	5.4m×6.495m×1 L=17.155m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1971	
2	吉野川	新町樋門	右岸	5km/0+50m	徳島市北田宮町地先	5.9m×6.7m×2 L=33.3m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1990	
3	吉野川	飯尾川第一樋門	右岸	8km/4+100m	徳島市不動東町地先	2.6m×2.6m×2 L=69.0m 4.0m×4.0m×1 L=69.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2001	
4	吉野川	角ノ瀬樋門	右岸	11km/2	徳島市国府町東黒田地先	7.0m×5.8m×3 L=41.9m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1988	
5	吉野川	角の瀬堤内樋門	右岸	11km/2	徳島市国府町東黒田地先	7.0m×5.8m×1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2008	
6	吉野川	角の瀬締切樋門	右岸	11km/2	徳島市国府町東黒田地先	4.0m×1.7m×1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2008	
7	吉野川	神宮入江川排水樋門	右岸	15km/0	名西郡石井町藍畑地先	5.5m×3.0m×1 L=67.3m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1974	
8	吉野川	神宮入江川堤内樋門	右岸	15km/0	名西郡石井町藍畑地先	5.5m×3.0m×1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1974	
9	吉野川	神宮入江川樋門	右岸	15km/0+25m	名西郡石井町藍畑地先	1.5m×2.0m×1 L=60.0m 2.0m×2.0m×2 L=60.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1956	
10	吉野川	飯尾川排水樋門	右岸	19km/0+70m	名西郡石井町西覚円地先	3.5m×3.0m×1 L=78.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
11	吉野川	飯尾川堤内樋門	右岸	19km/0+70m	名西郡石井町西覚円地先	3.5m×3.0m×1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1969	
12	吉野川	新飯尾川排水樋門	右岸	19km/0+85m	名西郡石井町西覚円地先	4.5m×3.0m×1 L=63.4m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1983	
13	吉野川	新飯尾川堤内樋門	右岸	19km/0+85m	名西郡石井町西覚円地先	4.5m×3.0m×1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1983	
14	吉野川	江川樋門	右岸	19km/6-60m	名西郡石井町西覚円地先	5.55m×3.1m×3 L=54.2m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1984	
15	吉野川	江川排水樋門	右岸	19km/6-60m	名西郡石井町西覚円地先	5.7m×3.1m×1 L=54.2m 5.7m×3.1m×1 L=87.804m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1974	

吉野川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
16	吉野川	江川堤内樋門	右岸	19km/6-60m	名西郡石井町西寛円地先	5.7m×3.1m×1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1974	
17	吉野川	川島樋門	右岸	28km/8+30m	吉野川市川島町川島地先	4.2m×3.64m×1 L=27.5m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1965	
18	吉野川	川島排水樋門	右岸	29km/0-120m	吉野川市川島町宮島地先	3.0m×4.0m×1 L=29.5m 4.0m×4.0m×1 L=29.5m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2009	
19	吉野川	学島樋門	右岸	30km/2	吉野川市川島町伊賀々志地先	3.6m×3.0m×1 L=45.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1966	
20	吉野川	学島排水樋門	右岸	30km/4	吉野川市川島町北中須地先	2.5m×3.0m×1 L=32.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1966	
21	吉野川	学島川排水樋門	右岸	30km/4+50m	吉野川市川島町北中須地先	3.0m×3.0m×1 L=59.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1978	
22	吉野川	ほたる川樋門	右岸	33km/0+80m	吉野川市山川町中須賀地先	6.5m×3.0m×6 L=34.01m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1976	
23	吉野川	ほたる川排水樋門	右岸	33km/0+80m	吉野川市山川町中須賀地先	2.5m×2.0m×1 L=48.00m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2013	
24	吉野川	宮島樋門	左岸	2km/4+22m	徳島市川内町鶴島地先	5.5m×6.5m×1 L=19.5m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1982	
25	吉野川	櫻瀬川樋門	左岸	3km/4+16m	徳島市川内町金岡地先	5.5m×6.65m×1 L=5.50m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1982	
26	吉野川	正法寺樋門	左岸	8km/4-60m	徳島市応神町東貞方地先	2.8m×3.2m×1 L=52.2m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1992	
27	吉野川	新正法寺樋門	左岸	9km/2-82m	徳島市応神町西貞方地先	8.05m×3.6m×2 L=47.6m 8.35m×3.6m×1 L=47.6m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	
28	吉野川	正法寺排水樋門	左岸	9km/2	徳島市応神町西貞方地先	3.0m×3.0m×1 L=42.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
29	吉野川	正法寺堤内樋門	左岸	9km/2	徳島市応神町西貞方地先	3.5m×3.5m×1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
30	吉野川	前川樋門	左岸	10km/6+59m	板野郡藍住町徳命名田地先	5.0m×3.2m×3 L=56.6m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1994	

吉野川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
31	吉野川	蛇池川排水樋門	左岸	21km/4-10m	阿波市吉野町西条大牛地先	5.25m × 3.6m × 2 L=75.7m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	
32	吉野川	蛇池川堤内樋門	左岸	21km/4-10m	阿波市吉野町北須賀地先	5.4m × 3.6m × 1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	
33	吉野川	柿原樋門	左岸	24km/4+50m	阿波市吉野町柿原谷地先	1.5m × 1.5m × 1 L=26.5m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1960	
34	吉野川	熊谷樋門	左岸	25km/2+95m	阿波市吉野町柿原二条地先	3.0m × 3.0m × 2 L=38.0m 3.7m × 3.0m × 1 L=38.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1980	
35	吉野川	熊谷排水樋門	左岸	25km/6+14.7m	阿波市吉野町柿原地先	5.2m × 3.0m × 1 L=69.1m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1979	
36	吉野川	熊谷堤内樋門	左岸	25km/6+14.7m	阿波市吉野町柿原地先	5.2m × 3.0m × 1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1979	
37	吉野川	指谷川排水樋門	左岸	26km/4-134m	阿波市土成町郡地先	5.0m × 2.6m × 2 L=39.9m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	
38	吉野川	指谷川堤内樋門	左岸	26km/4-134m	阿波市市場町地先	5.0m × 2.6m × 1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1986	
39	吉野川	指谷川バイパスゲート	左岸	26km/4-134m	阿波市市場町地先	1.0m × 1.0m × 1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1986	
40	吉野川	指谷川樋門	左岸	26km/4-134m	阿波市土成町郡地先	3.0m × 2.5m × 2 L=35.2m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	
41	吉野川	伊月樋門	左岸	26km/6+70m	阿波市市場町伊月地先	6.0m × 3.5m × 2 L=40.478m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1974	
42	吉野川	柿の木谷川排水樋門	左岸	27km/0-50m	阿波市市場町伊月地先	2.0m × 2.5m × 1 L=56.4m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
43	吉野川	柿の木谷川堤内樋門	左岸	27km/0-50m	阿波市市場町地先	4.2m × 3.3m × 1	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
44	吉野川	鶯谷川樋門	左岸	28km/6	阿波市市場町大野島地先	5.7m × 3.2m × 3 L=45.35m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2002	
45	吉野川	市場谷樋門	左岸	30km/8-23m	阿波市市場町香美地先	5.0m × 3.5m × 1 L=29.32m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1970	

吉野川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
46	吉野川	本村樋門	左岸	35km/6+183m	阿波市阿波町元町地先	2.5m×2.5m×1 L=48.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1978	
47	吉野川	西原樋門	左岸	36km/6+10m	阿波市阿波町西原地先	1.0m×1.0m×1 L=27.1m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1979	
48	吉野川	川久保樋門	左岸	37km/4-41m	阿波市阿波町川久保地先	2.0m×2.5m×2 L=28.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1965	
49	吉野川	五明谷樋門	左岸	38km/6-10m	阿波市阿波町南川原地先	3.0m×3.0m×4 L=35.3m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1967	
50	吉野川	西林樋門	左岸	40km/4+50m	阿波市阿波町乙岩津地先	0.9m×1.2m×1 L=42.85m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1979	
51	吉野川	切戸樋門	左岸	40km/8-70m	阿波市阿波町乙岩津地先	3.8m×2.5m×1 L=33.34m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1999	
52	吉野川	穴吹第三樋門	右岸	42km/4+60m	美馬市穴吹町穴吹地先	2.25m×2.0m×1 L=48.633m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	
53	吉野川	穴吹第二樋門	右岸	43km/0-125m	美馬市穴吹町市ノ須賀地先	1.5m×2.0m×1 L=24.379m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1977	
54	吉野川	穴吹第一樋門	右岸	43km/0	美馬市穴吹町岩手地先	1.5m×2.0m×1 L=45.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1977	
55	吉野川	明連川樋門	右岸	43km/8-22m	美馬市穴吹町明連地先	5.5m×4.0m×4 L=35.155m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1975	
56	吉野川	佐古谷樋門	右岸	47km/8+70m	美馬市穴吹町三島地先	1.5m×1.5m×1 L=16.17m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1972	
57	吉野川	神田谷樋門	右岸	48km/0-40m	美馬市穴吹町三島地先	4.0m×2.5m×1 L=46.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1969	
58	吉野川	堀の谷樋門	右岸	48km/0+90m	美馬市穴吹町三島地先	3.0m×2.0m×1 L=42.87m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1969	
59	吉野川	一の谷樋門	右岸	48km/4-40m	美馬市穴吹町三島地先	3.0m×3.0m×2 L=43.43m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
60	吉野川	不定谷樋門	右岸	49km/0+120m	美馬市穴吹町三島地先	3.0m×3.0m×1 L=29.6m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	

吉野川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
61	吉野川	西分樋門	右岸	49km/2+160m	美馬市穴吹町三島地先	2.0m×2.5m×1 L=21.42m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1969	
62	吉野川	太田第一樋門	右岸	51km/0+50m	美馬郡つるぎ町太田東地先	1.0m×1.0m×1 L=23.9m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1978	
63	吉野川	太田第二樋門	右岸	51km/0+92m	美馬郡つるぎ町太田東地先	2.5m×2.5m×1 L=23.086m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1978	
64	吉野川	太田第三樋門	右岸	51km/2+12m	美馬郡つるぎ町太田東地先	1.0m×1.0m×1 L=39.99m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1979	
65	吉野川	太田第四樋門	右岸	51km/2+130m	美馬郡つるぎ町太田地先	2.75m×2.5m×1 L=38.1m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1979	
66	吉野川	太田第五樋門	右岸	52km/0+16.3m	美馬郡つるぎ町太田地先	4.0m×3.0m×1 L=36.275m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1975	
67	吉野川	馬出第二樋門	右岸	53km/8+140m	美馬郡つるぎ町太須賀地先	2.5m×2.0m×1 L=44.45m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
68	吉野川	馬出第一樋門	右岸	54km/2+40m	美馬郡つるぎ町馬出地先	3.8m×3.8m×1 L=36.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1968	
69	吉野川	角の浦樋門	右岸	63km/8-10m	三好郡東みよし町中庄地先	2.0m×2.0m×1 L=33.12m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2000	
70	吉野川	末石樋門	右岸	64km/2+120m	三好郡東みよし町西庄地先	2.0m×1.8m×1 L=35.4m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2000	
71	吉野川	京免樋門	右岸	64km/8+30m	三好郡東みよし町西庄地先	2.0m×2.6m×1 L=35.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2000	
72	吉野川	書院谷樋門	右岸	77km/6+73.8m	三好市池田町シマ地先	2.0m×2.0m×1 L=26.0m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1980	
73	吉野川	土井谷樋門	左岸	42km/2	美馬市脇町地先	6.3m×2.8m×2 L=41.95m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1988	
74	吉野川	脇町第三樋門	左岸	43km/6+90m	美馬市脇町猪尻地先	2.0m×2.0m×1 L=31.855m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	
75	吉野川	脇町第四樋門	左岸	44km/8	美馬市脇町猪尻地先	1.0m×1.0m×1 L=23.966m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1981	

吉野川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
76	吉野川	城の谷樋門	左岸	45km/0+50m	美馬市脇町脇町地先	3.0m×3.0m×2 L=39.382m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1972	
77	吉野川	新町谷樋門	左岸	45km/6+124m	美馬市脇町新町地先	5.25m×3.5m×2 L=27.554m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1972	
78	吉野川	ふくろ谷樋門	左岸	46km/4+117m	美馬市脇町助松	2.0m×2.5m×1 L=30.126m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1972	
79	吉野川	清谷樋門	左岸	47km/0-7m	美馬市脇町助松地先	7.0m×3.5m×1 L=25.1m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1970	
80	吉野川	大桶樋門	左岸	47km/8+125m	美馬市脇町岩倉地先	2.0m×2.0m×1 L=31.2m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1970	
81	吉野川	別所樋門	左岸	48km/8+96m	美馬市脇町別所地先	2.0m×2.0m×1 L=21.953m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1969	
82	吉野川	吉田谷樋門	左岸	50km/6+150m	美馬市貞光町小山北地先	5.0m×4.0m×2 L=34.650m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1983	
83	吉野川	郡里樋門	左岸	53km/2-100m	美馬市美馬町郡里地先	3.0m×2.5m×1 L=25.26m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1975	
84	吉野川	喜来樋門	左岸	54km/0+188m	美馬市美馬町大宮西地先	3.0m×3.0m×1 L=26.196m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1969	
85	吉野川	露の谷樋門	左岸	56km/2+160m	美馬市美馬町長畑地先	4.15m×3.55m×1 L=27.8m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2002	
86	吉野川	黒谷川樋門	左岸	57km/0+147.6m	美馬市美馬町谷口地先	4.75m×2.4m×2 L=39.2m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1999	
87	吉野川	中島川樋門	左岸	57km/4	美馬市美馬町中島地先	5.0m×3.0m×3 L=48.7m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2005	
88	吉野川	芝生中島川樋門	左岸	59km/0+100	三好市三野町清水地先	5.0m×3.8m×3 L=38.8m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2009	
89	吉野川	滝谷川樋門	左岸	60km/8-60m	三好市三野町芝生地先	5.6m×3.5m×2 L=38.6m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2007	
90	吉野川	杉の宮樋門	左岸	61km/4	三好市三野町芝生地先	1.0m×1.0m×1 L=37.2m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	2004	

吉野川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数	専門技術者点検	設置年	備考
91	吉野川	浪打樋門	左岸	61km/6+40m	三好市三野町芝生地先	1.0m×1.0m×1 L=31.48m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回	1回/年	2004	
92	吉野川	馬場谷川樋門	左岸	61km/8+70m	三好市三野町芝生地先	3.2m×1.8m×1 L=23.4m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回	1回/年	2004	
93	吉野川	大イデ川樋門	左岸	63km/0+100m	三好市三野町太刀野地先	2.0m×4.0m×1 L=34.7m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回	1回/年	2001	
94	吉野川	馬谷川樋門	左岸	63km/6+57m	三好市三野町太刀野地先	2.5m×2.6m×1 L=36.7m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回	1回/年	2000	
95	吉野川	堂の谷川樋門	左岸	64km/0+73m	三好市三野町太刀野地先	2.5m×2.5m×1 L=34.64m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回	1回/年	2000	
96	吉野川	孫十郎谷樋門	左岸	64km/8	三好市三野町太刀野地先	1.75m×1.75m×1 L=35.82m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回	1回/年	1995	

旧吉野川・今切川 樋門一覧表

番号	河川名	施設名称	位置	距離標	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
97	吉野川	第十樋門	左岸	15km/4+150	板野郡上板町第十新田地先	5.5m × 5.8m × 6	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1978	
98	吉野川	長岸樋門	左岸	6km/2+142	板野郡松茂町長岸字上ノ越地先	1.0m × 1.7m × 1 L=20.85m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1987	
99	吉野川	馬詰樋門	左岸	8km/8+20	鳴門市大麻町中馬詰戒免地先	2.75m × 2.5m × 1 L=14.4m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1992	
100	吉野川	緞治屋川樋門	左岸	15km/2+16	鳴門市大麻町板東西カールカ工地先	3.7m × 1.8m × 1 L=16.54m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1983	
101	吉野川	百石須樋門	左岸	9km/8+80	板野郡北島町高房地先	1.0m × 1.0m × 1 L=14.354m	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		1回/年	1979	

吉野川 排水機場一覧表

No.	河川名	施設名称	位置	距離	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
1	吉野川	角ノ瀬排水機場	右岸	11k/2	徳島市国府町東黒田角ノ瀬地先	20m3/s×1台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	2008	
2	吉野川	神宮入江川排水機場	右岸	15k/0	名西郡石井町藍畑字第十地先	2.5m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1974	
3	吉野川	新神宮入江川排水機場	右岸	15k/0	名西郡石井町藍畑字第十地先	5m3/s×1台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1978	
4	吉野川	飯尾川排水機場	右岸	19k/0+70m	名西郡石井町藍畑字西覚円地先	5m3/s×4台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1969	
5	吉野川	新飯尾川排水機場	右岸	19k/0+85m	名西郡石井町藍畑字西覚円地先	10m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1983	
6	吉野川	江川排水機場	右岸	19k/6+60m	名西郡石井町藍畑字西覚円地先	5m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1974	
7	吉野川	川島排水機場	右岸	29k/0-120m	吉野川市川島町宮島字東中須地先	9m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	2009	
8	吉野川	学島排水機場	右岸	30k/4	吉野川市川島町桑村地先	3m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1966	
9	吉野川	学島川排水機場	右岸	30k/4+50m	吉野川市川島町桑村地先	7m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1978	
10	吉野川	ぼたる川排水機場	右岸	33k/2	吉野川市山川町中須賀地先	5m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	2013	
11	吉野川	正法寺川排水機場	左岸	9k/2	徳島市応神町西貞方字前須地先	3m3/s×2台、2m3/s×1台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1968	
12	吉野川	前川救急(内水)排水機場	左岸	10k/6	板野郡藍住町徳命字名田地先	1m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1993	
13	吉野川	蛇池川排水機場	左岸	21k/4-10m	阿波市吉野町西条字大牛地先	5m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1981	
14	吉野川	熊谷川排水機場	左岸	25k/6+147m	阿波市吉野町柿原地先	5m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1979	
15	吉野川	指谷川排水機場	左岸	26k/4-134m	阿波市土成町郡地先	4m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1986	

※7回/年:総括(年)点検を1回/年(通常:4月～6月に実施)、月点検を7月～10月に1回/月(計4回)と11月～3月に1回/3ヶ月(計2回)実施

吉野川 排水機場一覧表

No.	河川名	施設名称	位置	距離	地先	構造	操作員による点検回数		専門技術者点検	設置年	備考
16	吉野川	柿ノ木谷川排水機場	左岸	27k/0-50m	阿波市市場町伊月地先	4m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	1968	
17	吉野川	城の谷排水機場	左岸	45k/0+100m	美馬市脇町大字脇町地先	2m3/s×2台	5月～10月:2回 4、11～3月:1回		7回/年※	2000	

※7回/年:総括(年)点検を1回/年(通常:4月～6月に実施)、月点検を7月～10月に1回/月(計4回)と11月～3月に1回/3ヶ月(計2回)実施

許可工作物一覧表

No.	河川名	許可工作物名称	距離(k/百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 構造令に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
《橋梁》									
1	吉野川	橋梁	阿波しらさぎ大橋	1km8+55	徳島市住吉6丁目138-1地先	徳島市川内町鶴島590-1地先	徳島県	2012	
2	吉野川	橋梁	吉野川大(上り)橋下流側	3km2+47	徳島市東吉野町2丁目11番地地先	徳島市川内町鈴江南22番地地先	四国地方整備局	1986	
3	吉野川	橋梁	吉野川大(下り)橋上流側	3km2+65	徳島市東吉野町2丁目11番地地先	徳島市川内町鈴江南22番地地先	四国地方整備局	1972	桁下高不足
4	吉野川	橋梁	吉野川橋	4km6+100	徳島市上助臣町大坪183-1地先	徳島市志神町古川日ノ上35-1地先	徳島県	1928	桁下高不足
5	吉野川	橋梁	高德線・吉野川鉄橋	7km2+140	徳島市不動東町5丁目24-11地先	徳島市志神町真方字南川洲82-1、82-3地先	四国旅客鉄道(株)	1935	桁下高不足
6	吉野川	橋梁	四国三郎橋	8km0+70	徳島市不動東町5丁目51(6-1)地先	徳島市志神町真方字中須251-1地先	徳島県	1998	
7	吉野川	橋梁	四国縦貫自動車道正法寺第一橋	-	-	徳島市志神町西方字前須地先	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構	1993	
8	吉野川	橋梁	名田橋	10km4+135	徳島市不動北町地先	板野郡藍住町徳命地先	徳島県	1963	
9	吉野川	橋梁	六条大橋	16km2+145	名西郡石井町大字藍畑字東覚田315番地の1地先	板野郡上板町大字六条字新田105番地地先	徳島県	1970	
10	吉野川	橋梁	高瀬橋(潜水橋)	17km6+167	名西郡石井町藍畑地先	板野郡上板町高瀬地先	徳島県	1954	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
11	吉野川	橋梁	西条大橋	21km4+66	吉野川市鶴島町先須賀5-3地先	板野郡吉野町亀田39-1地先	徳島県	2005	
12	吉野川	橋梁	阿波中央橋	25km2+124	吉野川市鶴島町知恵島字北須賀番外115番地先	板野郡吉野町高知28番の1地先	徳島県	1953	
13	吉野川	橋梁	大野島橋(潜水橋)	-	-	阿波市市場町大字大野島字御所ノ原地先	徳島県	1952	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
14	吉野川	橋梁	川島橋(潜水橋)	28km6+10	吉野川市川島町大字川島字城山201番地先	-	徳島県	1963	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
15	吉野川	橋梁	千田橋(潜水橋)	-	-	阿波市市場町大字香美字住吉本地先	徳島県	1964	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
16	吉野川	橋梁	宇島橋(潜水橋)	31km4+145	吉野川市川島町宇島地先	-	徳島県	1963	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
17	吉野川	橋梁	香美橋(潜水橋)	-	-	阿波市市場町香美地先	徳島県	1952	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
18	吉野川	橋梁	阿波麻郡大橋	31km8+37	吉野川市川島町大字三ツ島字地新田51(6-2)地先	阿波市市場町大字香美字渡川138-1地先	徳島県	1979	
19	吉野川	橋梁	瀬詰大橋	36km0+65	吉野川市山川町地先	阿波市阿波町地先	徳島県	1966	
20	吉野川	橋梁	岩津橋	40km0+91	吉野川市山川町字一里塚2-18地先	阿波市阿波町字乙岩津138-4地先	徳島県	1993	
21	吉野川	橋梁	穴牧橋	42km8+22	美馬市穴牧町穴牧五反地21-2番地先	美馬市藍町字拝原2083番地先	徳島県	1991	
22	吉野川	橋梁	穴牧自歩道橋	43km0+178	美馬市穴牧町穴牧地先	美馬市藍町字拝原地先	美馬市	1992	
23	吉野川	橋梁	藍町潜水橋	45km2+65	美馬市穴牧町三島字舞中島885-3地先	美馬市藍町字町南539-1地先	徳島県	1961	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
24	吉野川	橋梁	小島橋	48km6+77	美馬市穴牧町三島字小島422地先	美馬市藍町字大道南3518地先	徳島県	1992	
25	吉野川	橋梁	美馬中央橋	51km0+239	美馬郡つるぎ町貞光字太田東245番地地先	美馬郡つるぎ町貞光字小山北155-2番地地先	徳島県	1988	
26	吉野川	橋梁	太田橋	51km6-51～51km6-15	美馬郡つるぎ町貞光字太田西地先	-	四国地方整備局	1975	
27	吉野川	橋梁	太田橋側道橋	51km6-51～51km6-15	美馬郡つるぎ町貞光字太田西地先	-	四国地方整備局	1991	
28	吉野川	橋梁	貞光大橋	53km0+42～52km8+60	美馬郡つるぎ町貞光江ノ脇地先	-	四国地方整備局	1969	
29	吉野川	橋梁	貞光橋系架歩道(下流側)	53km0+42～52km8+60	美馬郡つるぎ町貞光江ノ脇地先	-	四国地方整備局	1982	
30	吉野川	橋梁	貞光橋系架歩道(上流側)	53km0+42～52km8+60	美馬郡つるぎ町貞光江ノ脇地先	-	四国地方整備局	1992	

許可工作物一覧表

No.	河川名	許可工作物名称	距離(Ｋ/百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 構造令に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
《橋梁》									
31	吉野川	橋梁	54km2+122	54km2+122	美馬郡つるぎ町半田字中敷37-4番地先	美馬市美馬町大宮西57番地先	徳島県	1958	桁下高不足
32	吉野川	橋梁	56km6+68	56km6+90	美馬郡つるぎ町半田字松生6356番地先	美馬市美馬町字長畑1番地先	徳島県	1983	
33	吉野川	橋梁	61km4+57	61km4+174	三好郡東みよし町中庄110番地先	三好市三野町芝生1113の7番地先	徳島県	1970	
34	吉野川	橋梁	63km4+100	63km4+100	三好郡東みよし町中庄431-2地先	三好市三野町字淵り南515地先	徳島県	2005	
35	吉野川	橋梁	67km8-35	67km8-20	三好郡東みよし町加茂2160番地先	三好郡東みよし町加茂2185の2番地先	東みよし町	不明	
36	吉野川	橋梁	68km0+102	68km0+55	三好郡東みよし町字成清2422番地先	三好郡東みよし町足代字沖代ノニ3731番地先	徳島県	1990	
37	吉野川	橋梁	71km0+35	71km0+43	三好市井川町大字辻215番地先	三好郡東みよし町大字屋間字宮の下529番地先	徳島県	1959	
38	吉野川	橋梁	72km8+145	72km6+70	三好市井川町井川地先	三好市三好町屋間地先	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構	1998	
39	吉野川	橋梁	73km0	72km8+115	三好市井川町女法寺1038-1-1地先	三好市三好町大字屋間字保田2481-3地先	四国旅客鉄道(株)	1929	
40	吉野川	橋梁	74km8+203	75km0	三好市井川町西井川地先	三好市池田町州津地先	徳島県	1958	
41	吉野川	橋梁	76km2+50	76km0+100	三好市井川町西井川112地先	三好市池田町州津1675-1地先	四国地方整備局	2002	
42	吉野川	橋梁	76km8-45～ 77km6+90	-	三好市池田町ヤマダ～マチ地先	-	四国地方整備局	1976	
43	吉野川	橋梁	76km8-45～ 77km6+90	-	三好市池田町ヤマダ～マチ地先	-	四国地方整備局	2004	
44	吉野川	橋梁	76km8-45～ 77km6+90	-	三好市池田町ヤマダ～マチ地先	-	四国地方整備局	1976	
45	吉野川	橋梁	76km8-45～ 77km6+90	-	三好市池田町ヤマダ～マチ地先	-	四国地方整備局	2004	
46	旧吉野川	橋梁	2km4+20	2km4+10	鳴門市大津町矢倉堤外地先	鳴門市大津町矢倉堤地先	四国地方整備局	1953	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
47	旧吉野川	橋梁	3km6+190	3km6+189	板野郡松茂町中喜来字群恵182-2地先	板野郡松茂町中喜来字蔵野38-2地先	徳島県	1993	
48	旧吉野川	橋梁	4km6+5	4km6+5	板野郡松茂町広島字北ノ川1-1地先	板野郡松茂町広島字北ノ川向36地先	徳島県	1973	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
49	旧吉野川	橋梁	4km8+242	5km0	板野郡松茂町広島字北ノ川10-1、10-2地先	板野郡松茂町広島字北ノ川向一の越57、北ノ川向二の越43-1地先	四国地方整備局	1982	
50	旧吉野川	橋梁	5km8+133	5km8+133	板野郡松茂町長岸字五反野720番地先	板野郡松茂町長岸字南須67番地先	徳島県	2015	
51	旧吉野川	橋梁	6km4+129	6km4+195	板野郡松茂町長岸字六反野221番地先	板野郡松茂町長岸字堀口235-1地先	松茂町	1960	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
52	旧吉野川	橋梁	-	7km0+85～7km0+65	-	鳴門市大森町牛屋島字小松原地先	徳島県	不明	
53	旧吉野川	橋梁	7km2+95	7km2+130	鳴門市大森町東馬語字寅開97-4地先	鳴門市大森町牛屋島字中須125-2地先	徳島県	1985	
54	旧吉野川	橋梁	7km6+130	7km6+140	鳴門市大森町東馬語字孫中須30番地先	鳴門市大森町牛屋島字中須46-3地先	鳴門市	1929	桁下高不足、径間長不足
55	旧吉野川	橋梁	-	8km2～8km4	-	鳴門市大森町東馬語字天神免17-1地先	徳島県	1996	
56	旧吉野川	橋梁	8km4+148	8km4+202	鳴門市大森町東馬語字新開70番地の2地先	鳴門市大森町東馬語字泉原12番地の1地先	鳴門市	1982	桁下高不足、橋脚形状
57	旧吉野川	橋梁	9km4+20	9km4+20	鳴門市大森町東馬語字川向1番地先	鳴門市大森町中馬語字茂免195番地先	鳴門市	1953	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
58	旧吉野川	橋梁	10km6+90	10km6+90	板野郡北島町新喜来字南古田98番14地先	板野郡北島町新喜来字南ノリ93番14地先 (株)	ダイオーバー・プロダクツ	1958	桁下高不足、径間長不足、橋脚形状
59	旧吉野川	橋梁	10km6+177	10km6+159	板野郡北島町新喜来字南新喜来地先	板野郡北島町新喜来字中須地先	徳島県	1972	桁下高不足、橋脚形状
60	旧吉野川	橋梁	12km2+75	12km2+90	鳴門市大森町市場町川向313番1地先	鳴門市大森町市場字川線5番2地先	鳴門市	1963	桁下高不足、橋脚形状

許可工作物一覧表

No.	河川名	許可工作物名称	距離 (K/百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 構造等に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
(橋梁)									
61	旧吉野川	橋梁	12km4+10	12km4+18	鳴門市大森町市場字川向三133-32地先	鳴門市大森町市場字居屋敷25-6地先	四国旅客鉄道株式会社	1933	桁下高不足、橋間長不足
62	旧吉野川	橋梁	12km4+130	12km4+150	鳴門市大森町市場字川向二37番の1地先	鳴門市大森町市場字川線14番地先	鳴門市	1988	
63	旧吉野川	橋梁	13km6+145	13km6+180	鳴門市大森町津越川向245-1地先	鳴門市大森町川崎字堤外646-1地先	徳島県	1961	桁下高不足、橋間長不足、橋脚形状
64	旧吉野川	橋梁	14km6+23	14km6+37	板野郡藍住町乙瀬字井利口86番地1地先	鳴門市大森町板東字カルカエ1番地先	藍住町	1981	
65	旧吉野川	橋梁	15km8+90	15km8+50	板野郡藍住町乙瀬字川口66の5番地先	鳴門市大森町松竹三ツモ方池9番地先	徳島県	1998	
66	旧吉野川	橋梁	17km4+150	17km4+160	板野郡板野町川崎字鯉子野7番地の1地先	板野郡板野町川崎字鯉原8番地の4地先	板野町	1955	橋間長不足
67	旧吉野川	橋梁	18km0+173	18km0+159	板野郡板野町川端地先	板野郡板野町川端地先	徳島県	2002	
68	旧吉野川	橋梁	18km6+64	18km6+62	板野郡板野町大寺字向北1番の7地先	板野郡板野町大寺字平田20番の5地先	徳島県	1981	
69	旧吉野川	橋梁	19km6-85	19km6-72	板野郡板野町大寺字大向北162番地先	板野郡板野町大寺字野神45-4番地先	徳島県	1998	
70	旧吉野川	橋梁	20km4+10	20km4+10	板野郡藍住町東中富字直道傍示125-74番地地先	板野郡藍住町東中富字西向傍示99-6番地地先	徳島県	1959	桁下高不足、橋脚形状
71	旧吉野川	橋梁	21km0+65	21km0+55	板野郡藍住町東中富字西向傍示47地先	板野郡藍住町東中富字西向傍示2-2地先	藍住町	1993	
72	旧吉野川	橋梁	21km0+90	21km0+80	板野郡藍住町東中富字西向傍示47地先	板野郡藍住町東中富字西向傍示2-2地先	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構	1993	
73	旧吉野川	橋梁	21km8+35	21km8+30	板野郡板野町西中富字菅生386番地先	板野郡板野町西中富字源氏95番地先	板野町	1955	桁下高不足、橋間長不足、橋脚形状
74	旧吉野川	橋梁	21km8+45	21km8+37	板野郡板野町西中富字菅生386番地先	板野郡板野町西中富字源氏95番地先	板野町	2014	桁下高不足、橋間長不足、橋脚形状
75	旧吉野川	橋梁	22km6+185	22km6+150	板野郡板野町西中富字西新田220番2地先	板野郡板野町西中富字西新田130番1地先	板野町	1983	
76	今切川	橋梁	4km4+100	4km4+100	徳島市川内町加賀須野地先	板野郡松茂町広島地先	徳島県	2014	
77	今切川	橋梁	4km6+168	4km6+80	徳島市川内町加賀須野172番地の1地先	板野郡松茂町広島字小ノノ35番地の1地先	四国地方整備局	1980	
78	今切川	橋梁	7km0+184	7km0+148	徳島市川内町板瀬88-1地先	徳島市川内町板瀬1000-1地先	徳島県	1975	
79	今切川	橋梁	8km0+210	8km0+184	徳島市川内町板瀬850-1番地先	板野郡北島町鵜浜字外野24-10番地先	徳島県	1967	桁下高不足、橋間長不足
80	今切川	橋梁	10km2+150	10km0+165	徳島市苅神町吉成字有天104-1番地先	徳島市苅神町中原字キタ36-2番地先	徳島県	1983	
81	今切川	橋梁	11km6+10	11km4+165	板野郡北島町高房字西川向5-4番地先	板野郡北島町中村字江口1-4番地先	徳島県	1953	桁下高不足、橋間長不足

許可工作物一覧表

No.	河川名	許可工作物名称	距離(k/百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 構造令に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
《樋門》									
1	吉野川	樋門			徳島市北沖洲地先	—	徳島市	1967	
2	吉野川	樋門			徳島市金沢地先	—	徳島市	1968	
3	吉野川	樋門			徳島市上吉野町地先	—	徳島市	1998	
4	吉野川	樋門			吉野川市川島町川島地先	—	吉野川市	1966	
5	吉野川	樋門			吉野川市川島町川島地先	—	麻名用水土地改良区	1905	
6	吉野川	樋門			吉野川市山川町舟戸地先	—	吉野川市	不明	
7	吉野川	樋門			吉野川市山川町一里塚2番2地先	—	川田耕地整理土地改良区	不明	
8	吉野川	樋門			—	6km6+141	徳島市心神町中原地先	1915	
9	吉野川	樋門			—	16km4+76.5	板野郡上板町下六條地先	1984	
10	吉野川	樋門			—	24km2-35	阿波市吉野町楠原小島293地先	1944	
11	吉野川	樋門			—	24km4-80	阿波市吉野町楠原地先	1965	
12	吉野川	樋門			—	31km2-43	阿波市市場町香美地先	1971	
13	吉野川	樋門			—	31km6+39	阿波市市場町香美地先	1969	
14	吉野川	樋門			—	33k/6+70m	阿波市阿波町谷島地先	2013	
15	吉野川	樋門			—	37km4+40	阿波市阿波町川久保地先	1978	
16	吉野川	樋門			—	38km6+40	阿波市阿波町南川原地先	1993	
17	吉野川	樋門			—	40km0-30	阿波市阿波町乙岩津地先	不明	
18	吉野川	樋門			47km4+70	—	美馬市	1973	
19	吉野川	樋門			47km6+60	—	美馬市	1971	
20	吉野川	樋門			52km4+135	—	つるぎ町	1969	
21	吉野川	樋門			62km0+24	—	東みよし町	2011	
22	吉野川	樋門			62km0+87	—	東みよし町	2013	
23	吉野川	樋門			77km2-15	—	三好市	1967	

許可工作物一覽表

No.	河川名	許可工作物名称	距離(Ｋ/百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 構造令に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
《樋門》									
1	旧吉野川	樋門			－	鳴門市里浦町里浦恵美寿	鳴門市	1996	
2	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大津町徳長前ノ越	鳴門市	1990	
3	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大津町矢倉六ノ越	鳴門市	1988	
4	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町中喜来中瀬堤外	不明	1992	
5	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町中喜来蔵野	徳島県	1997	
6	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町中喜来蔵野	松茂町	1962	
7	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町広島北川向三ノ越	吉野川土地改良区	不明	
8	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町広島北川向一ノ越地先	吉野川土地改良区	2002	
9	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町広島北川向一ノ越地先	吉野川土地改良区	2002	
10	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町中喜来南須地先	吉野川土地改良区	2002	
11	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町長岸友打地先	吉野川土地改良区	2002	
12	旧吉野川	樋門			－	板野郡松茂町長岸群恵地先	長岸部落	不明	
13	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町牛屋島水門脇地先	鳴門市	1976	
14	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町牛屋島水門脇地先	吉野川土地改良区	1954	
15	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町牛屋島水門脇地先	吉野川土地改良区	不明	
16	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町牛屋島中須地先	吉野川土地改良区	不明	
17	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町牛屋島大浜地先	吉野川土地改良区	不明	
18	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町牛屋島堀ノ内地先	吉野川土地改良区	不明	
19	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町東馬詰泉ノ尻地先	吉野川土地改良区	不明	
20	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町中馬詰戎免地先	吉野川土地改良区	1984	
21	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町中馬詰戎免地先	鳴門市	1999	
22	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町中馬詰戎免地先	中馬詰部落	1972	
23	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町中馬詰戎免地先	鳴門市	1993	
24	旧吉野川	樋門			－	板野郡北島町新喜来ヒカタ地先	北島町	1996	
25	旧吉野川	樋門			－	板野郡北島町八丁野地先	北島町	2006	
26	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町市場川緑地先	鳴門市	1976	
27	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町市場川緑地先	鳴門市	1981	
28	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町川崎堤外地先	鳴門市	1978	
29	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町津慈山道地先	鳴門市	1977	
30	旧吉野川	樋門			－	鳴門市大森町津慈山道地先	津慈土地改良区	不明	

許可工作物一覽表

No.	河川名	許可工作物名称	距離(k/百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 構造令に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
《樋門》									
31	旧吉野川	北岸用水取水樋門	—	14km0+35	—	鳴門市大森町津慈山道地先	徳島県企業局	1967	
32	旧吉野川	西中富第二樋門	—	21km6+85	—	板野郡板野町西中富地先	板野町	不明	
33	旧吉野川	佐藤塚樋門	—	23km0+115	—	板野郡上板町佐藤塚実地先	上板町	1977	
34	旧吉野川	高瀬川樋門	—	24km0-27	—	板野郡上板町佐藤塚中地先	板名用水土地改良区	1977	
35	旧吉野川	豊久排水樋門	0km2+3	—	板野郡松茂町豊久宇雲久開拓地先		松茂町	1975	
36	旧吉野川	伊沢裏排水樋門	1km2+140	—	板野郡松茂町中喜来宇福有開拓地先		松茂町	1981	
37	旧吉野川	三村共同樋門	1km8+168	—	鳴門市大津町徳長川向中ノ越地先		鳴門市	1981	
38	旧吉野川	向喜来河口堰樋門(ダム北樋門)	3km2+170	—	板野郡松茂町中喜来稲本	—	松茂町	1975	
39	旧吉野川	稲本河口堰上流樋門(詳恵樋門)	3km6-20	—	板野郡松茂町中喜来群恵	—	松茂町	1976	
40	旧吉野川	稲本用水樋門	4km0+160	—	板野郡松茂町中喜来群恵	—	吉野川土地改良区	2001	
41	旧吉野川	開拓用水樋門	4km2+16	—	板野郡松茂町広島小喜来	—	吉野川土地改良区	1999	
42	旧吉野川	豊岡用水樋門	4km4+175	—	板野郡松茂町広島三番越	—	吉野川土地改良区	不明	
43	旧吉野川	笹木野用水樋門	4km8+110	—	板野郡松茂町広島小ノノ	—	吉野川土地改良区	1991	
44	旧吉野川	小ノノ用水樋門	4km8+158	—	板野郡松茂町広島小ノノ	—	松茂町	1980	
45	旧吉野川	北ノ川樋門	5km0+179	—	板野郡松茂町広島北ノ川	—	松茂町	1983	
46	旧吉野川	北島長門樋門	5km8+73	—	板野郡北島町太郎八須外開	—	北島町	不明	
47	旧吉野川	長門樋門	5km8+81	—	板野郡松茂町長岸五反野	—	吉野川土地改良区	不明	
48	旧吉野川	五反野樋門	5km8+81	—	板野郡松茂町長岸五反野	—	長岸部落	不明	
49	旧吉野川	寅開樋門(上ノ越樋門)	7km0+20	—	板野郡松茂町長岸上ノ越	—	吉野川土地改良区	不明	
50	旧吉野川	南開樋門(寅開樋門)	7km6+70	—	鳴門市大森町東馬詰孫中須	—	吉野川土地改良区	不明	
51	旧吉野川	大浜樋門	7km8+24	—	鳴門市大森町東馬詰孫中須	—	吉野川土地改良区	不明	
52	旧吉野川	一敬樋門	7km8+164	—	鳴門市大森町東馬詰孫中須	—	吉野川土地改良区	不明	
53	旧吉野川	新開樋門	8km2+30	—	鳴門市大森町東馬詰新開	—	東馬詰部落	不明	
54	旧吉野川	千田地樋門	10km0+173	—	板野郡北島町北村千田ノ木	—	吉野川土地改良区	1930	
55	旧吉野川	南新喜来樋門	10km4+125	—	板野郡北島町新喜来南古田	—	吉野川土地改良区	不明	
56	旧吉野川	西高房第一樋門	11km6+156	—	板野郡北島町西高房宇勝瑞境	—	北島町	1993	
57	旧吉野川	西高房第二樋門	12km0+134	—	板野郡北島町西高房宇勝瑞境	—	北島町	1993	
58	旧吉野川	市場川向樋門	12km4+40	—	鳴門市大森町市場川向三	—	鳴門市	1991	
59	旧吉野川	市場樋門	13km0+138	—	鳴門市大森町市場川向三	—	鳴門市	1973	
60	旧吉野川	中島湯水樋門	14km8+67	—	板野郡藍住町乙瀬井利口	—	中島土地改良区	1980	

許可工作物一覧表

No.	河川名	許可工作物名称	距離(k/百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 構造等に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
《樋門》									
61	旧吉野川	18K/O樋門下流側	18km0	—	板野郡板野町川端南川岸	—	板野町	2002	
62	旧吉野川	18K/O樋門上流側	18km0	—	板野郡板野町川端南川岸	—	板野町	2002	
63	旧吉野川	18／6＋130樋門	18km6＋130	—	板野郡板野町大寺大向北	—	徳島県	2001	
64	旧吉野川	西中富第一樋門	22km0＋180	—	板野郡板野町西中富日出家	—	板野町	1976	
65	旧吉野川	22／4＋80樋門	22km4＋80	—	板野郡板野町西中富中須	—	不明	不明	
66	旧吉野川	第十新田樋門	22km8＋93	—	板野郡上板町佐藤塚東	—	上板町	1978	
67	今切川	長原排水樋門	—	1km4＋107	板野郡松茂町長原字宮ノ内	—	松茂町	1982	
68	今切川	山ノ手勘平樋門	—	2km2＋170	板野郡松茂町並木野字山南	—	松茂町	不明	
69	今切川	笹木野排水樋門	—	2km8＋150	板野郡松茂町笹木野字山上	—	松茂町	1987	
70	今切川	広島排水樋門	—	4km0＋164	板野郡松茂町広島字浜ノ須	—	松茂町	1990	
71	今切川	加賀須野樋門	—	4km2＋172	板野郡松茂町広島字浜ノ須	—	不明	不明	
72	今切川	ゲンボク第1樋管	—	4km6－110～ 4km6＋100	板野郡松茂町広島字南ノノリから南川向	—	松茂町	1979	
73	今切川	ゲンボク第2樋管	—	4km6－110～ 4km6＋100	板野郡松茂町広島字南ノノリから南川向	—	松茂町	1979	
74	今切川	ゲンボク第3樋管	—	4km6－110～ 4km6＋100	板野郡松茂町広島字南ノノリから南川向	—	松茂町	1979	
75	今切川	鯨の先樋門	—	4km8－100	板野郡北島町中村鯨ノ先	—	北島町	1999	
76	今切川	河原樋門	—	5km0＋16	板野郡北島町中村鯨ノ先	—	北島町	1995	
77	今切川	江尻排水樋門	—	6km2＋100	板野郡北島町江尻川中須	—	北島町	1975	
78	今切川	四国化成第一樋門	—	6km2＋150	板野郡北島町江尻内中須	—	四国化成工業(株)	不明	
79	今切川	四国化成北島樋門(四国化成第2樋門)	—	6km4＋10	板野郡北島町江尻内中須	—	四国化成工業(株)	不明	
80	今切川	鶴州樋門	—	6km4＋52	板野郡北島町江尻内中須	—	不明	不明	
81	今切川	東亜合成総合排水口	—	6km6＋40	徳島市川内町中島	—	東亜合成(株)	不明	
82	今切川	共栄橋下樋門	—	7km0＋170	徳島市川内町中島	—	北島町	不明	
83	今切川	排水口(1)	—	7km2＋120	徳島市川内町中島	—	ダイオーバーハーフプロダクツ (株)	1958	
84	今切川	排水口(2)	—	7km4＋100	徳島市川内町中島	—	ダイオーバーハーフプロダクツ (株)	1958	
85	今切川	排水口(3)	—	7km6	徳島市川内町中島	—	ダイオーバーハーフプロダクツ (株)	1958	
86	今切川	排水口(5)	—	7km8＋120	徳島市川内町中島	—	ダイオーバーハーフプロダクツ (株)	1958	
87	今切川	鯛浜外野第二樋門	—	8km2＋160	板野郡北島町鯛浜外野	—	北島町	不明	
88	今切川	鯨ノ浜外野樋門	—	8km4＋125	板野郡北島町鯛浜外野	—	北島町	1974	
89	今切川	西ノ須樋門	—	8km8＋20	板野郡北島町鯛浜西ノ須	—	吉野川土地改良区	不明	
90	今切川	江尻用水樋門	—	11km4＋98	板野郡北島町中村	—	吉野川土地改良区	1950	

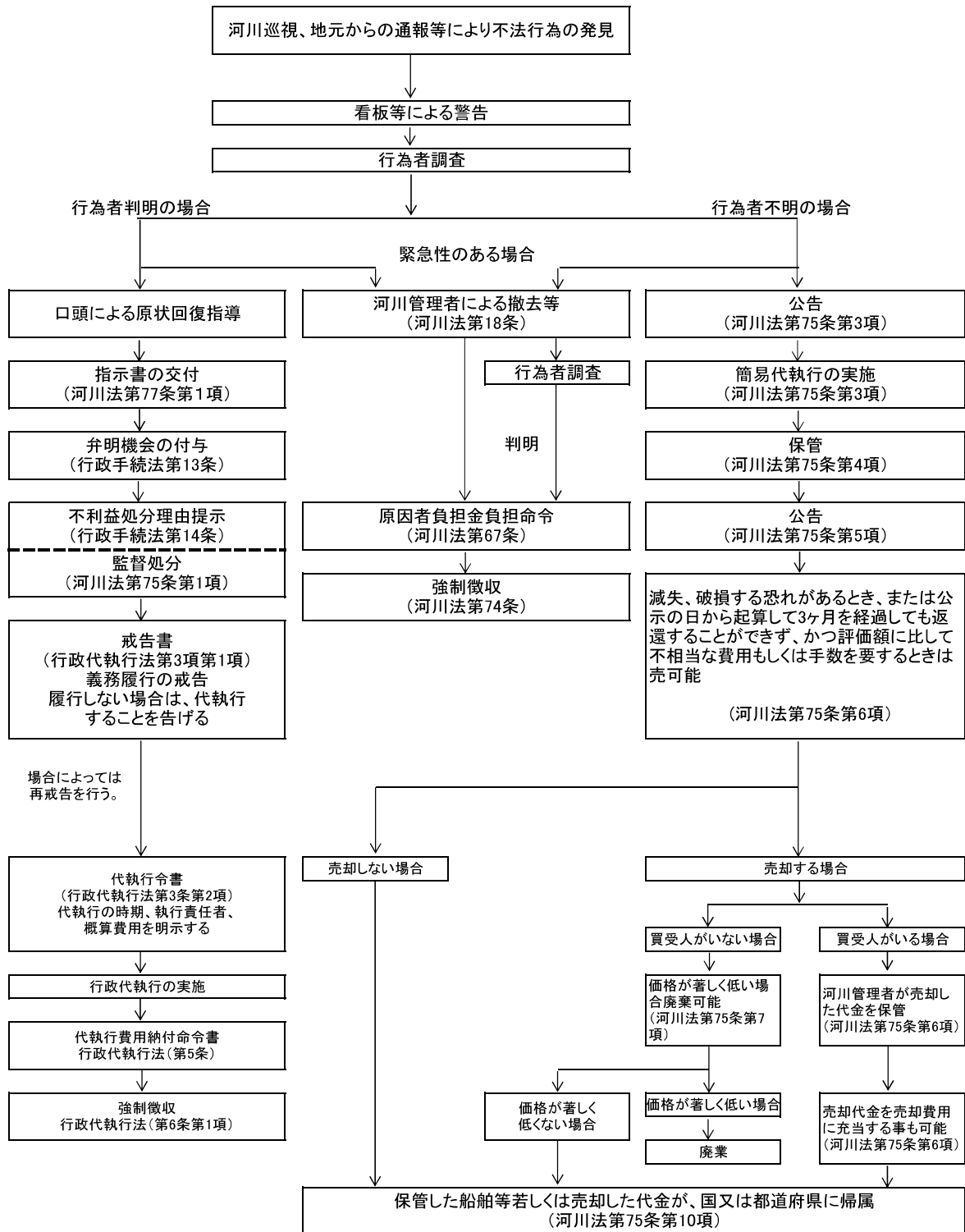
許可工作物一覧表

No.	河川名	許可工作物名称	距離(K／百m)		設置箇所		申請者名	設置年月日 (年)	河川管理施設等 稱達令に適合し ない理由
			右岸	左岸	右岸	左岸			
《樋門》									
91	今切川	樋門	富久樋門0k／8+58m樋門)	—	徳島市川内町富久	—	川内土地改良区	不明	
92	今切川	樋門	百間場排水樋門	—	徳島市川内町富久	—	川内土地改良区	不明	
93	今切川	樋門	百間場樋門	—	徳島市川内町富久	—	徳島市	不明	
94	今切川	樋門	米津樋門	—	徳島市川内町米津	—	川内土地改良区	不明	
95	今切川	樋門	近藤樋門	—	徳島市川内町平石裏野	—	川内土地改良区	2000	
96	今切川	樋門	近藤排水樋門	—	徳島市川内町加賀須野	—	徳島市	1982	
97	今切川	樋門	大塚化学樋門	—	徳島市川内町加賀須野	—	徳島市	1967	
98	今切川	樋門	蛭子野樋門	—	徳島市川内町加賀須野地先	—	徳島市	1955	
99	今切川	樋門	東亜合成右岸排水口	—	徳島市川内町中島地先	—	東亜合成(株)	不明	
100	今切川	樋門	中島外間樋門	—	板野郡北島町中村向須地先	—	徳島市	不明	
101	今切川	樋門	中島排水樋門	—	徳島市川内町榎瀬地先	—	川内土地改良区	1982	
102	今切川	樋門	川内用水樋門	—	徳島市川内町榎瀬地先	—	吉野川土地改良区	1988	
103	今切川	樋門	小井利樋門	—	徳島市宍神町古川字北地先	—	徳島市	1934	
104	今切川	樋門	高良第二樋門	—	徳島市宍神町古川字高良地先	—	徳島市	1985	
105	今切川	樋門	高良東樋門	—	徳島市宍神町古川字高良地先	—	徳島市	1999	
106	今切川	樋門	高良第一樋門	—	徳島市宍神町中原字サナギ地先	—	徳島市	不明	
107	今切川	樋門	高良中樋門	—	徳島市宍神町中原字サナギ地先	—	徳島市	1993	
108	今切川	樋門	高良西樋門	—	徳島市宍神町中原字サナギ地先	—	徳島市	不明	
109	今切川	樋門	有天神樋門	—	徳島市宍神町中原字サナギ地先	—	徳島市	1982	
110	今切川	樋門	有天神第二樋門	—	徳島市宍神町吉成字サナギ20地先	—	徳島市	2007	
111	今切川	樋門	有天神西樋門	—	徳島市宍神町吉成有天地先	—	徳島市	1949	
112	今切川	樋門	伏見製薬所樋門	—	徳島市宍神町吉成有天地先	—	伏見製薬所(株)	不明	
113	今切川	樋門	四国化成吉成樋門	—	徳島市宍神町吉成有天地先	—	四国化成工業(株)	不明	
114	今切川	樋門	有天神津樋門	—	徳島市宍神町吉成轟地先	—	徳島市	1989	
115	今切川	樋門	宍神取水樋門	—	徳島市宍神町吉成轟地先	—	吉野川土地改良区	1989	
116	今切川	樋門	北斗排水樋門	—	徳島市宍神町吉成字轟地先	—	徳島市	2010	
117	今切川	樋門	高良大井利樋門	—	徳島市宍神町吉成轟地先	—	徳島市	不明	

河川による安全利用点検箇所一覧表

対象区間				対象施設
水系名	河川名	左右岸	距離標	
吉野川	吉野川	右岸	0k/0 ～2k/4	河口干潟、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	右岸	2k/4 ～2k/8+100	低水護岸、管理用通路・階段 (吉野川運動公園)
吉野川	吉野川	右岸	2k/8+100 ～5k/4	低水護岸、管理用通路・階段 船着場 (吉野川運動公園)
吉野川	吉野川	右岸	14k/8	低水護岸、堰 (第十堰)
吉野川	吉野川	右岸	15k/4	管理用通路・階段
吉野川	吉野川	右岸	17k/4 ～17k/8	低水護岸、管理用通路・階段 (多目的広場)
吉野川	吉野川	右岸	19k/0付近	低水護岸、管理用通路・階段 (石井防災ステーション)
吉野川	吉野川	右岸	24k/0付近	柿原堰
吉野川	吉野川	右岸	24k/8 ～25k/4	低水護岸、管理用通路・階段 (鴨島県民運動場)
吉野川	吉野川	右岸	28k/4 ～29k/0	低水護岸、管理用通路・階段 (川島潜水橋周辺)
吉野川	吉野川	右岸	32k/8付近	吉野川市山川運動場
吉野川	吉野川	右岸	36k/4 ～39k/2	低水護岸、管理用通路・階段 (山川バンブーパーク)
吉野川	吉野川	左岸	0k/0 ～2k/3	低水護岸 管理用通路(自転車道)
吉野川	吉野川	左岸	7k/2 ～8k/2	低水護岸、管理用通路・階段 (吉野川河川敷緑地)
吉野川	吉野川	左岸	9k/8 ～10k/6	低水護岸、管理用通路・階段 (吉野川河川敷運動公園)
吉野川	吉野川	左岸	13k/0 ～14k/2	第十堰周辺
吉野川	吉野川	左岸	15k/6付近	第十樋門周辺
吉野川	吉野川	左岸	24k/0付近	柿原堰周辺
吉野川	吉野川	左岸	30k/8	市場町ランド
吉野川	吉野川	右岸	42k/0 ～42k/2+50	低水護岸、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	右岸	43k/8 ～47k/0+100	低水護岸、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	右岸	53k/0+30 ～54k/2	低水護岸、管理用通路・階段 (桜つつみ公園)
吉野川	吉野川	右岸	63k/8 ～65k/0	低水護岸、管理用通路・階段 (水辺の楽校)
吉野川	吉野川	右岸	71k/4+100 ～72k/0	高水敷 (井川町民ランド)
吉野川	吉野川	右岸	76k/8+100 ～77k/170	低水護岸 (根固工)
吉野川	吉野川	左岸	45k/4付近	低水護岸、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	左岸	52k/6付近	低水護岸、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	左岸	54k/1付近	低水護岸、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	左岸	54k/2付近	低水護岸、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	左岸	57k/2付近 ～59k/0付近	低水護岸、管理用通路・階段

対象区間				対象施設
水系名	河川名	左右岸	距離標	
吉野川	吉野川	左岸	69k/0 ～70k/0	低水護岸、管理用通路・階段
吉野川	吉野川	左岸	70k/2付近	低水護岸、管理用通路・階段 船着場
吉野川	吉野川	左岸	73k/2	低水護岸
吉野川	旧吉野川	右岸	0k/2～1k/4	管理用通路 (自転車道)
吉野川	旧吉野川	左岸	2k/0 ～3k/0	管理用通路
吉野川	旧吉野川	左岸	3k/4 ～3k/8	管理用通路 (松茂町道)
吉野川	旧吉野川	右岸	3k/4+50 ～4k/6	低水護岸
吉野川	旧吉野川	右岸	5k/2 ～6k/6	低水護岸 高水敷
吉野川	旧吉野川	左岸	7k/0+50 ～7k/4	低水護岸
吉野川	旧吉野川	左岸	8k/8—50 ～9k/6+100	低水護岸
吉野川	旧吉野川	左岸	9k/6+60 ～10k/0+110	親水公園
吉野川	旧吉野川	左岸	10k/0+130 ～10k/6+160	河川緑地公園
吉野川	旧吉野川	右岸	11k/4+40 ～11k/6+150	三ツ合公園
吉野川	旧吉野川	左岸	14k/4+50 ～14k/6+50	低水護岸
吉野川	旧吉野川	右岸	15k/0+40 ～15k/2	低水護岸、階段
吉野川	旧吉野川	左岸	20k/4+20 ～20k/4+140	町民憩いの場
吉野川	旧吉野川	右岸	20k/6—135 ～21k/0+21	桜つつみ公園
吉野川	旧吉野川	右岸	22k/8付近	公園
吉野川	旧吉野川	右岸	2k/2 2k/4	護岸
吉野川	旧吉野川	右岸	3k/0 3k/2	護岸
吉野川	旧吉野川	左岸	17k/2 17k/6	低水護岸
吉野川	今切川	右岸	0k/6 ～4k/4+100	管理用通路 (自転車道)
吉野川	今切川	右岸	4k/8 ～5k/6	管理用通路等
吉野川	今切川	左岸	5k/0付近	緑地公園
吉野川	今切川	右岸	10k/4+100 ～10k/6+100	低水護岸
吉野川	今切川	左岸	10k/6 ～11k/0	低水護岸、高水敷、スロープ
吉野川	今切川	左岸	2k/4 ～4k/2付近	管理用通路 (自転車道)



別紙－17 堤防点検と除草の関係スケジュール (1/1)

吉野川・旧吉野川・今切川

			出水期												出水期後点検			台風期前点検		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
鴨島 出張所	出張所																			
	除草																			
	点検																			
上板 出張所	出張所																			
	除草																			
	点検																			
真光 出張所	出張所																			
	除草																			
	点検																			
美馬 出張所	出張所																			
	除草																			
	点検																			
旧吉野川 出張所	出張所																			
	除草																			
	点検																			